

業務説明書

業 務 説 明 書

1 目的・機能

地震津波監視等業務は、下記(1)～(3)に示す「地震津波監視業務」、「東海地震予知業務」、「地域地震情報センター業務」の3つの業務及び「地震活動等総合監視システム(EPOS)」、「地震津波監視システム(ETOS)」及び「地域地震情報センター処理システム(RED C)」等の情報システムで構成される

◆地震津波監視等業務を構成する3つの業務

- (1) わが国及びその周辺、さらには太平洋域等の国外で発生する地震及び津波を24時間絶え間なく監視し、必要に応じて津波予報や地震情報等を迅速かつ的確に発表する業務(地震津波監視業務)
- (2) 想定される東海地震の震源域周辺での地震活動及び地殻変動の微細な変化を24時間絶え間なく監視し、東海地震に関する情報等を発表する業務(東海地震予知業務)
- (3) わが国で発生する地震について気象庁及び国の各研究機関の地震観測データを一元的に収集・処理し、その結果を政府の地震調査研究推進本部に報告する業務(地域地震情報センター業務)

◆3つの業務とシステムの関係

(1) 地震津波監視業務

地震活動等総合監視システム(EPOS)、地震津波監視システム(ETOS)により、各担当領域の地震計(全国で約180点)の波形データを収集、処理し、国内及びその周辺で発生する地震の発生場所、地震の規模(マグニチュード)を計算し、津波を引き起こす可能性のある場合には、日本沿岸を66区分した津波予報区について、予想される津波の高さや到達時間を津波予報等で発表するほか、津波計(全国で約80点)で実際に津波が観測された場合には、津波の高さや到達時刻を発表する。

また、震度計(全国で約3800点)で震度1以上を観測した場合には、各地の震度に関する情報などの地震情報を発表する。

その他、地震活動等総合監視システム(EPOS)においては、国外の地震計データ、津波計の収集、処理を行い、太平洋域等の国外で発生する地震及び津波の情報を必要に応じて発表する。

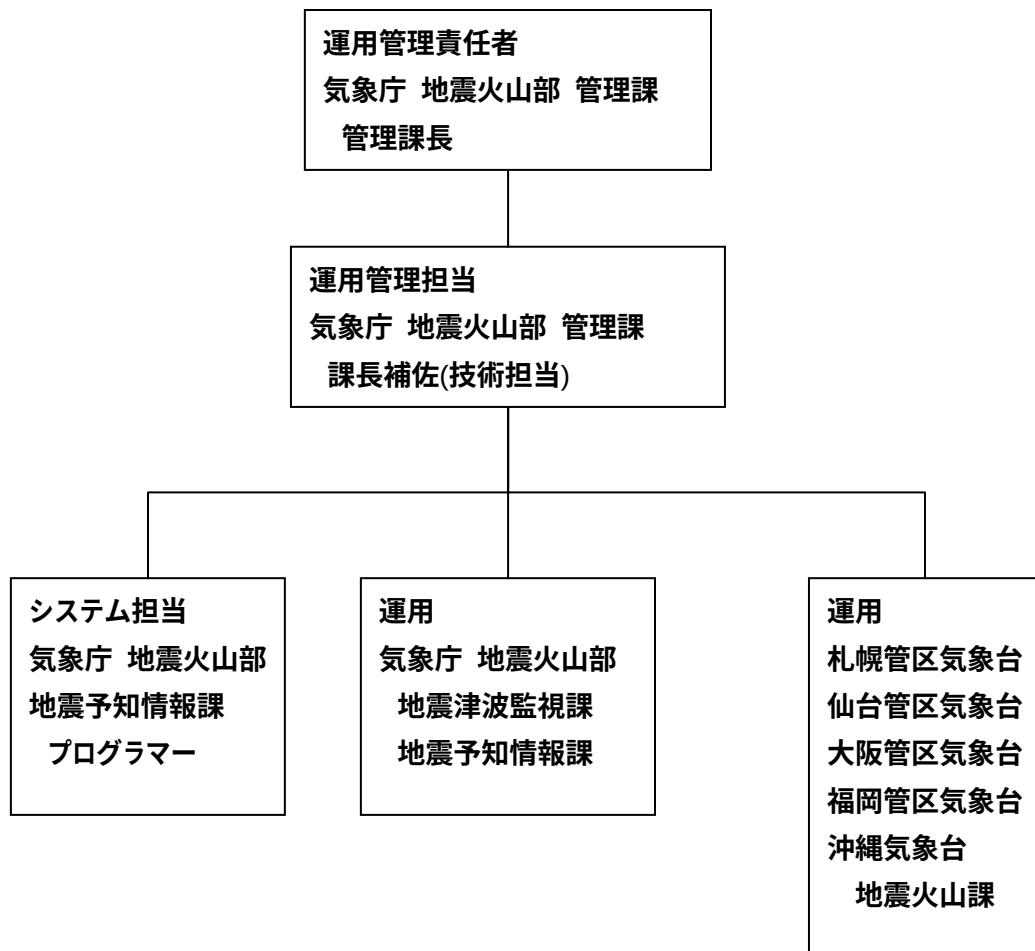
(2) 東海地震予知業務

地震活動等総合監視システム（EPOS）により、想定される東海地震の発生を予知するため、気象庁や関係機関の地殻変動データを収集、処理し、地震活動や地殻変動の監視を行い、異常現象を検知した場合には東海地震に関連する情報を発表する。

(3) 地域地震情報センター業務

地域地震情報センター処理システム（REDC）により、気象庁及び国の各研究機関の地震観測データを一元的に収集・処理し、国内及びその周辺で発生するし、検知しうるすべての地震について詳細な検測を行い、精密な震源データなどを生成する。

2 管理・運用体制図



機能構成図 (現行体系)

業務体系 (現行体系)	機能構成図(DMM)	業務名(Lv0) 地震津波監視等業務	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)		頁
							1

1-1 送信	1-2 受信	1-3 チャンネル選択
1-8	1 データ収集	1-4 フォーマット変更
1-7	1-6	1-5 データ振り分け、配信

2-1 障害検出	2-2 障害解析	2-3 異常データ除去
2-8	2 品質管理	2-4 修理依頼
2-7	2-6	2-5

3-1 フィルター処理	3-2 抽出	3-3 ソース推定
3-8	3 分析	3-4
3-7	3-6	3-5

8-1 問題点抽出	8-2 検討	8-3 改善策の選択
8-8	8 計画・評価	8-4
8-7	8-6	8-5

1 データ収集	2 品質管理	3 分析
8 評価	0 地震津波監視等業務	4 地震津波監視
7 資料作成・公開	6 地域地震情報センター業務支援	5 東海地震予知

4-1 検測値・震源の精査	4-2 予測	4-3 地震津波監視情報の要素入手
4-8 他管区との震源情報交換	4 地震津波監視	4-4 地震津波監視情報発表の検討
4-7 地震津波監視情報の発表	4-6 地震津波監視情報の承認	4-5 地震津波監視情報の編集

7-1 企画	7-2 資料の要素収集	7-3 資料作成
7-8	7 資料作成・公開	7-4 解説
7-7	7-6	7-5 公開

6-1 データ取り込み	6-2 詳細な検測値・震源の生成	6-3 検討会
6-8	6 地域地震情報センター業務支援	6-4 詳細なメカニズム解析
6-7	6-6 処理結果の報告	6-5 処理結果のとりまとめ

5-1 東海地震予知情報の要素入手	5-2 地殻変動状況の判断	5-3 判定会
5-8	5 東海地震予知	5-4 判断結果のとりまとめ
5-7 東海地震に関する情報の発表	5-6 東海地震に関する情報の承認	5-5 東海地震に関する情報の編集

機能情報関連図 (現行体系)

用語解説

ナウキャストA処理データ

緊急地震速報を作成する際に使用する、単観測点で処理した検測値など（P波検測時刻、最大震幅、震央距離・方位）のデータ。

発震機構（メカニズム）

地震は、一般的には地下で断層がずれ動いて発生するものです。”発震機構”とは、地震を起こした断層が地下でどのようにになっているか（断層がどちらの方向に伸びているか、傾きはどうか）とその断層がどのように動いたかを示すものです。発震機構は地下の断層の状態を表すと同時に、地下で地震を起こす元になった力がどのようなであったかも教えてくれます。

初動メカニズム解

地震波のP波の初動方向から地下の地震の断層のようす（発震機構）を推定する方法のより決められた発震機構（メカニズム）解

CMT

セントロイド・モーメント・テンソル(Centroid Moment Tensor)の略で、観測された地震波形を最もよく説明する地震の位置（セントロイド）、規模（モーメント・マグニチュード）、及び発震機構（メカニズム）を同時に求める解析法です。

セントロイド

地震を起こした断層面の中で、地震動を最も放出した部分を示します。これは、断層が最も大きく動いた部分であると考えていただければよいと思います。これは気象庁が普段発表している「震源」とは意味が異なるものです。震源というのは、断層運動が始まった地点を示したものですので、震源とセントロイドは普通一致しません。

プレスリップ

東海地震のようなプレート（地球表面を覆う厚さ100キロメートル程度の岩石の層）間の大きな地震は、プレスリップ（前兆的なすべり現象）から始まるとされている。プレスリップを捕らえようとしているのが歪計。

地震カタログ

震源情報や検測値（観測点毎のP、S到達時刻、最大振幅など）のリスト集

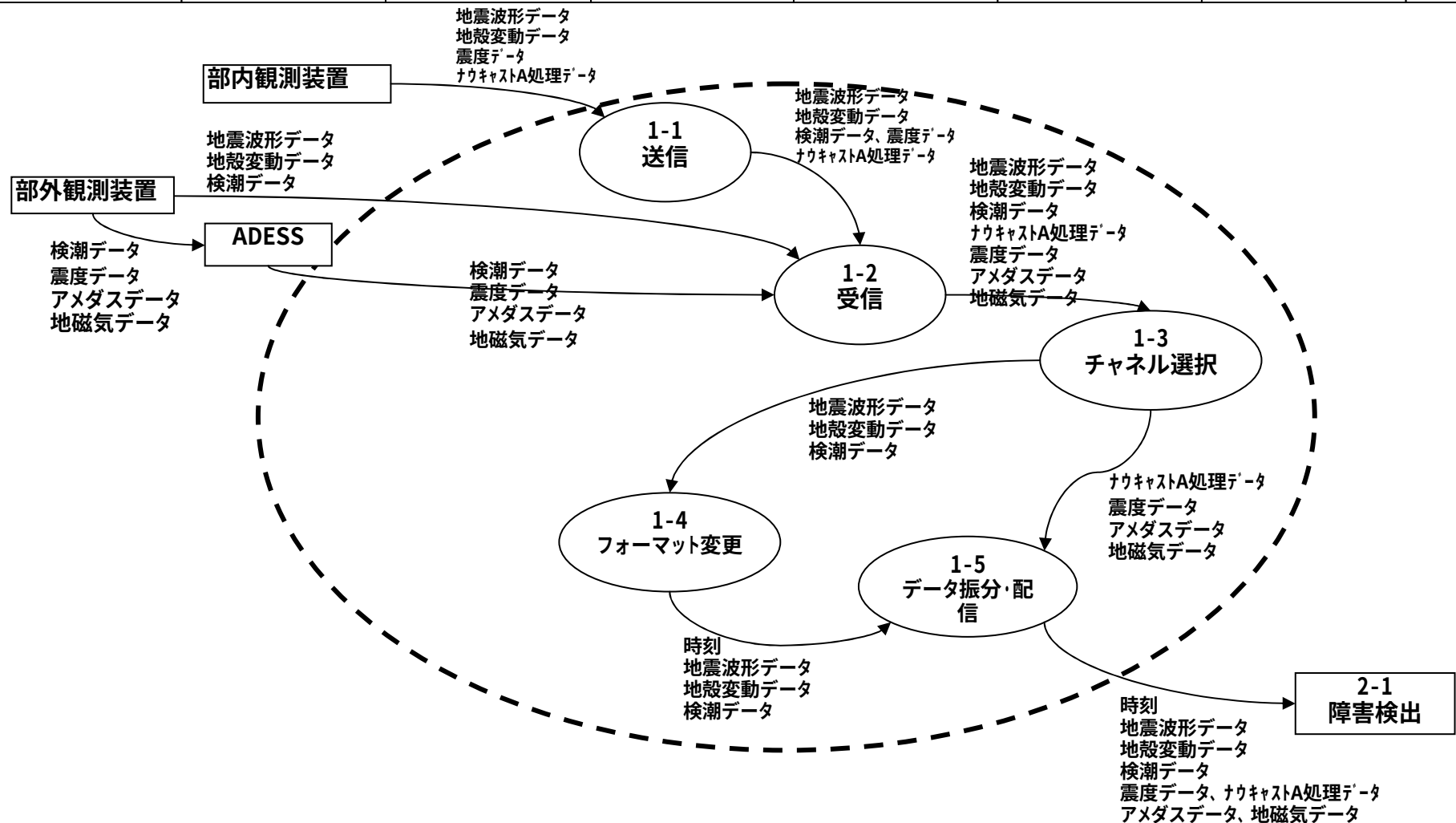
シンゲンラッパ報

札幌・仙台・大阪・福岡管区気象台及び沖縄気象台がETOS(地震津波監視システム)で決定した震源の位置、地震の規模の情報

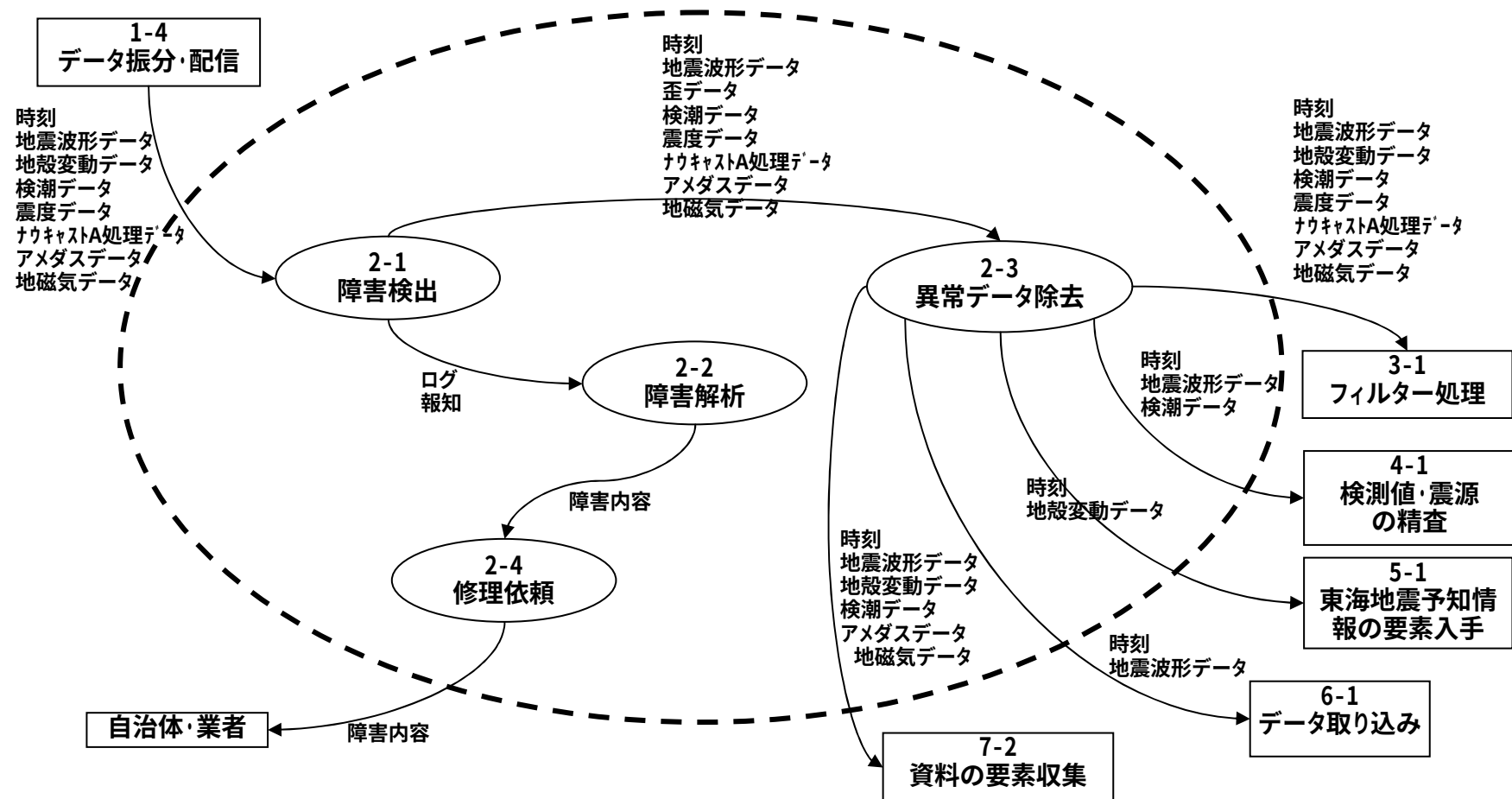
シンゲン報

ETOS、EPOS(地震活動等監視システム)で決定した震源の位置、地震の規模の情報で最適な震源情報

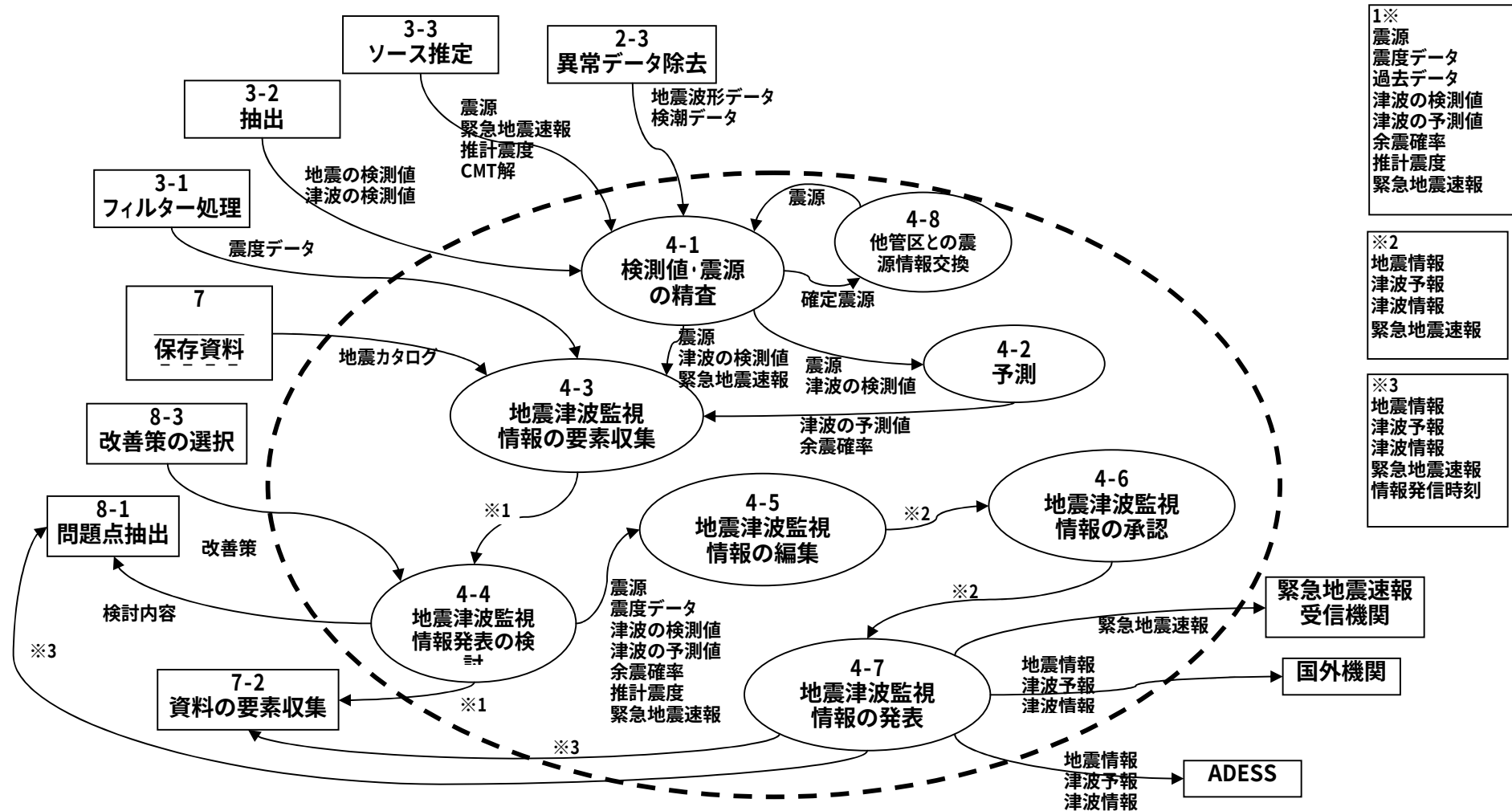
業務体系(現行体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)		頁
		地震津波監視等業務	データ収集				2



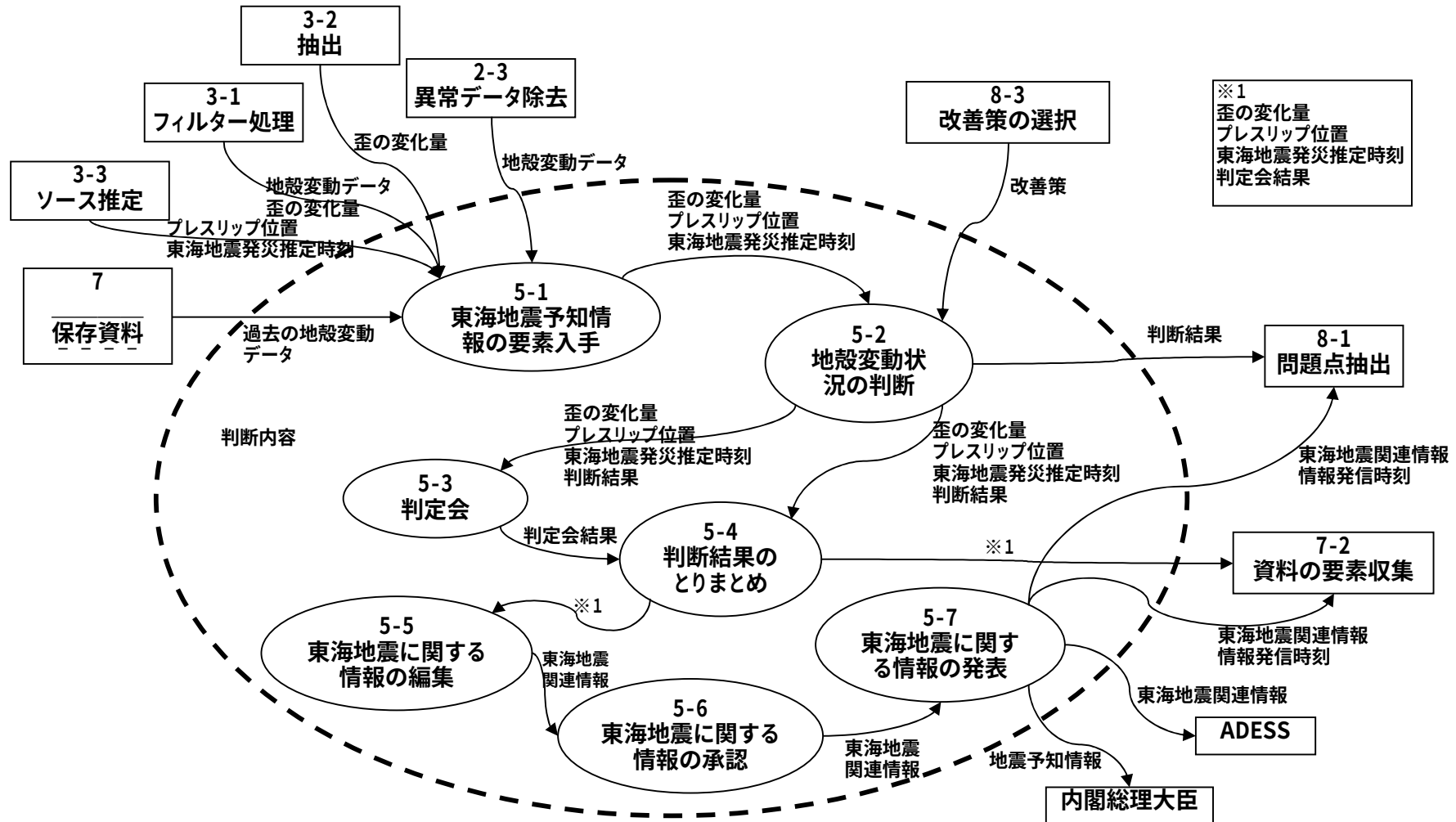
業務体系(現行体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)		頁
		地震津波監視等業務	品質管理				3



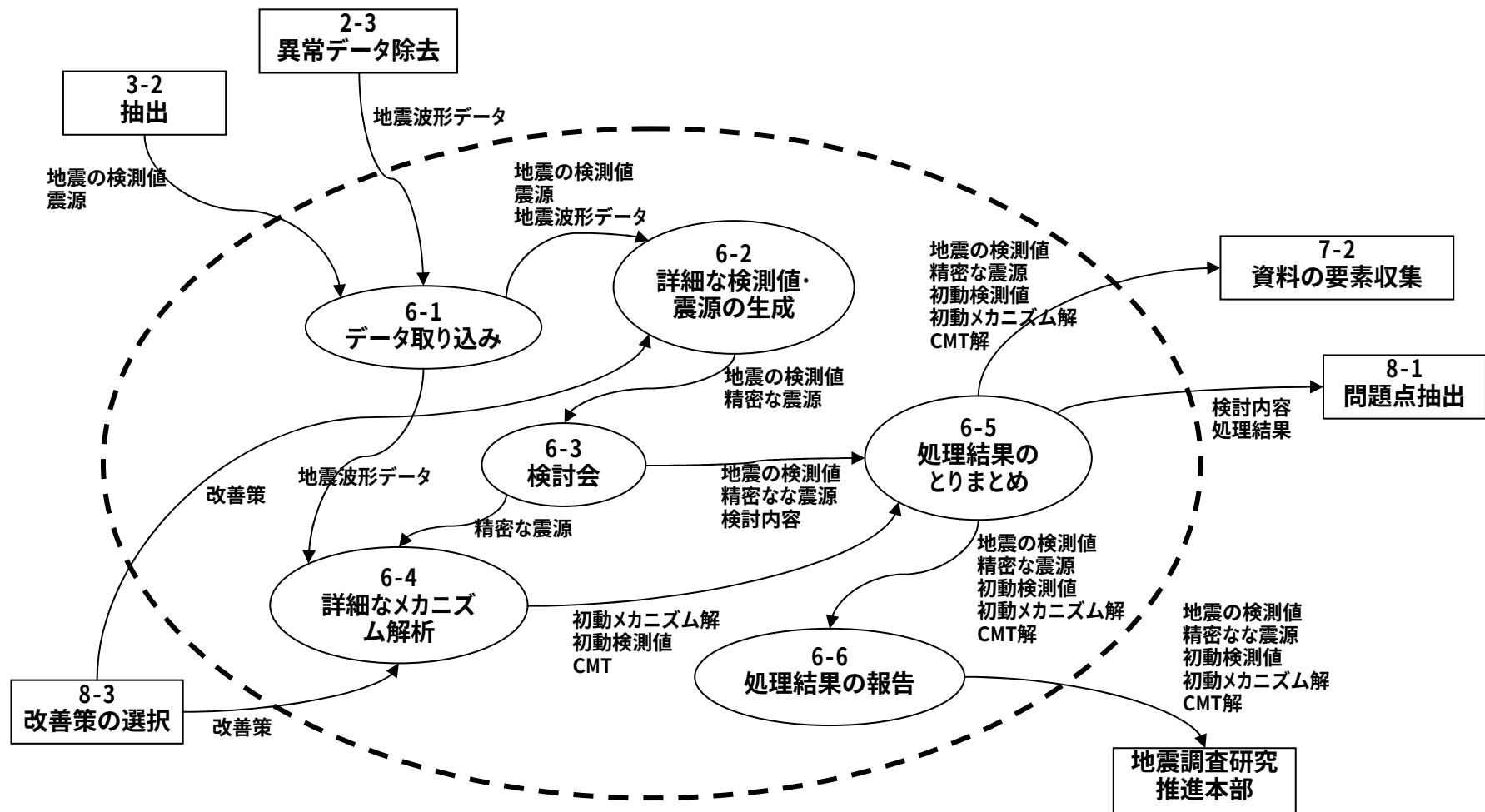
業務体系(現行体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	頁
		地震津波監視等業務	地震津波監視			5



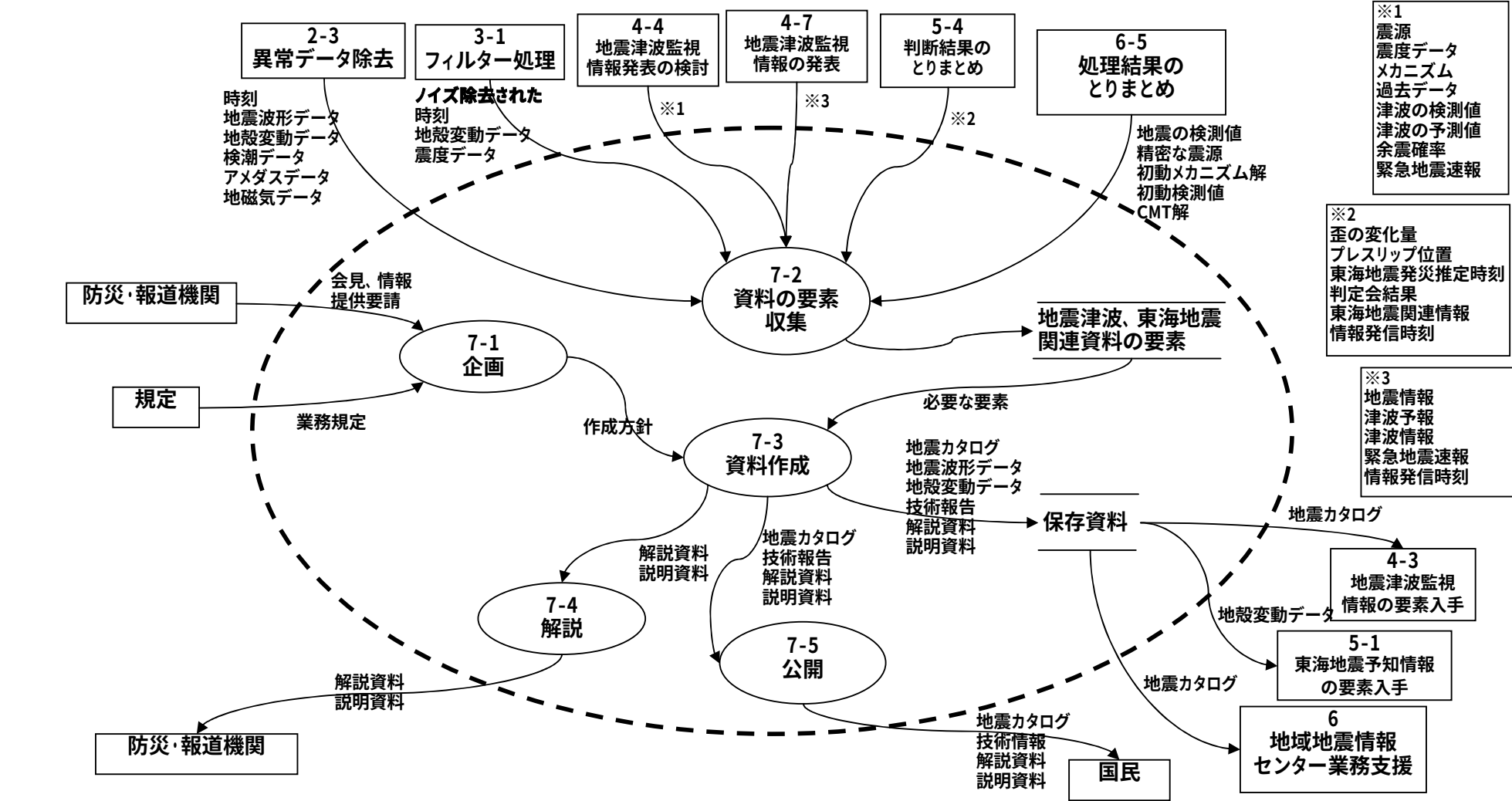
業務体系(現行体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)		頁
		地震津波監視等業務	東海地震予知				6



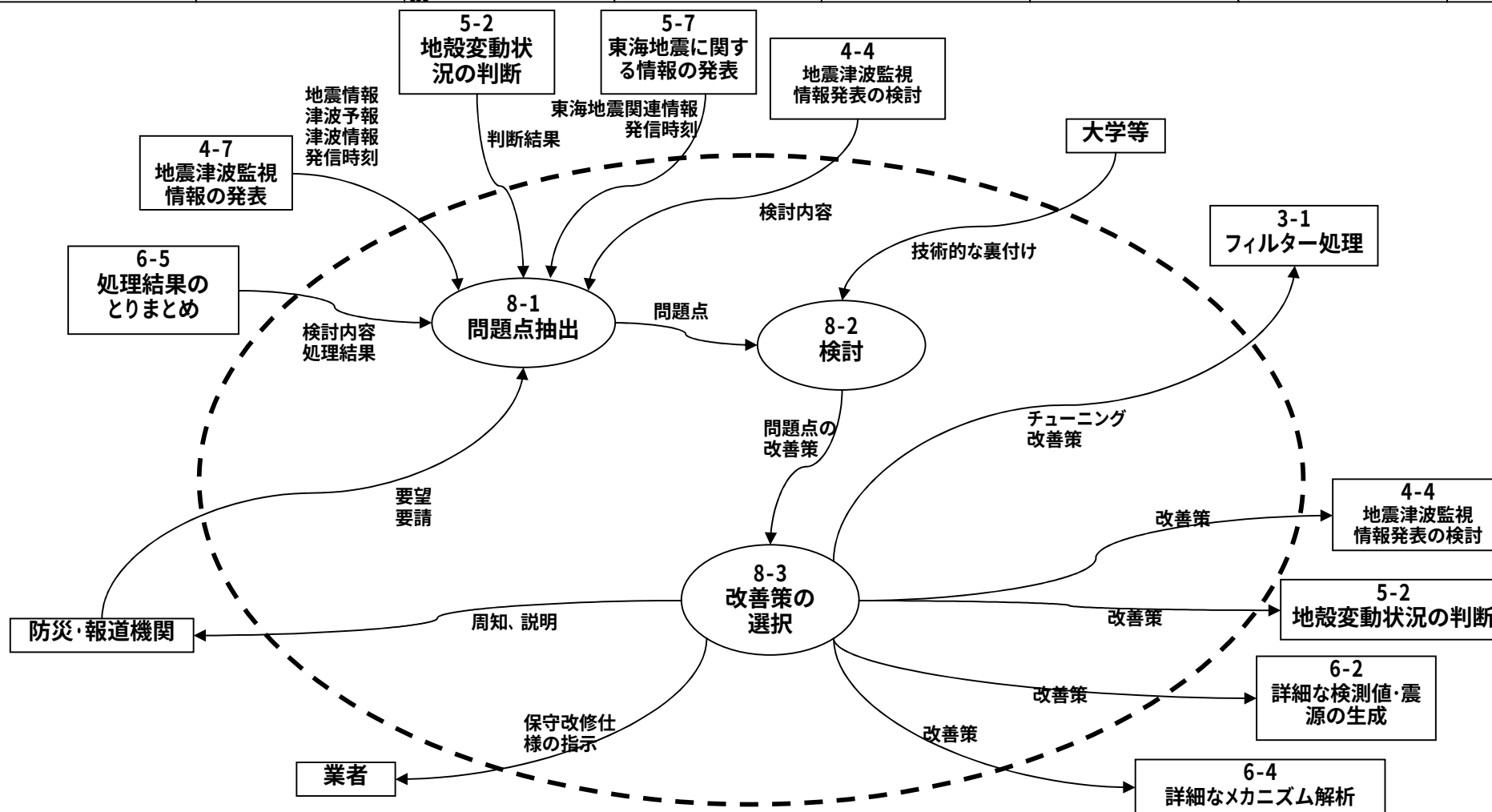
業務体系(現行体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)		頁
		地震津波監視等業務	地域地震情報センター業務支援				7



業務体系 (現行体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名 (Lv0)	業務名 (Lv1)	業務名 (Lv2)	業務名 (Lv3)	頁
		地震津波監視等業務	資料作成・公開			8



業務体系(現行体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)		頁
		地震津波監視等業務	計画・評価				9

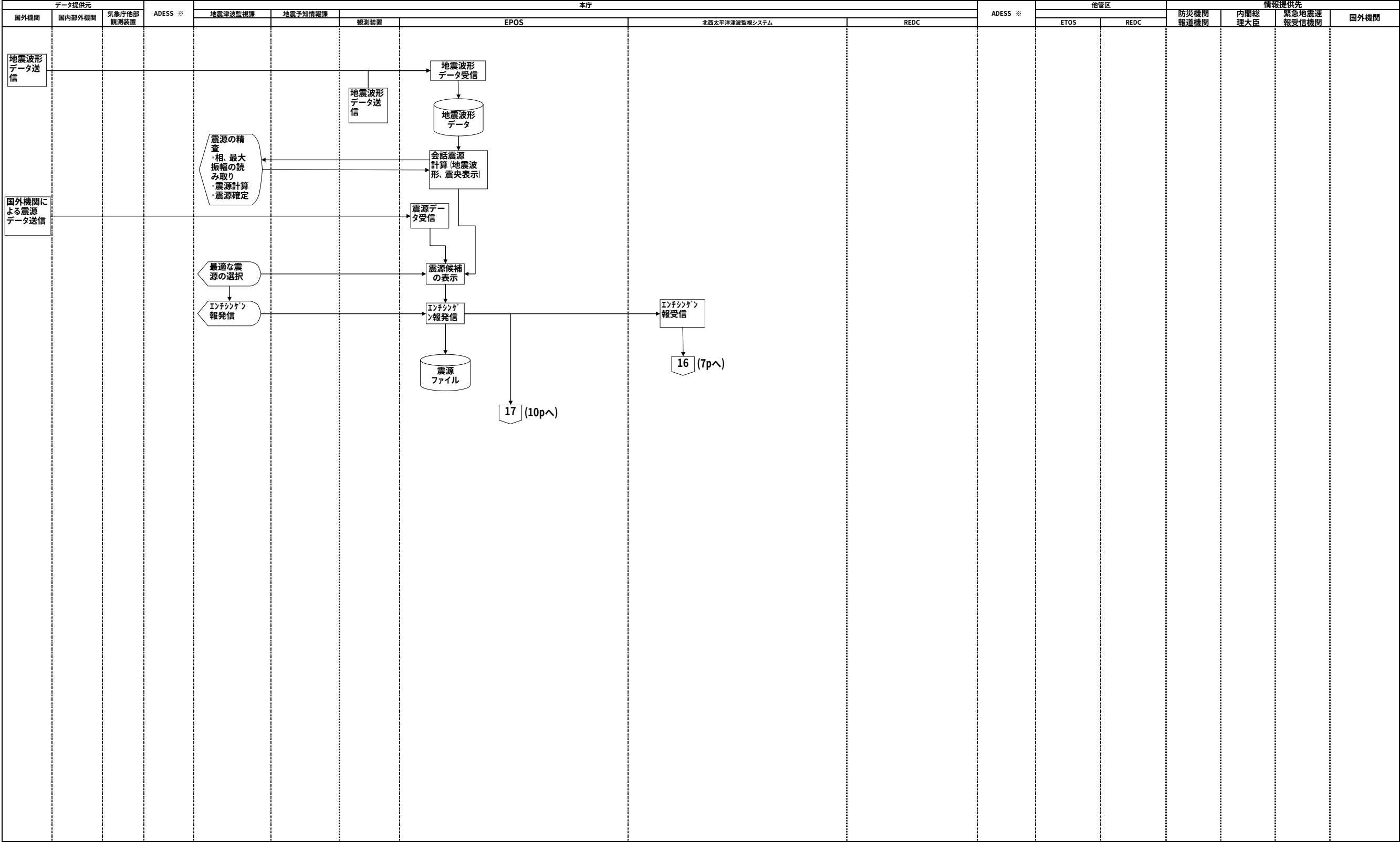


業務流れ図 (現行体系)

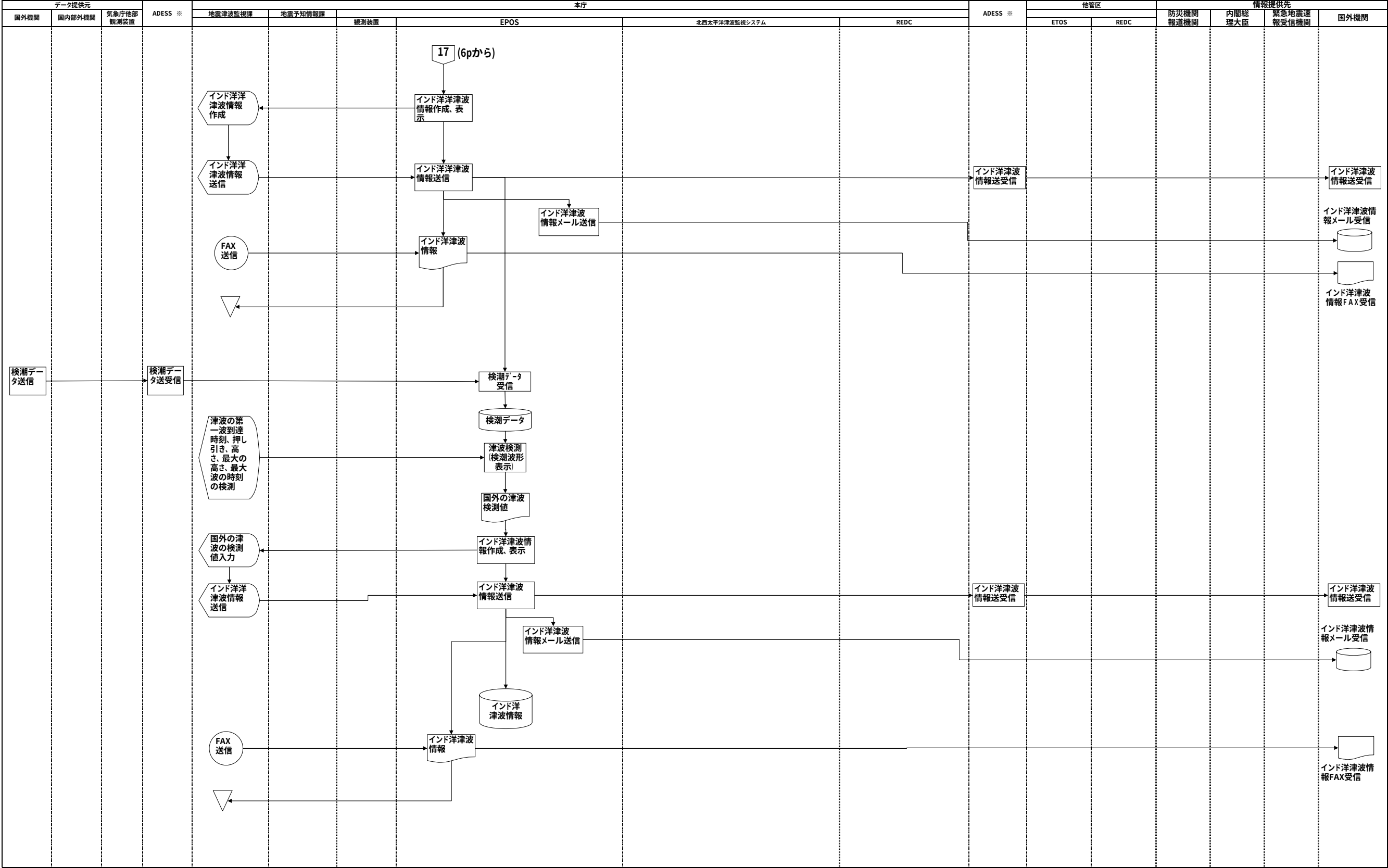
業務体系(現行体系)	業務流れ図(WFA)の見出し	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	頁
						1

業務名(Lv0)		本庁業務(Lv1)		札幌、仙台、大阪、福岡、沖縄の業務(Lv1)	
		業務名(Lv2)	頁	業務名(Lv2)	頁
地震津波監視業務	近地地震時の業務の流れ	緊急地震速報発表	1p		
		近地地震の震源決定	1p	近地地震の震源決定	15p
				ガイダンスによらない津波予報[管区先行津波予報]	16p
		近地地震による国内への津波予報、津波情報発表(1)	2p	ガイダンスを使用する津波予報	17p
				津波情報の受信、発表	18p
		国内の津波検測	3p	国内の津波検測	19p
		近地地震による国内への津波予報、津波情報発表(2)	3p	津波情報(観測情報)の受信、送信	20p
				ガイダンスを使用する津波予報	17p
				津波情報の受信、発表	18p
				津波情報(観測情報)の受信、送信	20p
		近地地震による北西太平洋津波情報発表	4p		
		国外の津波検測	4p		
		震度データの受信、品質管理、送信	5p	震度データの受信、品質管理、送信	21p
		震度速報の受信、送信	5p	震度速報の受信、送信	21p
	遠地地震時の業務の流れ	近地地震による地震情報発表	5p	地震情報の受信、送信	22p
		解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	24p
		遠地地震の震源決定	6p		
		遠地地震による国内への津波予報・情報発表(1)	7p	ガイダンスを使用する津波予報	17p
				津波情報の受信、発表	18p
		国内の津波検測	8p	国内の津波検測	19p
		遠地地震による国内への津波予報・情報発表(2)	8p	津波情報(観測情報)の受信、送信	20p
				ガイダンスを使用する津波予報	17p
				津波情報の受信、発表	18p
				津波情報(観測情報)の受信、送信	20p
		遠地地震(対象領域に限る)による北西太平洋津波情報発表	9p		
		国外の津波検測	9p		
		遠地地震(対象領域に限る)によるインド洋情報発表	10p		
		国外の津波検測	10p		
		遠地地震情報発表	11p	地震情報の受信	22p
		解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	24p
		システム改善など	25p	システム改善など	26p
東海地震予知業務		東海地震に関する情報発表	12p	東海地震に関する情報の受信	22p
		解説業務、資料の作成	14p		
		システム改善など	25p		
地域地震情報センター業務		地域地震情報センター業務	13p	地域地震情報センター業務	23p
		解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	24p
		システム改善など	25p	システム改善など(沖縄を除く)	26p

業務体系 (現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	機能参照番号	頁
		地震津波監視業務	本庁業務	遠地地震の震源決定	データ収集 品質管理 地震津波監視	1-2, 1-3, 1-4, 1-5 2-1, 2-3 4-1	6



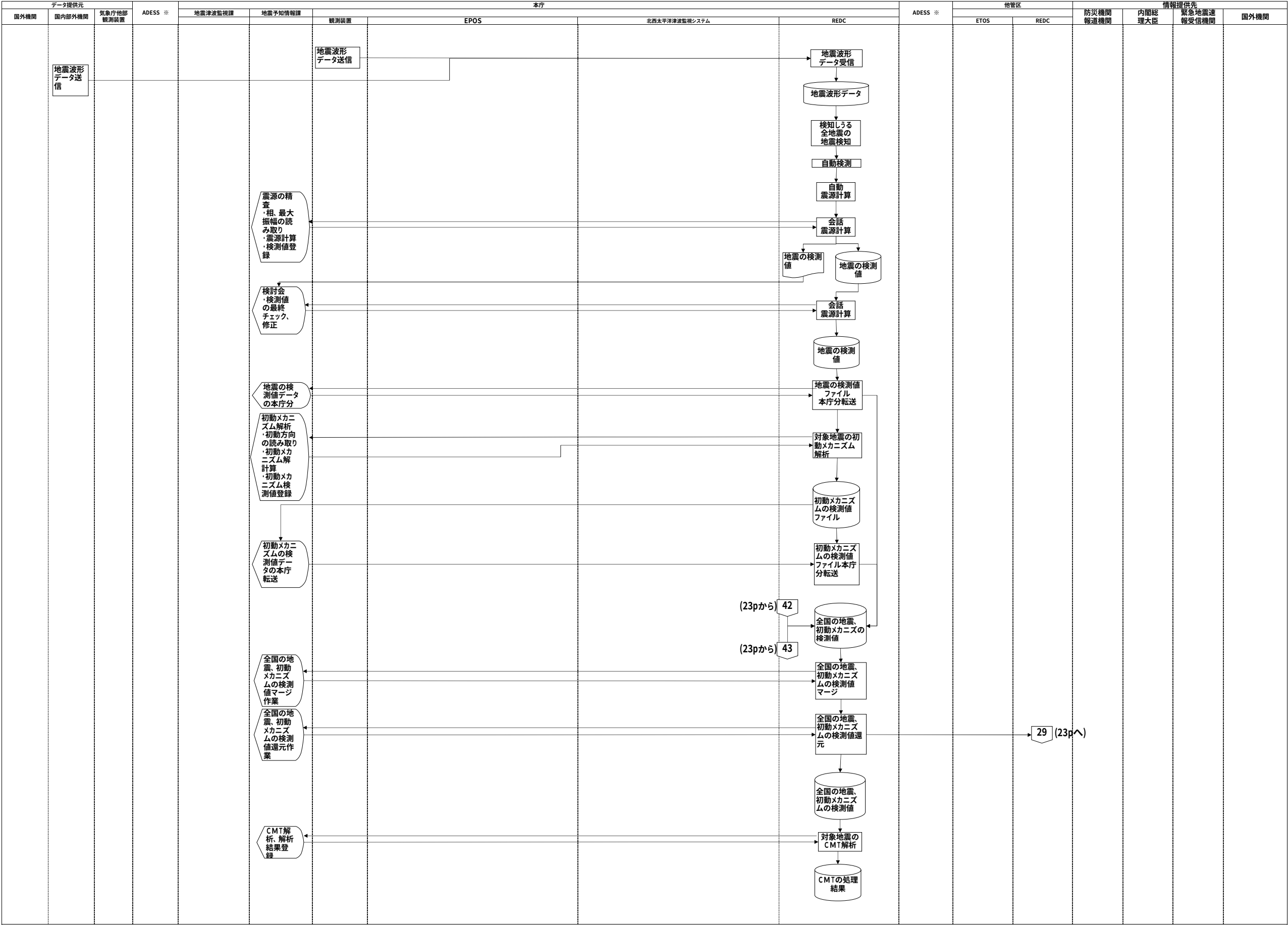
業務体系 (現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0) 地震津波監視業務	業務名(Lv1) 本庁業務	業務名(Lv2) 遠地地震(対象領域に限る)によるインド洋情報発表	業務名(Lv3) データ収集 品質管理 分析 地震津波監視	機能参照番号	頁
						1-2, 1-3, 1-4, 1-5 2-1, 2-3 3-1, 3-2 4-1, 4-2, 4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-7	10



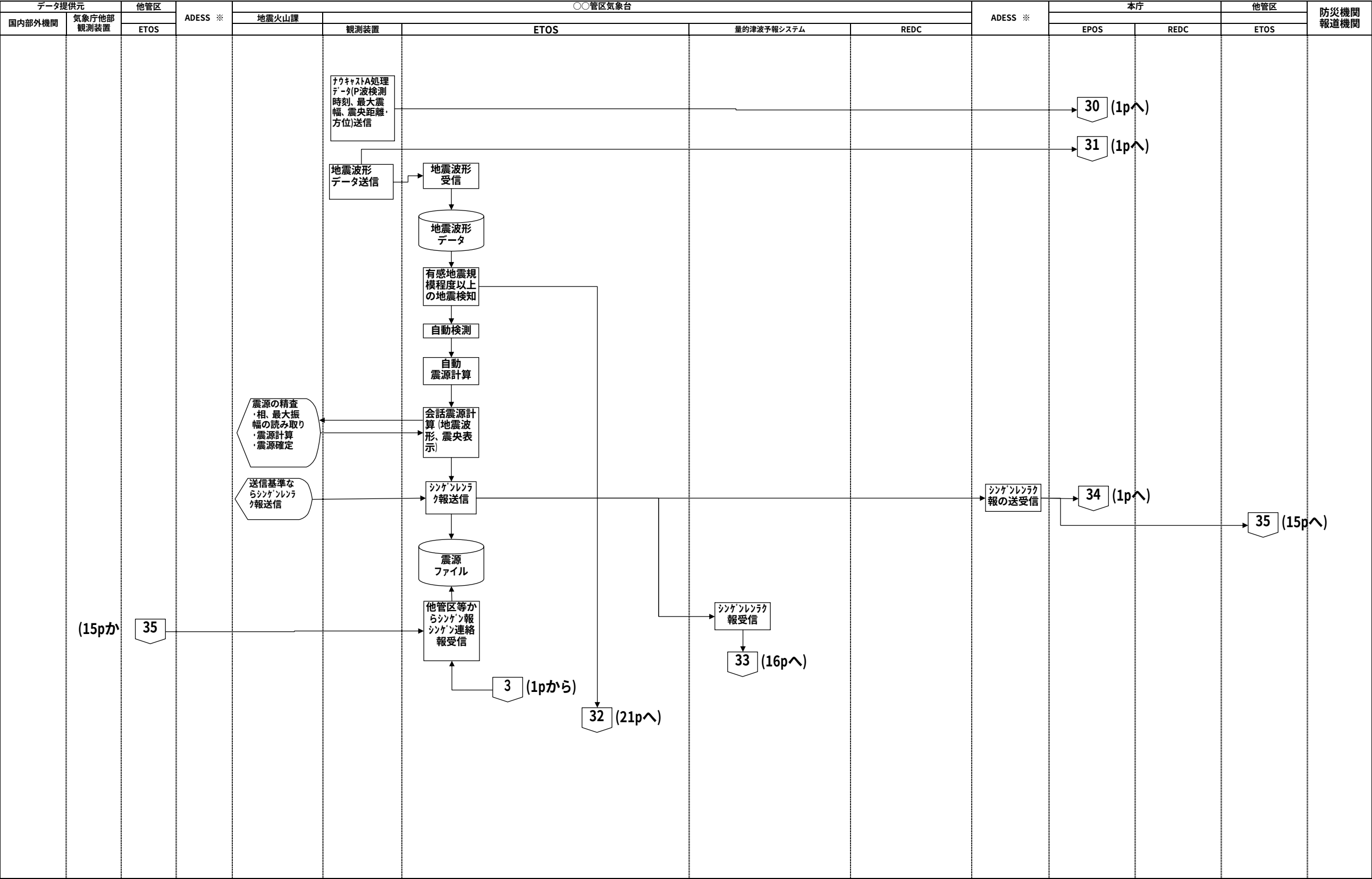
○ 手作業 ⊗ 確認 □ コンピュータ処理 ㊦ コンピュータ画面 ㊞ 帳票 ㊿ ファイル ㊤ 端子 ▽ 保管

※ ADESSは同一のものであるが、表記の都合で分割している

業務体系 (現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0) 地域地震情報センター業務	業務名(Lv1) 本庁業務	業務名(Lv2) 地域地震情報センター業務	業務名(Lv3) データ収集 品質管理 分析 地域地震情報センター業務支援	機能参照番号 1－1, 1－2, 1－3, 1－4, 1－5 2－1, 2－3 3－1, 3－2, 3－3 6－1, 6－2, 6－3, 6－4, 6－5, 6－6	頁 13
-------------	------------	--------------------------	------------------	--------------------------	---	--	---------



業務体系(現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	機能参照番号	頁
		地震津波監視業務	札幌、仙台、大阪、福岡、 沖縄の業務	近地地震の震源決定	データ収集 品質管理 分析 地震津波監視	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5 2-1, 2-3 3-1, 3-2, 3-3 4-1, 4-8	15



○ 手作業

⊘ 確認

□ コンピュー
タ処理

⬡ コンピュ
ータ画面

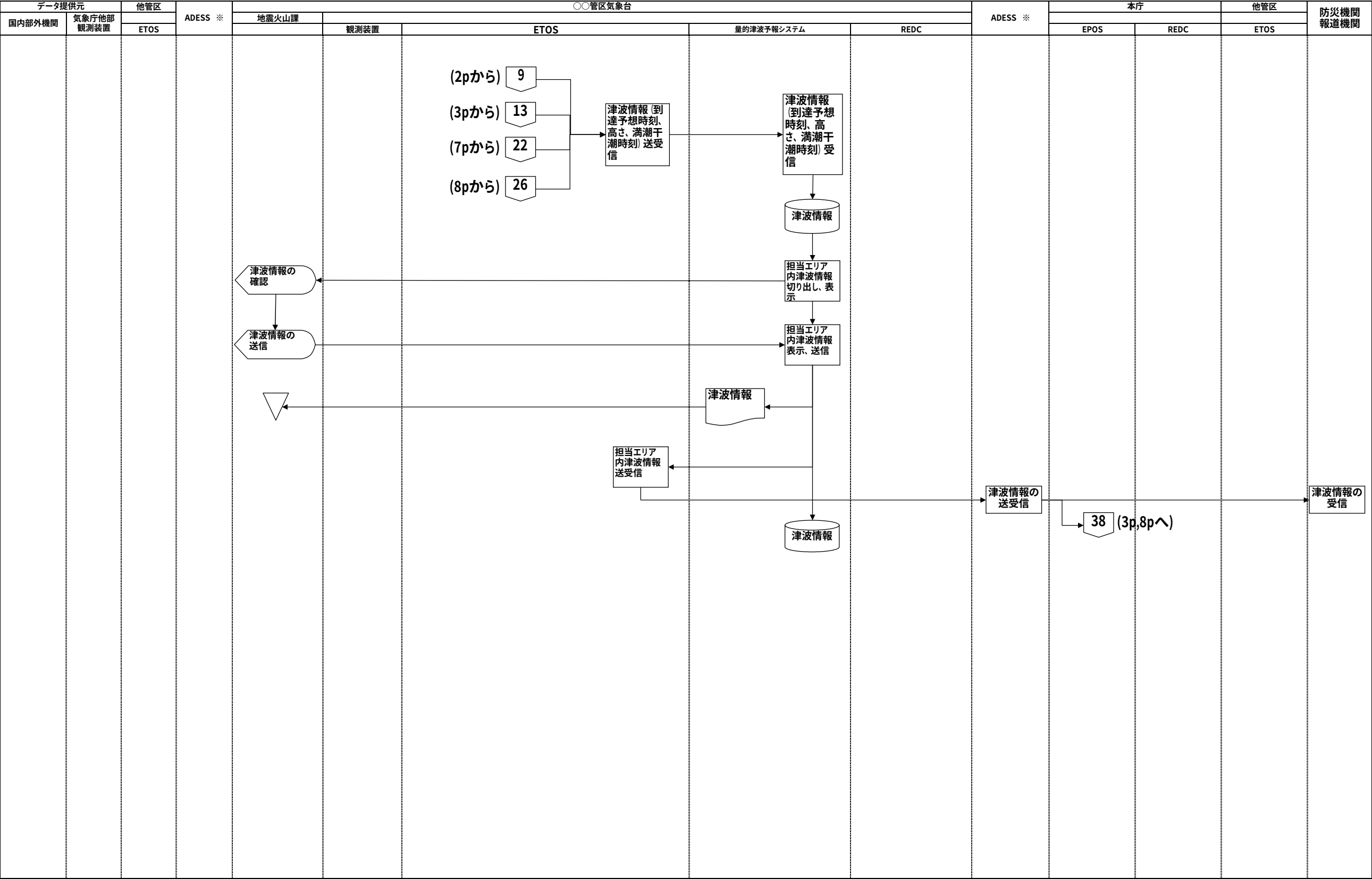
▭ 帳票

🗄 ファイル

📡 端子

※ ADESSは同一のものであるが、表記の都合で分割している

業務体系(現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	機能参照番号	頁
		地震津波監視業務	札幌、仙台、大阪、福岡、 沖縄の業務	津波情報の受信、発表	地震津波監視	4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-7	18



○

手作業

○

確認

□

コンピュータ処理

⬡

コンピュータ画面

□

帳票

🗄

ファイル

⬡

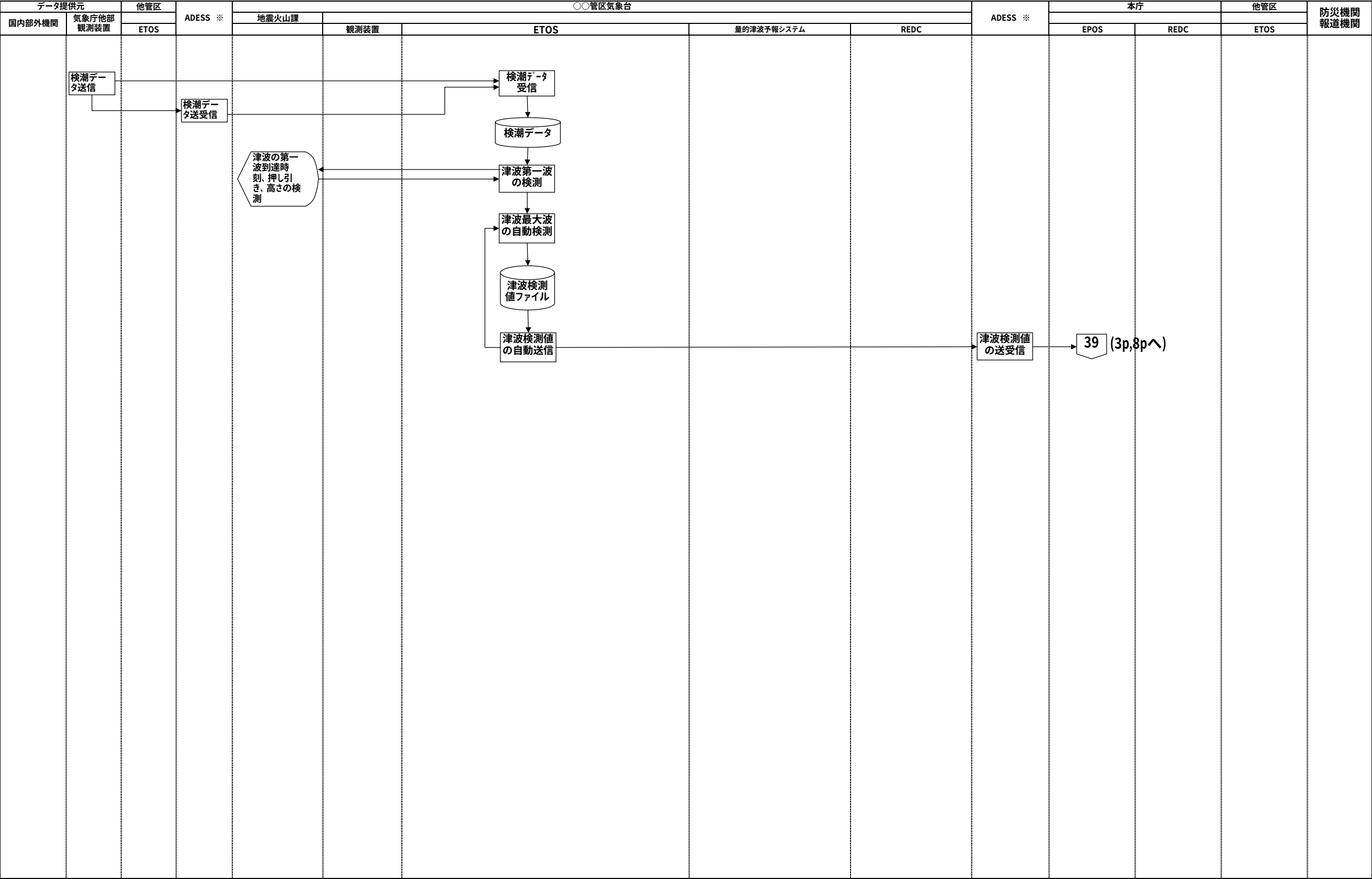
端子

▽

保管

※ ADESSは同一のものであるが、表記の都合で分割している

業務体系 (現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	機能参照番号	頁
		地震津波監視業務	札幌、仙台、大阪、福岡、 沖縄の業務	津波の検測	データ収集 品質管理 分析 地震津波監視	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5 2-1, 2-3 3-1, 3-2 4-1	19



手作業

確認

コンピュータ処理

コンピュータ画面

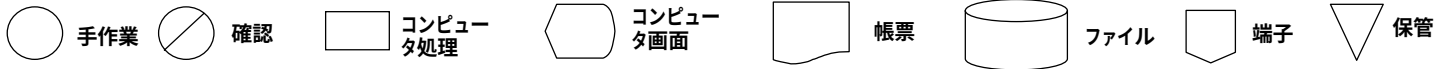
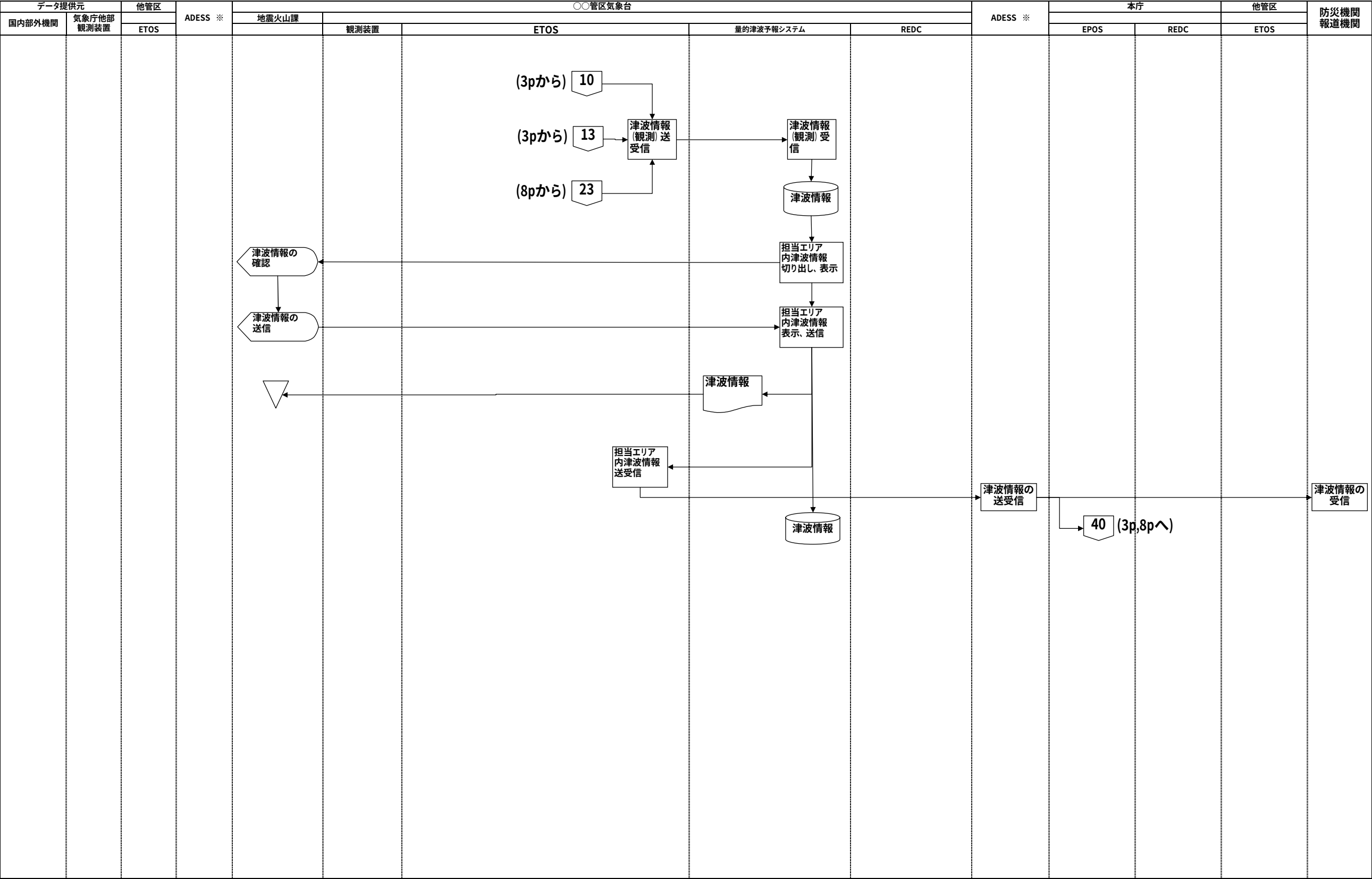
帳票

ファイル

端子

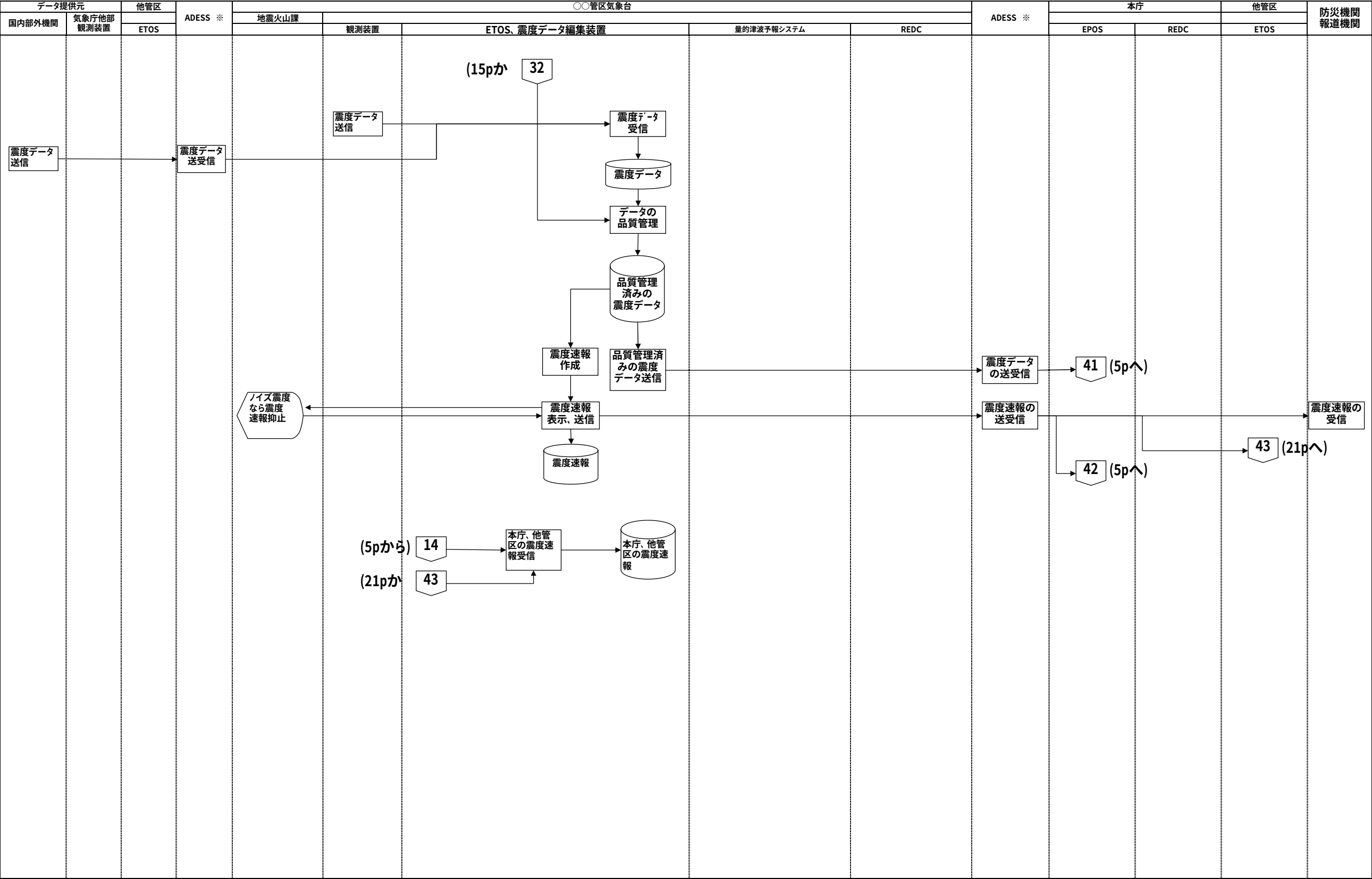
※ ADESSは同一のものであるが、表記の都合で分割している

業務体系 (現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	機能参照番号	頁
		地震津波監視業務	札幌、仙台、大阪、福岡、 沖縄の業務	津波情報(観測情報)の受 信、送信	地震津波監視	4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4- 7	20



※ ADESSは同一のものであるが、表記の都合で分割している

業務体系 (現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	機能参照番号	頁
		地震津波監視業務	札幌、仙台、大阪、福岡、 沖縄の業務	・震度データの受信、品質 管理、送信 ・震度速報の受信、送信	データ収集 品質管理 分析 地震津波監視	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1- 5 2-1, 2-2, 2-3 3-1 4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4- 7	21



手作業

確認

コンピュータ処理

コンピュータ画面

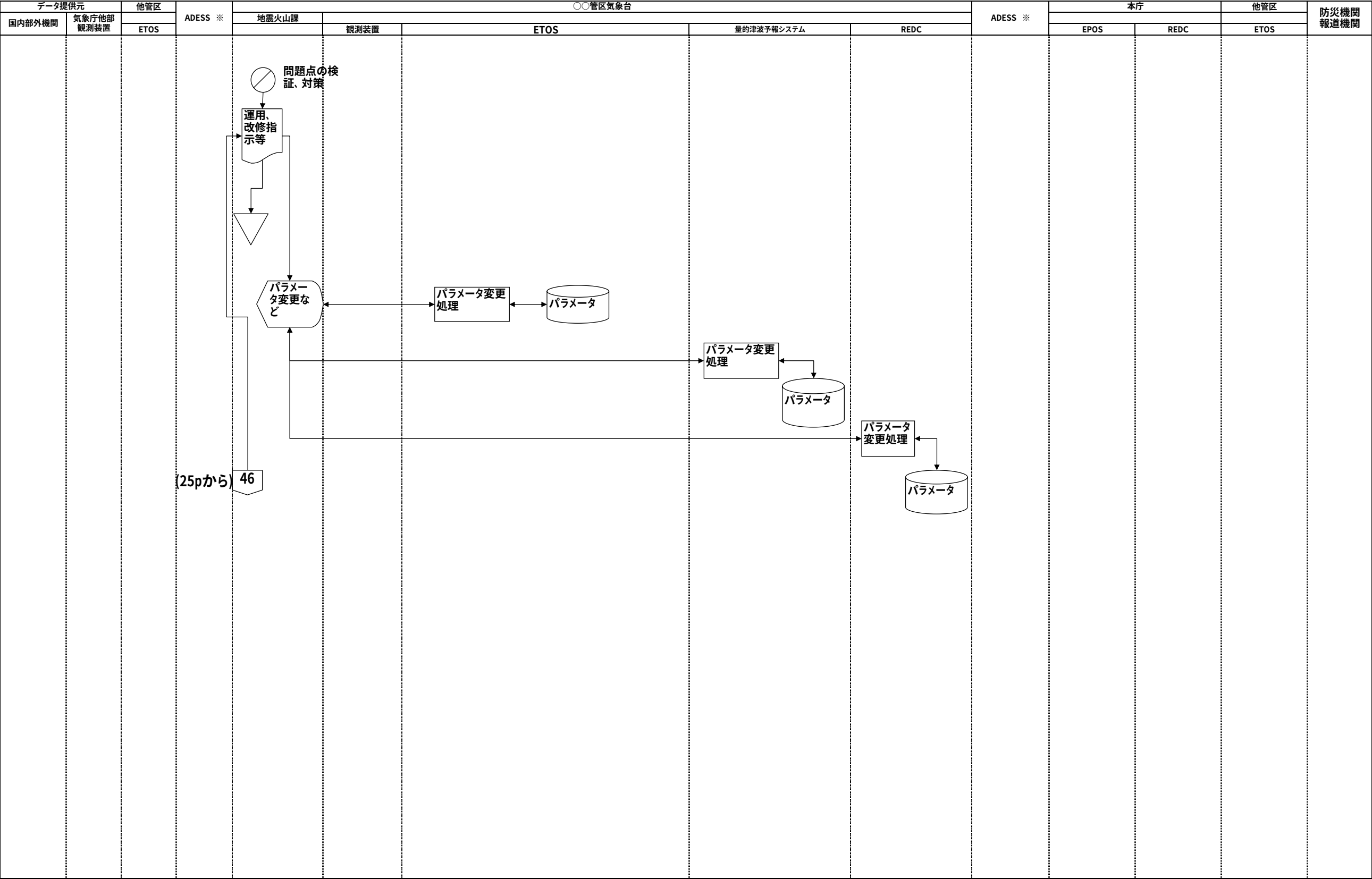
帳票

ファイル

端子

※ ADESSは同一のものであるが、表記の都合で分割している

業務体系 (現行体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0) 地震津波監視業務 東海地震予知業務 地域地震情報センター業務	業務名(Lv1) 札幌、仙台、大阪、福岡、 沖縄の業務	業務名(Lv2) システム改善など	業務名(Lv3) 計画・評価	機能参照番号 8-1, 8-2, 8-3	頁 26
-------------	------------	--	-----------------------------------	----------------------	-------------------	-------------------------	-------------



○

手作業

⊗

確認

□

コンピュータ処理

⬡

コンピュータ画面

▭

帳票

🗄️

ファイル

📄

端子

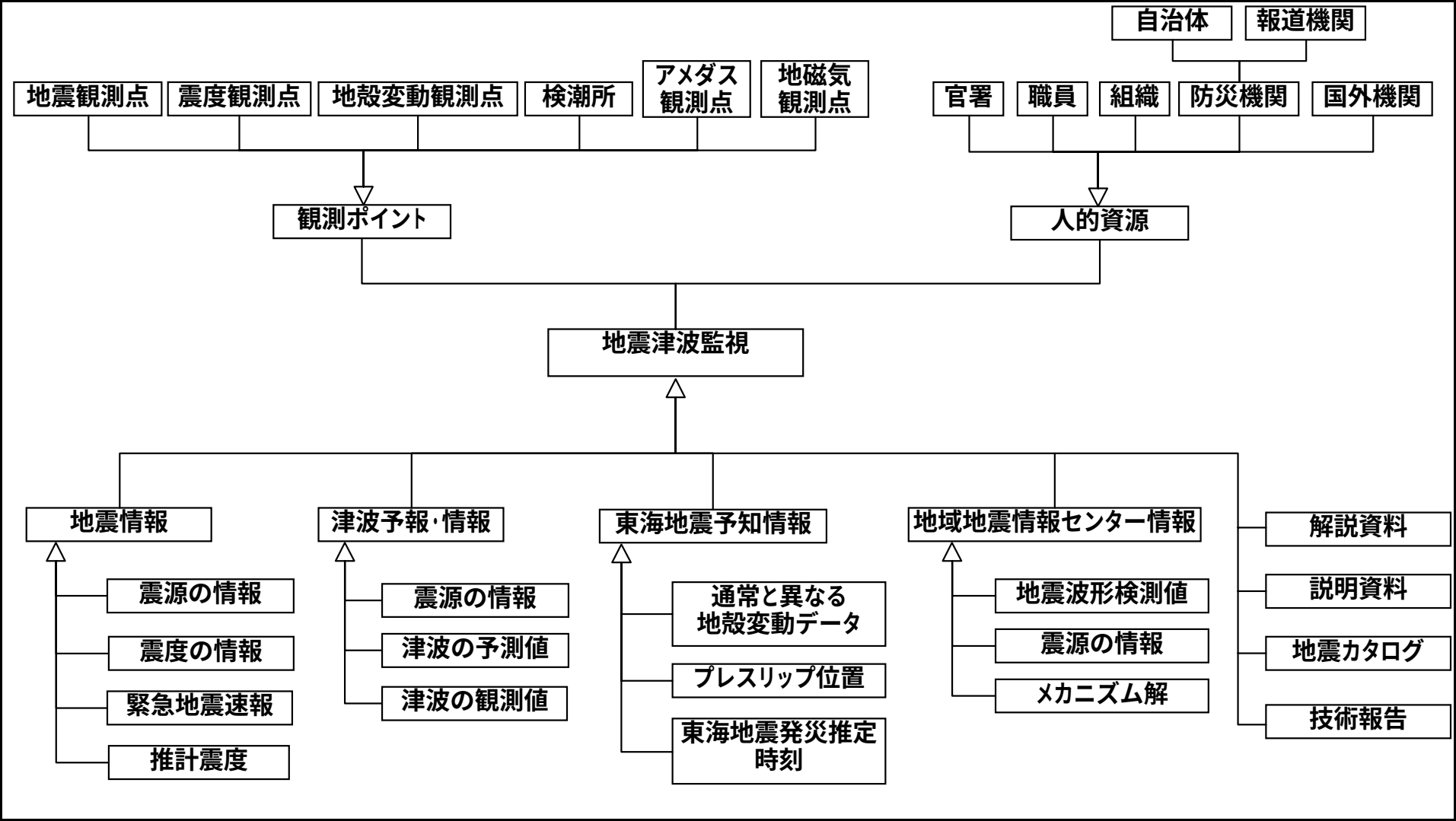
▽

保管

※ ADESSは同一のものであるが、表記の都合で分割している

情報体系整理図 (現行体系)

政策・業務体系 (現行体系)	情報体系整理図 (クラス図)	業務名 (Lv0)	業務名 (Lv1)	業務名 (Lv2)		頁
		地震津波監視等業務				1



機能構成図 (将来体系)

業務体系 (将来体系)	機能構成図(DMM)	業務名(Lv0) 地震津波監視等業務	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)		頁
							1

1-1 送信	1-2 受信	1-3 チャンネル選択
1-8	1 データ収集	1-4 フォーマット変更
1-7	1-6	1-5 データ振り分け、配信

2-1 障害検出	2-2 障害解析	2-3 異常データ除去
2-8	2 品質管理	2-4 修理依頼
2-7	2-6	2-5

3-1 フィルター処理	3-2 抽出	3-3 ソース推定
3-8	3 分析	3-4
3-7	3-6	3-5

8-1 問題点抽出	8-2 検討	8-3 改善策の選択
8-8	8 計画・評価	8-4
8-7	8-6	8-5

1 データ収集	2 品質管理	3 分析
8 評価	0 地震津波監視等業務	4 地震津波監視
7 資料作成・公開	6 地域地震情報センター業務支援	5 東海地震予知

4-1 検測値・震源の精査	4-2 予測	4-3 地震津波監視情報の要素入手
4-8	4 地震津波監視	4-4 地震津波監視情報発表の検討
4-7 地震津波監視情報の発表	4-6 地震津波監視情報の承認	4-5 地震津波監視情報の編集

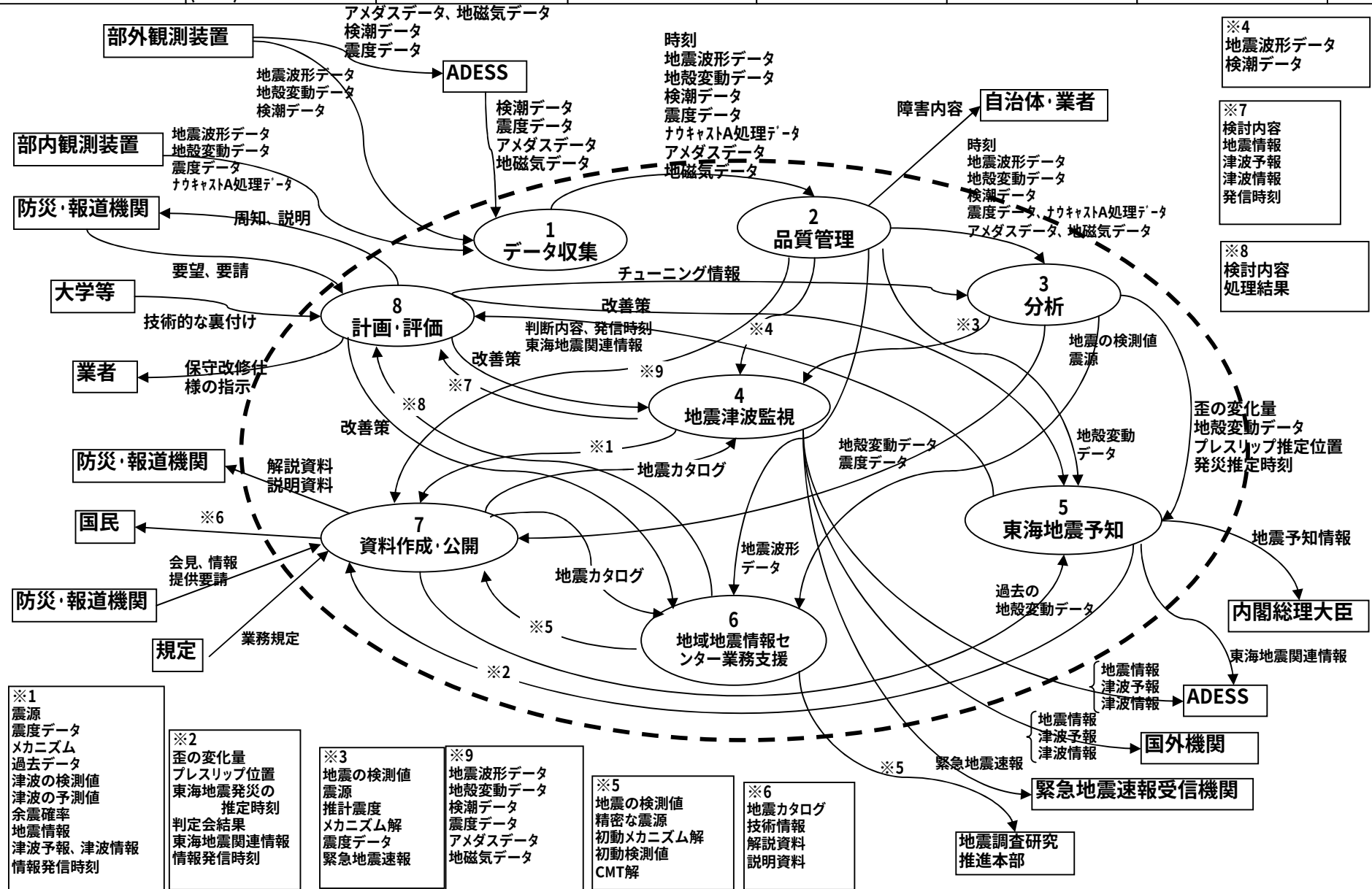
7-1 企画	7-2 資料の要素収集	7-3 資料作成
7-8	7 資料作成・公開	7-4 解説
7-7	7-6	7-5 公開

6-1 データ取り込み	6-2 詳細な検測値・震源の生成	6-3 検討会
6-8	6 地域地震情報センター業務支援	6-4 詳細なメカニズム解析
6-7	6-6 処理結果の報告	6-5 処理結果のとりまとめ

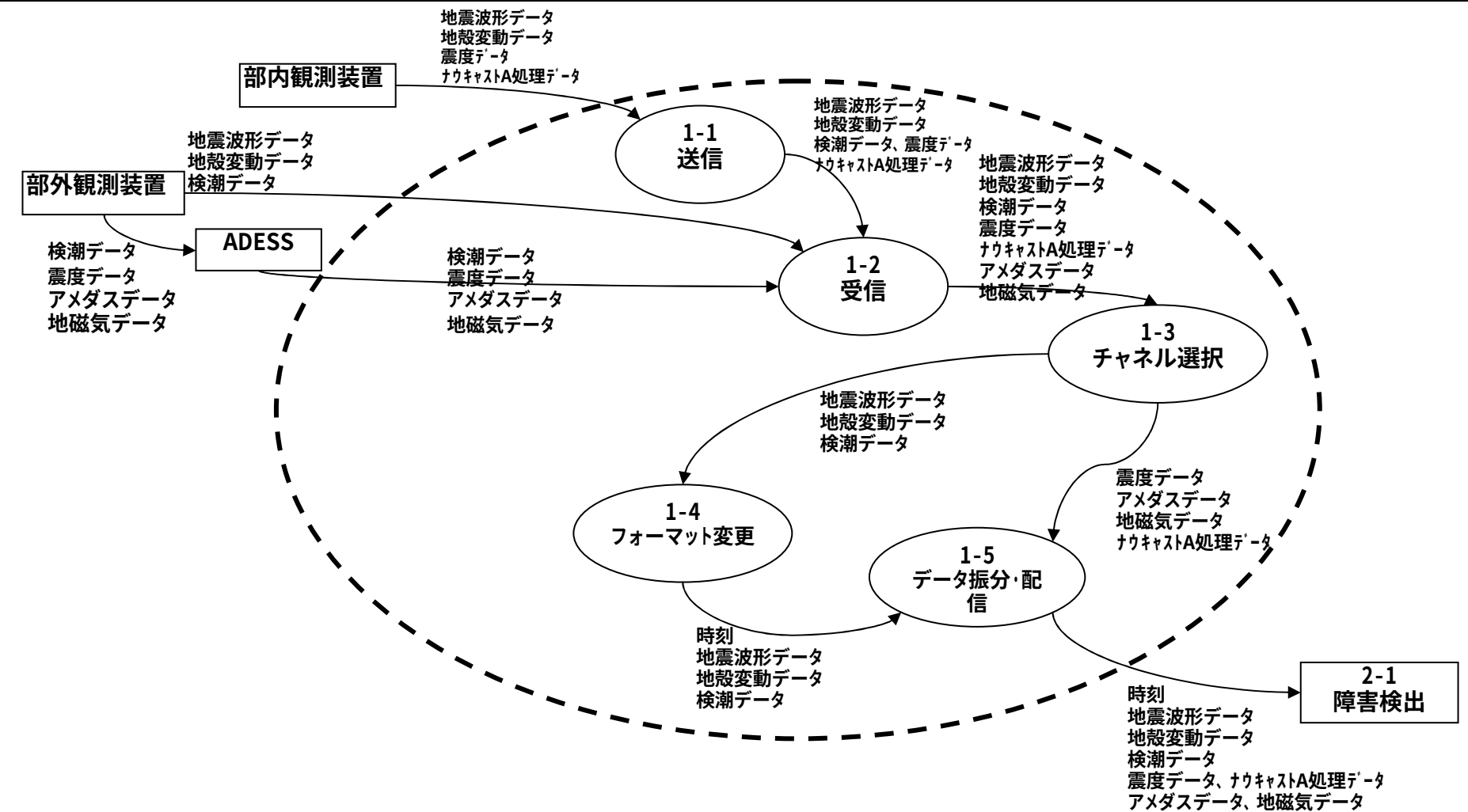
5-1 東海地震予知情報の要素入手	5-2 地殻変動状況の判断	5-3 判定会
5-8	5 東海地震予知	5-4 判断結果のとりまとめ
5-7 東海地震に関する情報の発表	5-6 東海地震に関する情報の承認	5-5 東海地震に関する情報の編集

機能情報関連図 (将来体系)

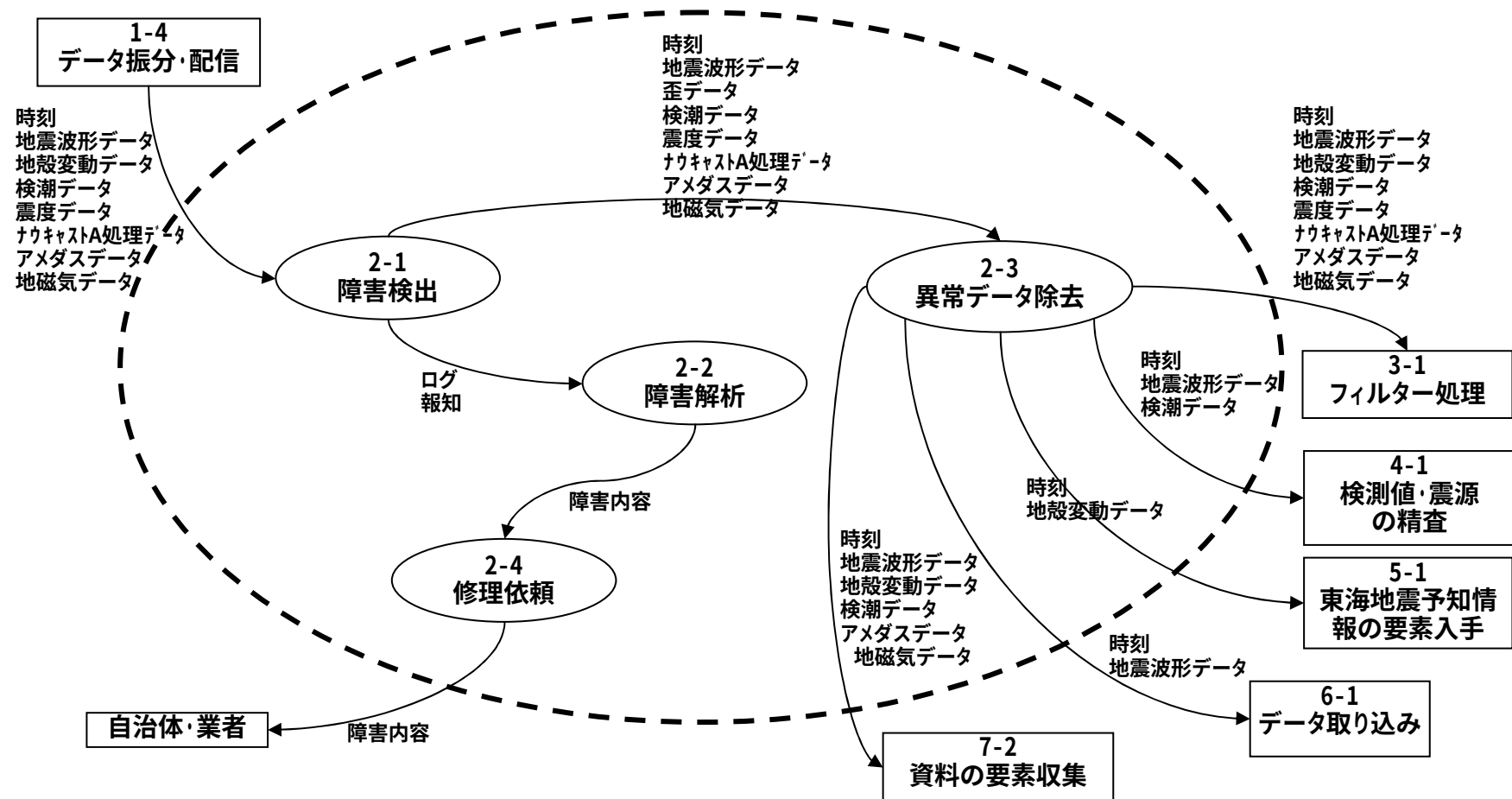
業務体系 (将来体系)	機能情報関連図 (DFD)	業務名 (Lv0)	業務名 (Lv1)	業務名 (Lv2)	業務名 (Lv3)	頁
		地震津波監視等業務				1



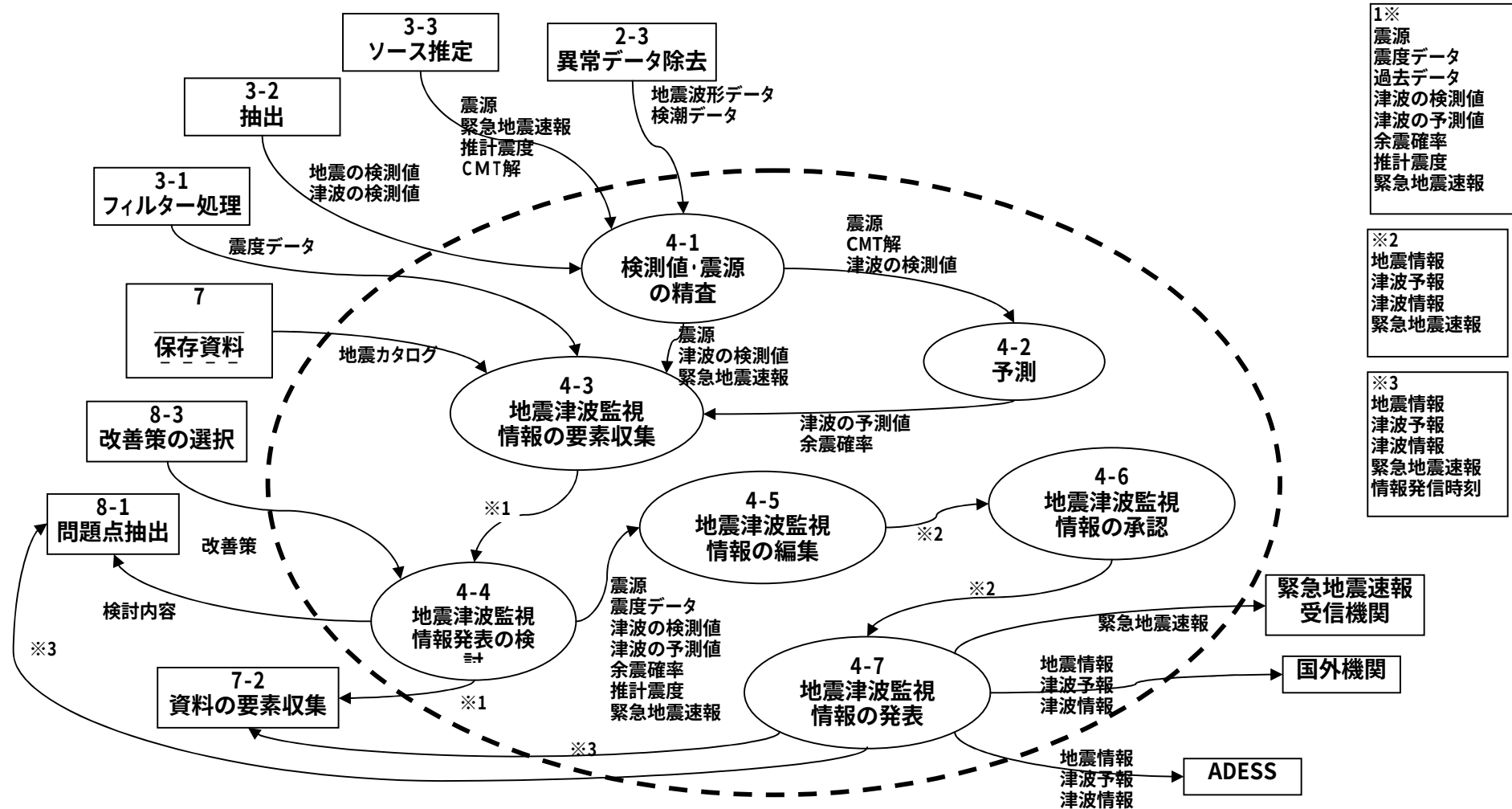
業務体系 (将来体系)	機能情報関連図 (DFD)	業務名 (Lv0)	業務名 (Lv1)	業務名 (Lv2)	業務名 (Lv3)		頁
		地震津波監視等業務	データ収集				2



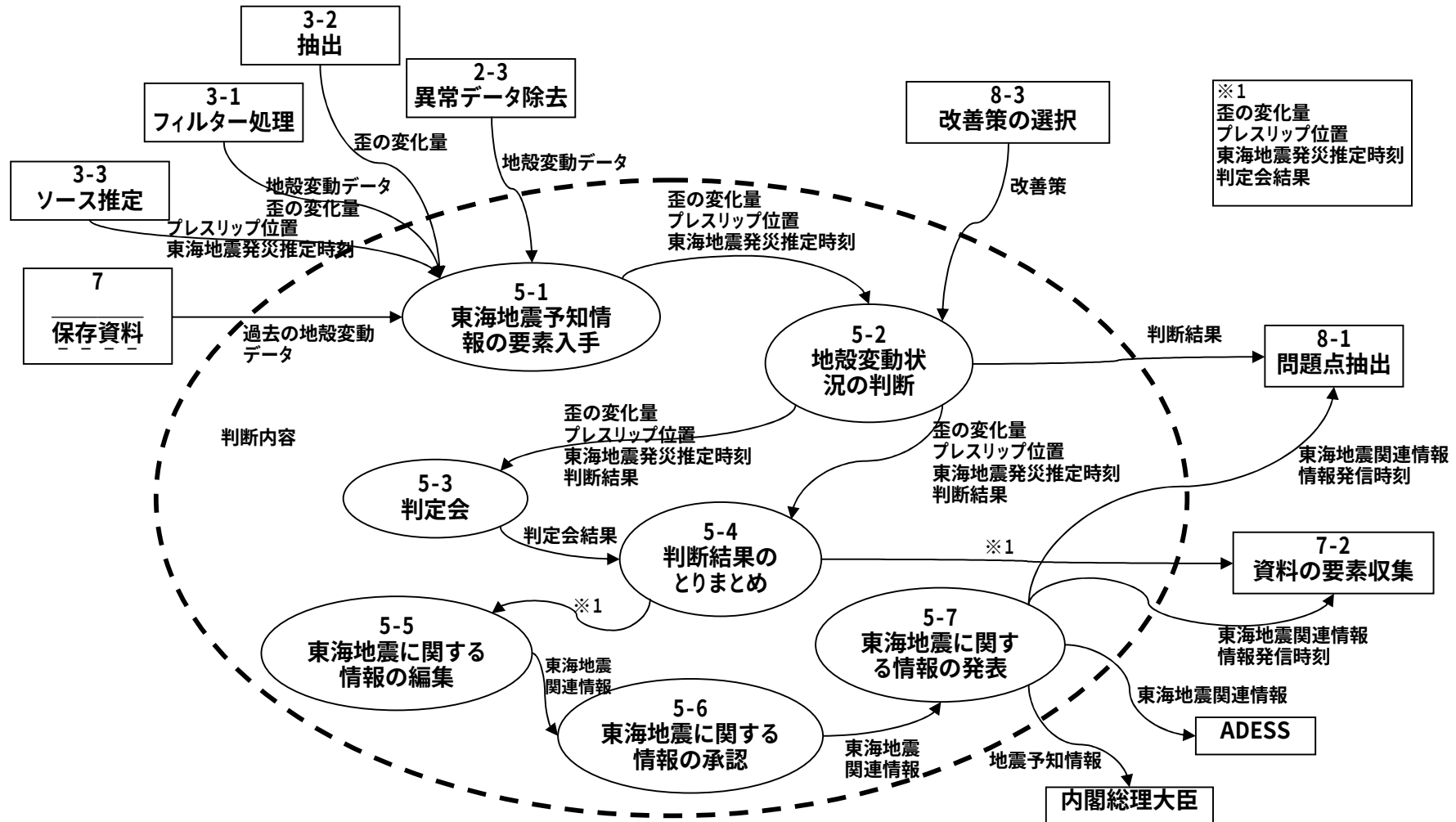
業務体系(将来体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	頁
		地震津波監視等業務	品質管理			3



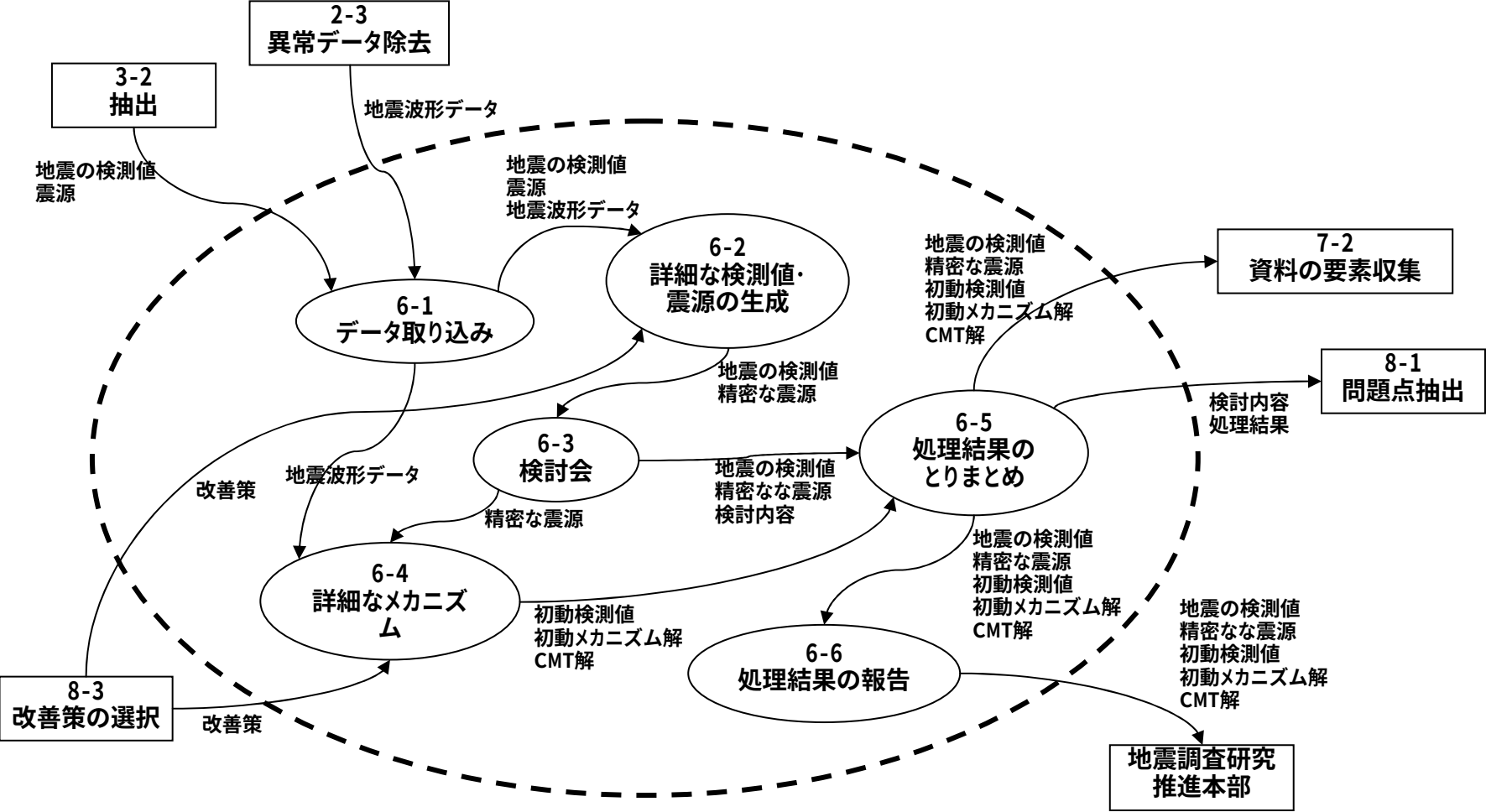
業務体系(将来体系)	機能情報関連図 (DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	頁
		地震津波監視等業務	地震津波監視			5



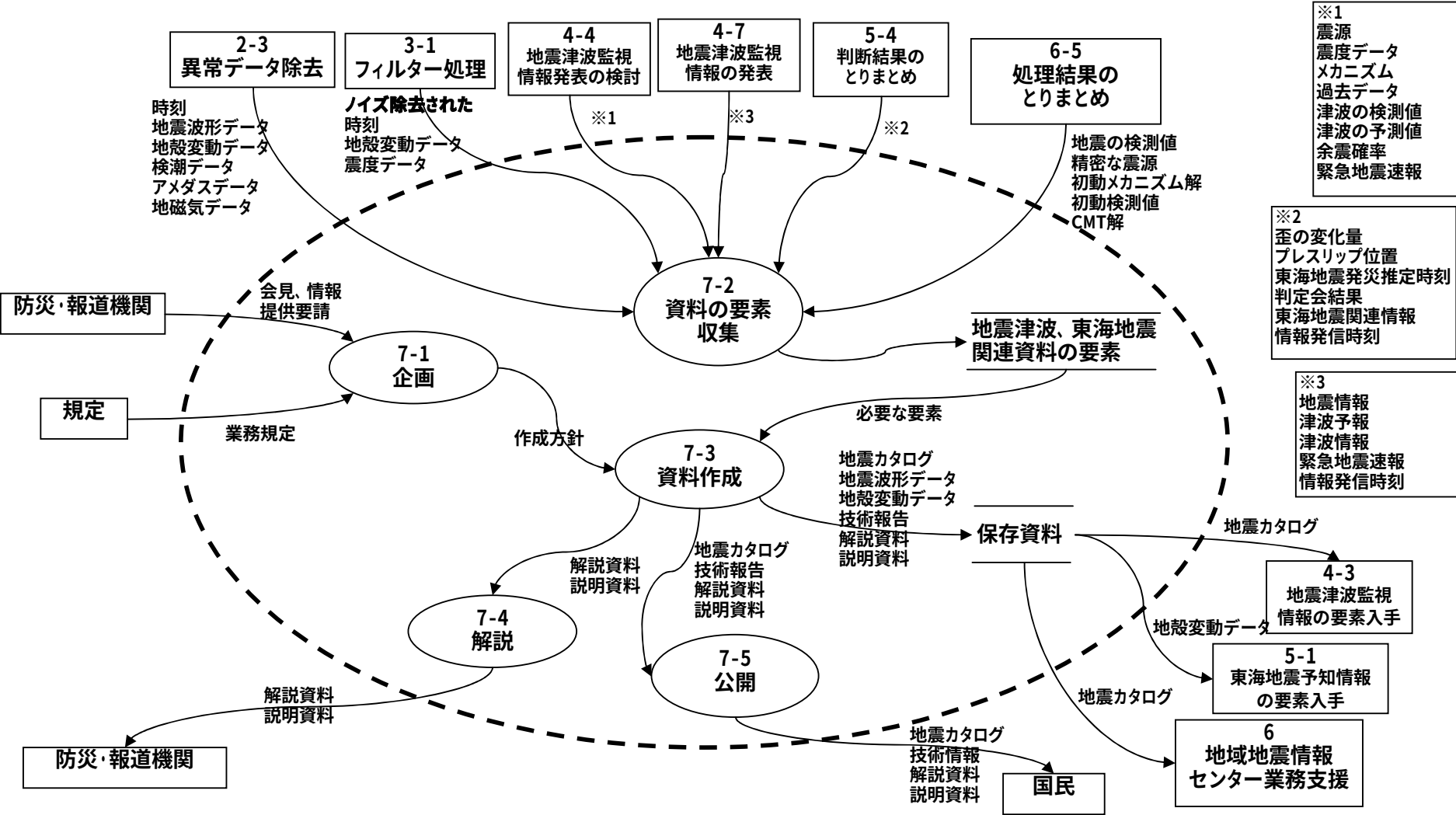
業務体系(将来体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	頁
		地震津波監視等業務	東海地震予知			6



業務体系 (将来体系)	機能情報関連図 (DFD)	業務名 (Lv0)	業務名 (Lv1)	業務名 (Lv2)	業務名 (Lv3)		頁
		地震津波監視等業務	地域地震情報センター業務支援				7



業務体系 (将来体系)	機能情報関連図(DFD)	業務名 (Lv0)	業務名 (Lv1)	業務名 (Lv2)	業務名 (Lv3)	頁
		地震津波監視等業務	資料作成・公開			8

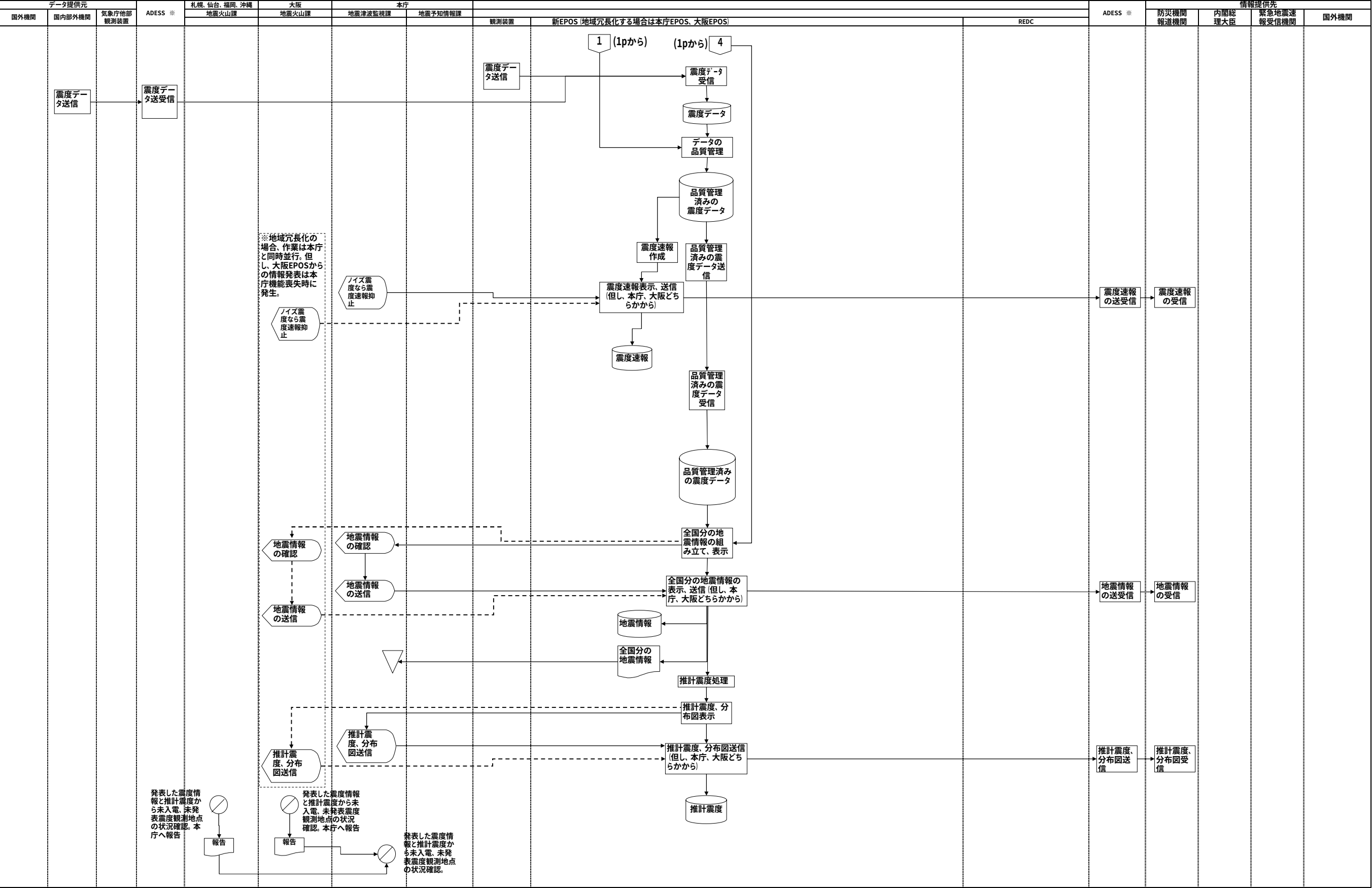


業務流れ図 (将来体系)

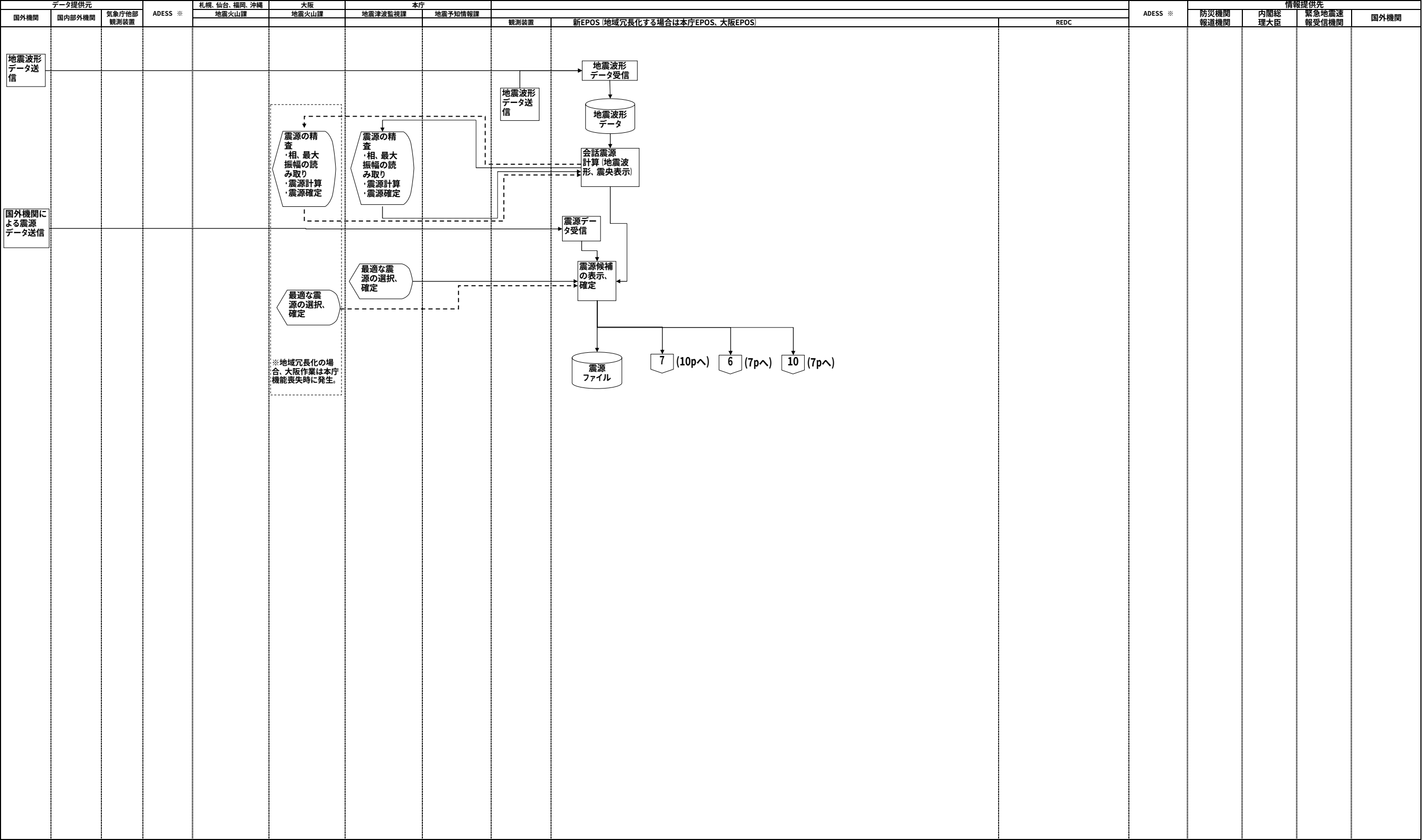
業務体系 (将来体系)	業務流れ図(WFA)の見出し	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	業務名(Lv3)	頁
						1

業務名(Lv0)		本庁業務 業務名(Lv1)		大阪の業務 業務名(Lv1)		札幌、仙台、福岡、沖縄の業務 業務名(Lv2)	
			頁		頁		頁
地震津波監視業務	近地地震時の業務の流れ 	緊急地震速報発表	1p	緊急地震速報発表	1p		
		近地地震の震源決定	1p	近地地震の震源決定	1p		
		近地地震による国内への津波予報、津波情報発表(1)	2p	近地地震による国内への津波予報、津波情報発表(1)	2p		
		国内の津波検測	3p	国内の津波検測	3p	国内の津波検測	3p
		近地地震による国内への津波予報、津波情報発表(2)	3p	近地地震による国内への津波予報、津波情報発表(2)	3p		
		近地地震による北西太平洋津波情報発表	4p	近地地震による北西太平洋津波情報発表	4p		
		国外の津波検測	4p	国外の津波検測	4p		
		震度データの受信、品質管理、送信	5p	震度データの受信、品質管理、送信	5p		
		震度速報の受信、送信	5p	震度速報の受信、送信	5p		
		近地地震による地震情報発表	5p	近地地震による地震情報発表	5p		
		未入電震度観測地点の確認	5p	未入電震度観測地点の確認	5p	未入電震度観測地点の確認	5p
		解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	14p
	遠地地震時の業務の流れ 	遠地地震の震源決定	6p	遠地地震の震源決定	6p		
		遠地地震による国内への津波予報・情報発表(1)	7p	遠地地震による国内への津波予報・情報発表(1)	7p		
		国内の津波検測	8p	国内の津波検測	8p	国内の津波検測	8p
		遠地地震による国内への津波予報・情報発表(2)	8p	遠地地震による国内への津波予報・情報発表(2)	8p		
		遠地地震(対象領域に限る)による北西太平洋津波情報発表	9p	遠地地震(対象領域に限る)による北西太平洋津波情報発表	9p		
		国外の津波検測	9p	国外の津波検測	9p		
		遠地地震(対象領域に限る)によるインド洋情報発表	10p	遠地地震(対象領域に限る)によるインド洋情報発表	10p		
		国外の津波検測	10p	国外の津波検測	10p		
		遠地地震情報発表	11p	遠地地震情報発表	11p		
		解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	14p
		システム改善など	15p	システム改善など	15p	システム改善など	15p
		東海地震に関する情報発表	12p				
		解説業務、資料の作成	14p				
		システム改善など	15p	システム改善など	15p		
東海地震予知業務		地域地震情報センター業務	13p	地域地震情報センター業務	13p	地域地震情報センター業務	13p
地域地震情報センター業務		解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	14p	解説業務、資料の作成	14p
		システム改善など	15p	システム改善など	15p	システム改善など	15p

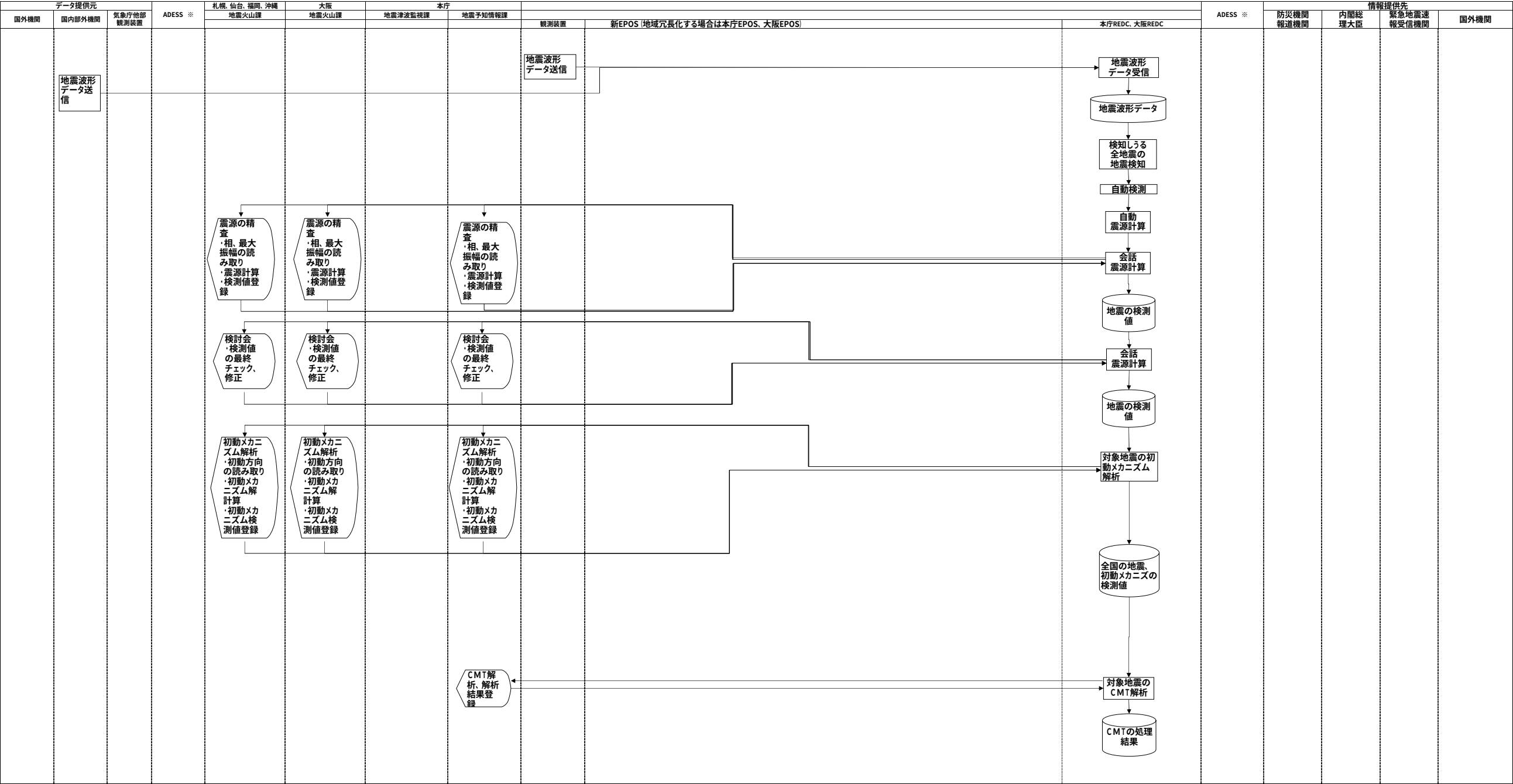
業務体系 (将来体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	機能参照番号		頁
		地震津波監視業務	・震度データの受信、品質管理、送信 ・震度速報の受信、送信 ・近地地震による地震情報発表	データ収集 品質管理 分析 地震津波監視	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5 2-1, 2-3 3-1, 3-2, 3-3 4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-7		5



業務体系 (将来体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	機能参照番号		頁
		地震津波監視業務	遠地地震の震源決定	データ収集 品質管理 地震津波監視	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5 2-1, 2-3 4-1		6



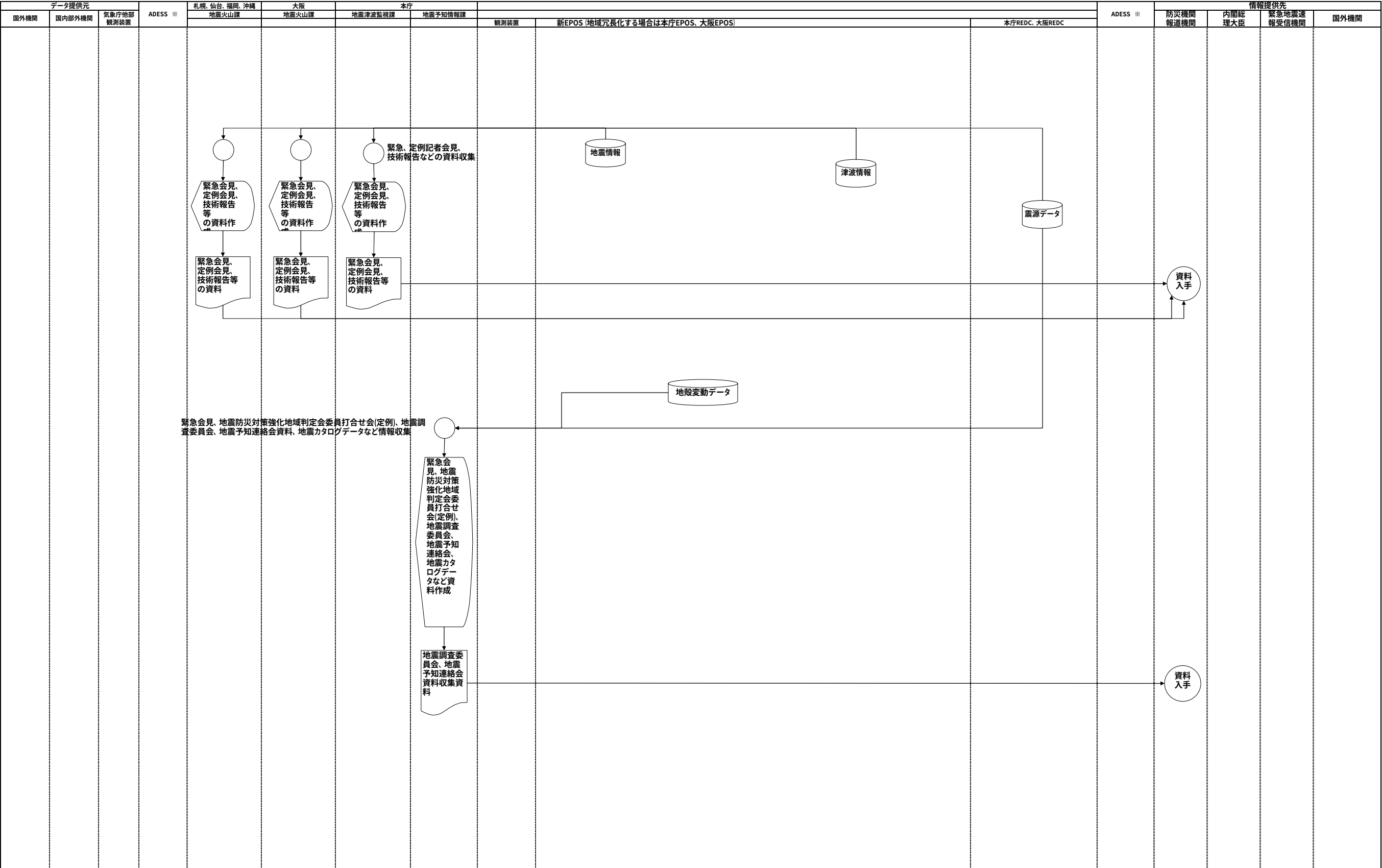
業務体系 (将来体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0) 地域地震情報センター業務	業務名(Lv1) 地域地震情報センター業務	業務名(Lv2) データ収集 品質管理 分析 地域地震情報センター業務支援	機能参照番号 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5 2-1, 2-3 3-1, 3-2, 3-3 6-1, 6-2, 6-3, 6-4, 6-5, 6-6		頁 13
-------------	------------	--------------------------	--------------------------	---	--	--	---------



○ 手作業 ◯ 確認 □ コンピュータ
処理 〡 コンピュータ
画面 帳票 〇 ファイル 〇 端子 ▽ 保管

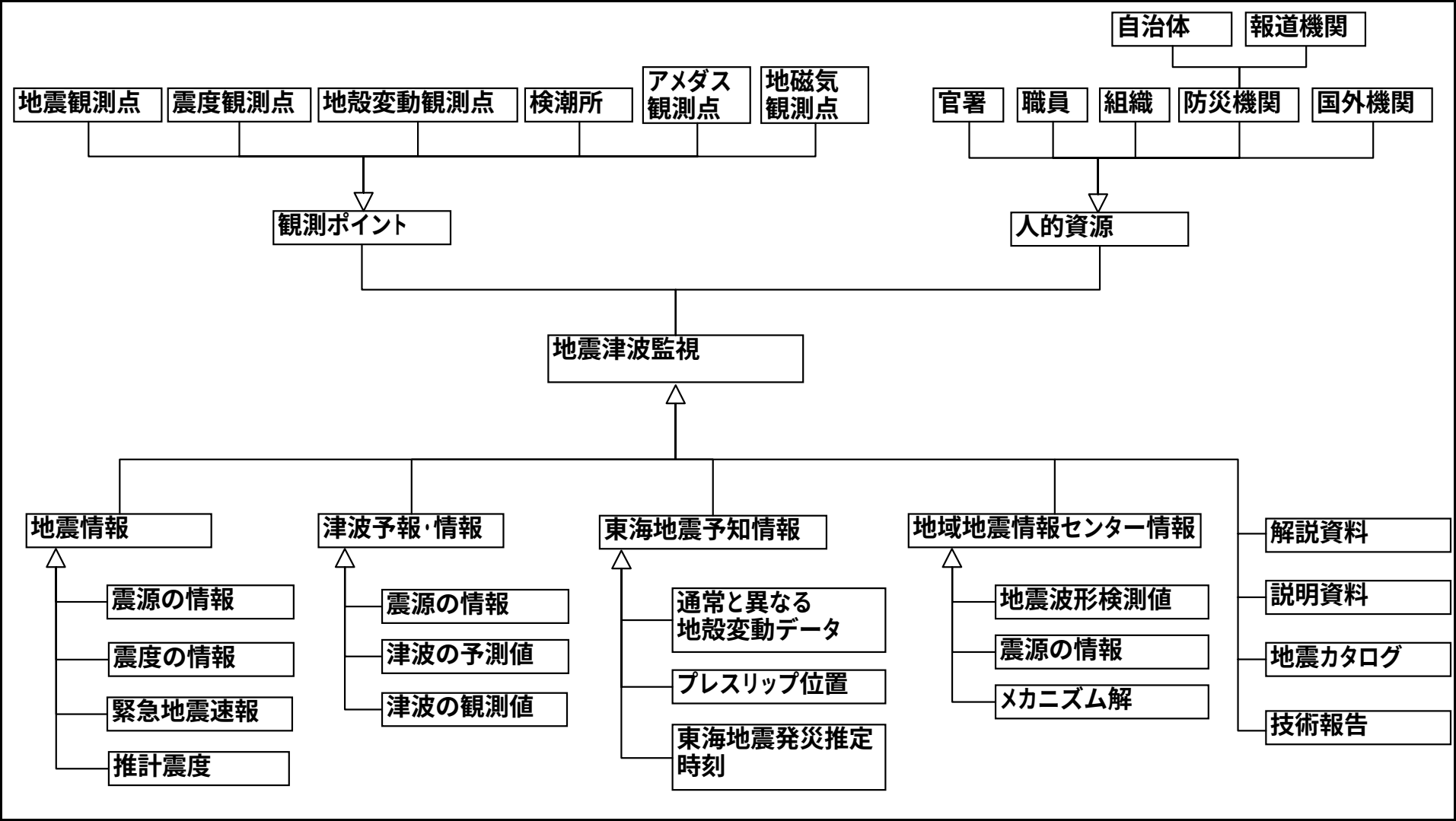
※ ADESSは同一のものであるが、表記の都合で分割している

業務体系 (将来体系)	業務流れ図(WFA)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)	機能参照番号		頁
		地震津波監視業務 東海地震予知業務 地域地震情報センター業務	解説業務、資料の作成など	資料作成・公開	7-1, 7-2, 7-3, 7-4, 7-5		14



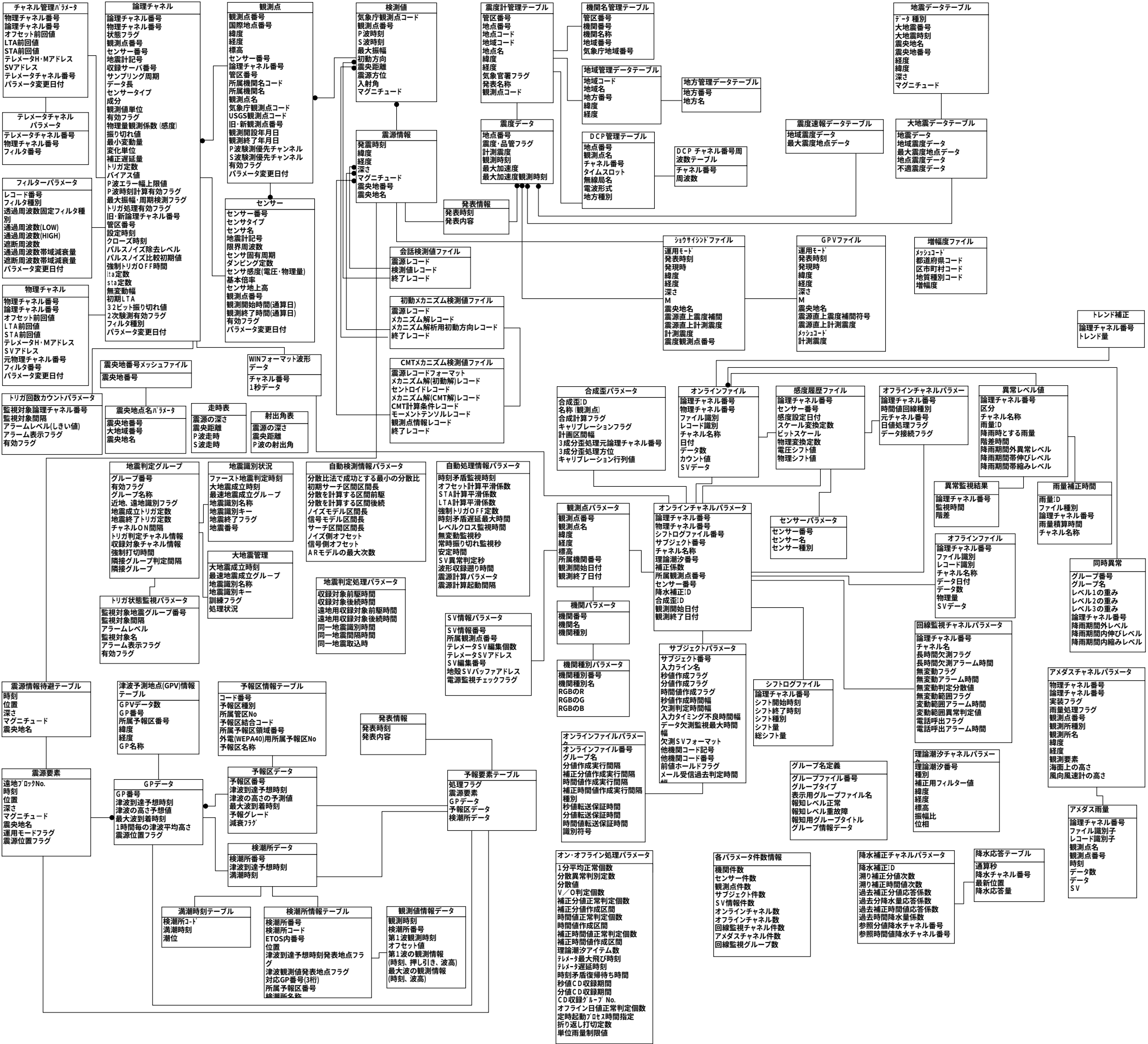
情報体系整理図 (将来体系)

政策・業務体系 (将来体系)	情報体系整理図 (クラス図)	業務名(Lv0)	業務名(Lv1)	業務名(Lv2)		頁
		地震津波監視等業務				1



実体関連図 (将来体系)

実体関連図 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	頁
	地震津波監視等業務	EPOS, REDC		初版	2006/07/14		1



データ定義表 (将来体系)

データ定義表(将来) エンティティ一覧	業務名	資料番号	版数	日付	作成者
	地震津波監視等業務		初版	2006/7/14	

項番	システム名	エンティティ名	種別	データの量	説明
1	地震サブシステム(EPOS)	観測点パラメータ	M	12,390,000	
2	地震サブシステム(EPOS)	チャンネル管理パラメータ	M	1,675,264	
3	地震サブシステム(EPOS)	論理チャンネルパラメータ	M	77,004,800	
4	地震サブシステム(EPOS)	テレメータチャンネル	M	204,800	
5	地震サブシステム(EPOS)	フィルタパラメータ	M	8,896	
6	地震サブシステム(EPOS)	センサーパラメータ	M	12,100,000	
7	地震サブシステム(EPOS)	地震判定パラメータ	M	36,800	
8	地震サブシステム(EPOS)	地震判定グループ	M	374,900	
9	地震サブシステム(EPOS)	自動検測情報パラメータ	M	1,374	
10	地震サブシステム(EPOS)	自動処理情報パラメータ	M	605	
11	地震サブシステム(EPOS)	地震識別状況	T	41,000	
12	地震サブシステム(EPOS)	大地震管理	T	29,000	
13	地震サブシステム(EPOS)	トリガ回数カウントパラメータ	M	28,966,912	
14	地震サブシステム(EPOS)	トリガ状態監視パラメータ	M	8,500	
15	地震サブシステム(EPOS)	震度観測点パラメータ	M	3,550,000	
16	地震サブシステム(EPOS)	震央地名	M	137,000	
17	地震サブシステム(EPOS)	走時表	M	157,504	
18	地震サブシステム(EPOS)	LL走時表	M	33,344	
19	地震サブシステム(EPOS)	ナウキャストA処理結果	T	2,400,000	
20	地震サブシステム(EPOS)	最終震源	T	457,000	
21	地震サブシステム(EPOS)	震度データ	T	2,910,000	
22	津波サブシステム(EPOS)	検潮所情報テーブル	M	43,204	
23	津波サブシステム(EPOS)	外国検潮所テーブル	M	2,284	
24	津波サブシステム(EPOS)	満潮時刻テーブル	M	7,166,404	
25	津波サブシステム(EPOS)	予報区情報テーブル	M	30,244	
26	津波サブシステム(EPOS)	外電日本海予報区情報テーブル	M	8,964	
27	津波サブシステム(EPOS)	外電国内予報区情報テーブル	M	1,844	
28	津波サブシステム(EPOS)	津波予測地点(GPV)情報テーブル	M	184,004	
29	津波サブシステム(EPOS)	外電震央地名テーブル	M	40,004	
30	津波サブシステム(EPOS)	震源情報待避テーブル	M	15,608	
31	津波サブシステム(EPOS)	予報要素テーブル	M	1,562,912	
32	津波サブシステム(EPOS)	津波予測値・観測値情報テーブル	M	395,104	
33	震度サブシステム(EPOS)	震度計管理テーブル	M	768,000	
34	震度サブシステム(EPOS)	自治体震度計管理テーブル	M	1,728,000	
35	震度サブシステム(EPOS)	推計震度用観測点パラメータテーブル	M	854,400	
36	震度サブシステム(EPOS)	機関名管理テーブル	M	18,432	
37	震度サブシステム(EPOS)	DCP管理テーブル	M	216,000	

データ定義表(将来) エンティティ一覧	業務名	資料番号	版数	日付	作成者
	地震津波監視等業務		初版	2006/7/14	

項番	システム名	エンティティ名	種別	データの量	説明
38	震度サブシステム(EPOS)	DCP チャンネル番号周波数テーブル	M	19,200	
39	震度サブシステム(EPOS)	地域管理データテーブル	M	43,200	
40	震度サブシステム(EPOS)	地方管理データテーブル	M	6,600	
41	震度サブシステム(EPOS)	地震データテーブル	T	117	
42	震度サブシステム(EPOS)	震度速報データテーブル	T	572,040	
43	震度サブシステム(EPOS)	大地震データテーブル	T	26,429,360	
44	震度サブシステム(EPOS)	ショウサイシンドファイル	T	6,000	
45	震度サブシステム(EPOS)	GPVファイル	T	383,121	
46	震度サブシステム(EPOS)	増幅度ファイル	M	11,400,000	
47	地殻サブシステム(EPOS)	機関パラメータ	M	32,768	
48	地殻サブシステム(EPOS)	機関種別パラメータ	M	32,768	
49	地殻サブシステム(EPOS)	観測点パラメータ	M	1,024,000	
50	地殻サブシステム(EPOS)	サブジェクトパラメータ	M	32,768	
51	地殻サブシステム(EPOS)	SV情報パラメータ	M	256,000	
52	地殻サブシステム(EPOS)	センサーパラメータ	M	51,200	
53	地殻サブシステム(EPOS)	センサー種別パラメータ	M	51,200	
54	地殻サブシステム(EPOS)	感度履歴ファイル	M	1,048,576	
55	地殻サブシステム(EPOS)	オンラインチャンネルパラメータ	M	256,000	
56	地殻サブシステム(EPOS)	オフラインチャンネルパラメータ	M	16,777,216	
57	地殻サブシステム(EPOS)	回線監視チャンネルパラメータ	M	256,000	
58	地殻サブシステム(EPOS)	アメダスチャンネルパラメータ	M	512,000	
59	地殻サブシステム(EPOS)	理論潮汐チャンネルパラメータ	M	2,048,000	
60	地殻サブシステム(EPOS)	降水補正チャンネルパラメータ	M	5,888,000	
61	地殻サブシステム(EPOS)	合成歪パラメータ	M	256,000	
62	地殻サブシステム(EPOS)	オンラインファイルパラメータ	M	1,280	
63	地殻サブシステム(EPOS)	アメダス雨量	T	2006年6月時点 68M(メガ)	
64	地殻サブシステム(EPOS)	オンラインファイル	T	16M	
65	地殻サブシステム(EPOS)	オフラインファイル	T	2006年6月時点 68M (1レコード400バイト)	
66	地殻サブシステム(EPOS)	シフトログファイル	T	2006年6月時点 179M (1レコード400バイト)	
67	地殻サブシステム(EPOS)	オン・オフライン処理パラメータ	M	2006年6月時点 4M (1レコード32バイト)	
68	地殻サブシステム(EPOS)	グループ名定義(回線監視用)	M	32,768	
69	地殻サブシステム(EPOS)	各パラメータ件数情報	M	16	
70	地殻サブシステム(EPOS)	降水応答テーブル(分値)	M	1,952,000	
71	地殻サブシステム(EPOS)	降水応答テーブル(時間値)	M	1,952,000	

データ定義表(将来) エンティティ一覧	業務名	資料番号	版数	日付	作成者
	地震津波監視等業務		初版	2006/7/14	

項番	システム名	エンティティ名	種別	データの量	説明
72	地殻サブシステム(EPOS)	トレンド補正值	M	52,000	
73	地殻サブシステム(EPOS)	雨量補正時間	M	14,000	
74	地殻サブシステム(EPOS)	異常レベル値	M	128,000	
75	地殻サブシステム(EPOS)	同時異常	M	300,000	
76	地殻サブシステム(EPOS)	異常監視結果(分値)	M	60,000	
77	地殻サブシステム(EPOS)	異常監視結果(時間値)	M	60,000	
78	津波サブシステム(EPOS)	検潮所パラメータ	M	151,000	
79	津波サブシステム(EPOS)	津波検測結果	M	174,000	
80	地震サブシステム(RED C)	観測点パラメータ	M	7,580,000	
81	地震サブシステム(RED C)	センサーパラメータ	M	7,010,000	
82	地震サブシステム(RED C)	論理チャンネルパラメータ	M	48,035,000	
83	地震サブシステム(RED C)	物理チャンネルパラメータ	M	192,512	
84	地震サブシステム(RED C)	フィルターパラメータ	M	3,872	
85	地震サブシステム(RED C)	JMA2001走時表	M	157,504	
86	地震サブシステム(RED C)	LL2001走時表	M	33,344	
87	地震サブシステム(RED C)	射出角	M	267,540	
88	地震サブシステム(RED C)	会話検測値ファイル	T	2006年5月時点 2564M(×カ) + 17~30M/1月あたり	
89	地震サブシステム(RED C)	初動メカニズム検測値ファイル	T	2006年3月時点 105M(×カ) + 1~5M/1月あたり	
90	地震サブシステム(RED C)	CMTメカニズム検測値ファイル	T	2006年5月時点 2M(×カ) + 7~33k(×カ)/1月あたり	
91	地震サブシステム(RED C)	自動処理情報	M	112	
92	地震サブシステム(RED C)	自動検測パラメータ	M	80	
93	地震サブシステム(RED C)	地震識別パラメータ	M	3,081,300	
94	地震サブシステム(RED C)	地震収録パラメータ	M	130	
95	地震サブシステム(RED C)	トリガ回数パラメータ	M	229,376	
96	地震サブシステム(RED C)	トリガ状態監視パラメータ	M	6,600	
97	テレメータ	WIN波形データ	T	414(1チャンネル/1秒)	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	1
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名 №	観測点パラメータ 属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	観測点番号		char	4		
2	国際地点番号		char	5		
4	緯度 (度)		char	3		
5	緯度 (分)		char	5		
6	経度 (度)		char	4		
7	経度 (分)		char	5		
8	標高		char	5		
9	第○センサー番号		char	5		
10	第○センサー第1成分チャンネル番号		char	5		第○センサーの第1成分(通常はNS成分)の論理チャンネル番号。
11	第○センサー第2成分チャンネル番号		char	5		第○センサーの第1成分(通常はEW成分)の論理チャンネル番号。
12	第○センサー第3成分チャンネル番号		char	5		第○センサーの第1成分(通常はUD成分)の論理チャンネル番号。
13	管区番号		char	2		0:札幌、1:仙台、2:東京、3:大阪、4:福岡、5:沖縄、 10:札幌管内他機関、11:仙台管内他機関、12:東京管内他機関、13:大阪管内他機関、14:福岡管
14	所属機関名コード		char	6		英数
15	所属機関名		char	14		
16	観測点名漢字 (短縮版)		char	14		漢字
17	観測点名カタカナ		char	40		カナ
18	観測点名ローマ字		char	40		英字
19	気象庁観測点コード		char	6		英数
20	USGS観測点コード		char	6		英数
21	旧観測点番号		char	4		
22	新観測点番号		char	4		
23	観測開設年月日		char	8		YYYYMMDD

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	1
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	観測点パラメータ						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
24	観測終了年月日		char	8		YYYYMMDD	
25	P波観測優先チャンネル		unsigned short	4		0:無効、1:有効	
26	S波観測優先チャンネル		unsigned short	8			
27	有効フラグ		char	8			
28	予備6		char	8			
29	予備7		char	8			
30	予備8		char	8			
31	予備9		char	8			
32	予備10		char	8			
33	予備11		char	8			
34	予備12		char	8			
35	予備13		char	8			
36	予備14		char	8			
37	予備15		char	8			
38	コメント		char	100	1		
39	パラメータ変更日付		char	14	54		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	2
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	チャンネル管理パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	物理チャンネル番号		char	4	1	
2	論理チャンネル番号		char	5	1	
3	オフセット前回値		char	10	1	
4	LTA前回値		char	10	1	
5	STA前回値		char	10	1	
6	テレメータH・Mアドレス		char	4	1	
7	SVアドレス		char	4	1	
8	予備4		char	8	1	
9	予備5		char	8	1	
10	予備6		char	8	1	
11	予備7		char	8	1	
12	テレメータチャンネル番号		char	8	1	
13	予備8		char	8	1	
14	予備10		char	8	1	
15	予備11		char	8	1	
16	予備12		char	8	1	
17	予備13		char	8	1	
18	予備14		char	8	1	
19	予備15		char	8	1	
20	パラメータ変更日付		char	14	19	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	3
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	論理チャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		char	5	1	
2	物理チャンネル番号		char	4	1	
3	状態フラグ		char	1	1	
4	観測点番号		char	5	1	
5	センサー番号		char	5	1	
6	地震計記号		char	1	1	
7	収録サーバ番号		char	1	1	
8	サンプリング周期		char	3	1	
9	データ超		char	1	1	
10	センサタイプ		char	3	1	
11	成分		char	2	1	
12	観測値単位		char	2	1	
13	有効フラグ		char	4	1	
14	物理量観測係数(感度)		char	11	1	
15	振り切れ値		char	10	1	
16	最小変動量		char	10	1	
17	変化単位		char	8	1	
18	補正遅延量		char	4	1	
19	レベルHトリガ定数 (βH)		char	7	1	
20	レベルHバイアス値 (δH)		char	10	1	
21	レベルMトリガ定数 (βM)		char	7	1	
22	レベルMバイアス値 (δM)		char	10	1	
23	レベルLトリガ定数 (βL)		char	7	1	
24	レベルLバイアス値 (δL)		char	10	1	
25	トリガOFF定数 (βOFF)		char	7	1	
26	トリガOFFバイアス値 (δOFF)		char	10	1	
27	P波エラー幅上限値(AR)		char	5	1	
28	P波エラー幅上限値(レベル)		char	5	1	
29	P波時刻計算有効フラグ		char	1	1	
30	最大振幅・周期検測有効フラグ		char	1	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	3
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	論理チャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
31	トリガ処理有効フラグ		char	1	1	
32	SVアドレス		char	3	1	
33	SV種別		char	2	1	
34	旧論理チャンネル番号		char	5	1	
35	新論理チャンネル番号		char	5	1	
36	予備3		char	4	1	
37	設定時間(通算日)		char	8	1	
38	設定時間(通算秒)		char	6	1	
39	クローズ時間(通算日)		char	8	1	
40	クローズ時間(通算秒)		char	6	1	
41	パルスノイズ除去レベル		char	8	1	
42	パルスノイズ比較初期値		char	8	1	
43	強制トリガOFF時間		char	5	1	
44	lta定数		char	6	1	
45	sta定数		char	6	1	
46	無変動幅		Us int	11	1	
47	初期LTA		Float	14	1	
48	32ビット振り切れ値		char	8	1	
49	2次検測有効フラグ		char	2	1	
50	予備8		char	8	1	
51	予備9		char	1	1	
52	予備10		char	1	1	
53	予備11		char	1	1	
54	予備12		char	1	1	
56	予備13		char	1	1	
57	予備14		char	1	1	
59	予備15		char	1	1	
60	コメント		char	100	1	
61	パラメータ変更日付		char	14	56	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	4
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	テレメータチャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	テレメータチャンネル番号		char	6	1	
2	物理チャンネル番号		char	6	1	
3	フィルタ番号		char	6	1	
4	予備4		char	8	1	
5	予備5		char	3	8	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	4
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	フィルタパラメータテーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	レコード番号		char	4	1	
2	フィルタ種別		char	6	1	
3	透過周波数固定フィルタ種別		char	6	1	
4	通過周波数(LOW)		char	12	1	
5	通過周波数(HIGH)		char	12	1	
6	遮断周波数		char	12	1	
7	通過周波数帯域減衰量		char	12	1	
8	遮断周波数帯域減衰量		char	12	1	
9	予備1		char	12	1	
10	予備2		char	12	1	
11	予備3		char	12	1	
12	予備4		char	12	1	
13	パラメータ変更日付		char	14	11	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	6
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	センサーパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	センサー番号		char	5	1	
2	センサタイプ		char	3	1	
3	センサ名		char	20	1	
4	予備1		char	4	1	
5	地震計記号		char	1	1	
7	限界周波数 (High)		char	4	1	
8	限界周波数 (High) 指数部		char	3	1	
9	限界周波数 (Low)		char	4	1	
10	限界周波数 (Low) 指数部		char	3	1	
11	センサ固有周期		char	4	1	
12	センサ固有周期指数部	3成分繰り返し	char	3	1	
13	ダンピング定数		char	4	1	
14	ダンピング定数指数部		char	3	1	
15	センサ感度(電圧・物理量)		char	4	1	
16	センサ感度(電圧・物理量)指数部		char	3	1	
17	基本倍率(アンプゲイン)		char	4	1	
18	基本倍率(アンプゲイン)指数部		char	3	1	
19	センサ地上高		char	5	1	
20	観測点番号		char	4	1	
21	観測開始時間(通算日)		char	8	1	
22	観測終了時間(通算日)		char	8	1	
23	有効フラグ		char	4	1	
24	予備4		char	8	1	
25	予備5		char	8	1	
26	予備6		char	8	1	
27	予備7		char	8	1	
28	予備8		char	8	1	
29	予備9		char	8	1	
30	予備10		char	8	1	
31	予備11		char	8	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	6
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	センサーパラメータ					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
32	予備12		char	8	1	
33	予備13		char	8	1	
34	予備14		char	8	1	
35	予備15		char	8	1	
36	コメント		char	100	1	
37	パラメータ変更日付		char	14	59	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	7
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	地震判定処理パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	収録対象前駆時間		char	3	1	
2	収録対象後続時間		char	4	1	
3	遠地用収録対象前駆時間		char	3	1	
4	遠地用収録対象後続時間		char	4	1	
5	同一地震識別時間 (T _g)		char	3	1	
6	同一地震間隔時間 (T _{g2})		char	3	1	
7	同一地震取込時間		char	8	1	
8	予備5		char	8	1	
9	予備6		char	8	1	
10	予備7		char	8	1	
11	予備8		char	8	1	
12	予備9		char	8	1	
13	予備10		char	8	1	
14	予備11		char	8	1	
15	予備12		char	8	1	
16	予備13		char	8	1	
17	予備14		char	8	1	
18	予備15		char	8	1	
19	パラメータ変更日付		char	14	18	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	8
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	地震判定グループ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	レコード番号		char	3	1	
2	グループ番号		char	4	1	
3	有効フラグ		char	1	1	
4	グループ名称		char	14	1	
5	近地、遠地識別フラグ		char	1	1	
6	地震成立トリガ定数		char	4	1	
7	地震終了トリガ定数		char	4	1	
8	チャンネルON間隔		char	3	1	
9	トリガ判定チャンネル情報			8	100	
10	チャンネル番号		char	5	1	
11	チャンネルON係数		char	3	1	
12	収録対象チャンネル情報			5	1500	
13	チャンネル番号		char	5	1	
14	強制打切時間		char	5	1	
15	隣接グループ判定間隔		char	8	1	
16	隣接グループ		char	8		
17	予備6		char	8	1	
18	予備7		char	8	1	
19	予備8		char	8	1	
20	予備9		char	8	1	
21	予備10		char	8	1	
22	予備11		char	8	1	
23	予備12		char	8	1	
24	予備13		char	8	1	
25	予備14		char	8	1	
26	予備15		char	8	1	
27	パラメータ変更日付		char	14	23	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	9
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	自動検測情報パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	分散比法で成功とする最小の分散比		double	3	1	
2	初期サーチ区間区間長(秒)		short	3	1	
3	分散を計算する区間前駆(サンプル数)		short	3	1	
4	分散を計算する区間後続(サンプル数)		short	3	1	
5	ノイズモデル区間長(秒)		short	3	1	
6	信号モデル区間長(秒)		short	3	1	
7	サーチ区間区間長(秒)		short	3	1	
8	ノイズ側オフセット(サンプル数)		short	3	1	
9	信号側オフセット(サンプル数)		short	3	1	
10	A Rモデルの最大次数		short	3	1	
11	予備1		short	4	1	
12	予備2		short	4	1	
13	予備3		short	4	1	
14	予備4		int	8	1	
15	予備5		char	8	8	
16	パラメータ変更日付		char	14	90	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	10
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	自動処理情報パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	時刻矛盾監視時刻		char	3	1	
2	オフセット計算平滑係数 (α_0)		char	5	1	
3	S T A 計算平滑係数 (α_s)		char	5	1	
4	L T A 計算平滑係数 (α_l)		char	5	1	
5	強制トリガ O F F 定数 (α_{OFF})		char	7	1	
6	時刻矛盾遅延最大時間(秒)		char	3	1	
7	レベルクロス監視時間(秒)		char	3	1	
8	無変動監視秒(秒)		char	2	1	
9	常時振り切れ監視秒(秒)		char	2	1	
10	安定時間(秒)		char	4	1	
11	S V 異常判定秒(秒)		char	2	1	
12	波形収録遡り時間(秒)		char	4	1	
13	オンラインマスタ保存監視設定値 1		char	7	1	
14	オンラインマスタ保存監視設定値 2		char	7	1	
15	光ディスク種別		char	4	1	
16	震源計算パラメータ 1 (Na)		char	3	1	
17	震源計算パラメータ 2 (Nb)		char	3	1	
18	震源計算パラメータ 3 (Nmax)		char	3	1	
19	震源計算起動間隔		char	3	1	
20	予備 4		char	8	1	
21	予備 5		char	8	1	
22	予備 6		char	8	1	
23	予備 7		char	8	1	
24	予備 8		char	8	1	
25	予備 9		char	8	1	
26	予備 1 0		char	8	1	
27	予備 1 1		char	8	1	
28	予備 1 2		char	8	1	
29	予備 1 3		char	8	1	
30	予備 1 4		char	8	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	10
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	自動処理情報パラメータ					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
31	予備 1 5		char	8	1	
32	パラメータ変更日付		char	14	31	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	11
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	地震識別状況					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	ファースト地震判定時刻通算日		int	4	1	
2	ファースト地震判定時刻通算時		int	4	1	
3	大地震成立時刻通算日		int	4	1	大地震処理のキーとなる時刻トリガ成立した時刻や、計測時刻、ナウキャスト地震時刻等が入る。
4	大地震成立時刻通算秒		int	4	1	大地震処理のキーとなる時刻トリガ成立した時刻や、計測時刻、ナウキャスト地震時刻等が入る。
5	最速地震成立グループ		short	2	1	一番先に成立したグループ番号3桁
6	地震識別名称(文字列)		char	1	8	
7	地震識別キー(文字列)		char	1	15	YYMMDDHHMMSSGGG:年2桁、最速成立グループ3桁
8	地震終了フラグ		short	2	1	
9	地震番号(加算値)		short	2	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	12
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	大地震管理					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	大地震成立時刻通算日		int	4	1	大地震処理のキーとなる時刻トリガ成立した時刻や、計測時刻、ナウキャスト地震時刻等が入る。
2	大地震成立時刻通算秒		int	4	1	大地震処理のキーとなる時刻トリガ成立した時刻や、計測時刻、ナウキャスト地震時刻等が入る。
3	最速地震成立グループ		short	2	1	一番先に成立したグループ番号3桁
4	地震識別名称(文字列)		char	1	8	AA,ABなどの呼称
5	地震識別キー(文字列)		char	1	1	YYMMDDHHMMSSGGG:年2桁、最速成立グループ3桁
6	訓練フラグ		short	2	1	0:本番 1:訓練
7	処理状況(自動)		int	4	2	一次自動処理、二次自動処理0:処理継続 1:終了

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	13
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	トリガ回数カウントパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	レコード番号		char	4	1	
2	監視対象論理チャンネル番号		char	5	1	
3	監視対象間隔		char	4	1	
4	アラームレベル(しきい値)		char	3	1	
5	アラーム表示フラグ		char	1	1	
6	有効フラグ		char	1	1	
7	予備4		char	8	1	
8	予備5		char	8	1	
9	予備6		char	8	1	
10	予備7		char	8	1	
11	予備8		char	8	1	
12	予備3		short	4	1	
13	予備4		int	8	1	
14	予備5		char	8	8	
15	予備9		char	8	1	
16	予備1 0		char	8	1	
17	予備1 1		char	8	1	
18	予備1 2		char	8	1	
19	予備1 3		char	8	1	
20	予備1 4		char	8	1	
21	予備1 5		char	8	1	
22	パラメータ変更日付		char	14	18	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	14
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	トリガ状態監視パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	監視対象地震グループ番号		short	2	1	
2	監視対象間隔		short	2	1	
3	アラームレベル(しきい値)		short	2	1	
4	監視対象名		char	1	24	
5	アラーム表示フラグ		char	1	1	
6	有効フラグ		short	2	1	
7	予備1		char	1	8	
8	予備2		char	1	8	
9	予備3		int	4	1	
10	予備4		itn	4	1	
11	予備5		short	2	1	
12	予備6		short	2	1	
13	予備7		short	2	1	
14	予備8		short	2	1	
15	予備9		float	4	1	
16	予備10		float	4	1	
17	予備11		float	4	1	
18	予備12		double	8	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	15
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震度観測点パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	観測点NO	PK	char	8	1	左詰で格納され、余白はスペースでパディング。
2	府県NO		char	2	1	左詰で格納される。余白はあり得ない。
3	地域NO		char	3	1	レコード種別が、「地域」「市町村」「地点」の場合有効な値が存在する。それ以外は、スペースでパディング。
4	市町村NO		char	5	1	レコード種別が、「市町村」「地点」の場合有効な値が存在する。それ以外は、スペースでパディング。
5	地点NO		char	7	1	レコード種別が、「地点」の場合有効な値が存在する。それ以外は、スペースでパディング。
6	大ブロックNO		char	3	1	左詰で格納され、余白はスペースでパディング。
7	オプション		char	1	1	
8	国際地点番号		char	8	1	
9	計測震度計番号		char	7	1	
10	地点緯度		char	6	1	上二桁が度。残り四桁が分で60進数。
11	地点経度		char	7	1	上三桁が度。残り四桁が分で60進数。
12	表示用地点緯度		char	6	1	震度分布図上に表示する際の緯度。上二桁が度。残り四桁が分で60進数。
13	表示用地点経度		char	7	1	震度分布図上に表示する際の経度。上三桁が度。残り四桁が分で60進数。
14	東京管区隣接フラグ		char	1	1	'1': 隣接、'0': 隣接ではない。
15	震度パラメータ		char	1	1	
16	名称略称		char	10	1	観測点の略式名称。左詰で格納され、余白はスペースコードでパディング。

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	15
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震度観測点パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
17	名称		char	40	1	観測点の名称。左詰で格納され、余白はスペースコードでパディング。
18	英字名称		char	40	1	観測点の英字名称。左詰で格納され、余白はスペースコードでパディング。
19	カナ名称		char	50	1	観測点のカナ名称。左詰で格納され、余白はスペースコードでパディング。
20	宛名		char	40	1	左詰で格納され、余白スペースコードでパディング。
21	管区番号		char	2	1	"01": 札幌管区、"02": 仙台管区、"03": 東京管区、"04": 大阪管区、"05": 福岡管区、"06": 沖縄気象台
22	実装フラグ		char	1	1	'1': 実装、'0': 未実装。
23	従属先		char	1	1	'3': 地方公共団体の観測点。'3'以外: 気象庁の観測点。
24	有効震度		char	1	1	
25	発表フラグ		char	1	1	「発表フラグ」などの府健単位で情報を発表する際に、この府県を含めるか否か。'1': 含める。'0': 含めない。
26	欠測判定有効フラグ		char	1	1	震度情報処理の震度未入電地点欠測判定により欠測と決定された場合、その決定を有効とするか無効とするかのフラグ。'1': 有効とする。'0': 無効とする。
27	トリガグループNO		char	3	1	右詰で格納され、余白は空白コードでパディングされる。
28	地図縮尺		char	8	1	この地域を地図表示する際のデフォルト縮尺を指定する。（主に震度分布処理で使用）1～99999999の数値文字列が右詰で格納され、リーディング0がある。
29	地図回転		char	3	1	この地域を地図表示する際のデフォルト回転角度を指定する。（主に震度分布処理で仕様）0～359の数値文字列が右詰で格納され、リーディング0がある。
30	ARV0: - 4.0		float	3	1	
31	ARV1: 4.0-4.1		float	3	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	15
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震度観測点パラメータ						
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
32	ARV2: 4.1-4.2		float	3	1		
33	ARV3: 4.2-4.3		float	3	1		
34	ARV4: 4.3-4.4		float	3	1		
35	ARV5: 4.4-4.5		float	3	1		
36	ARV6: 4.5-4.6		float	3	1		
37	ARV7: 4.6-4.7		float	3	1		
38	ARV8: 4.7-4.8		float	3	1		
39	ARV9: 4.8-4.9		float	3	1		
40	ARV10: 4.9-		float	3	1		
41	強震波形／第1成分		int	2	1		
42	強震波形／サンプリング周波数1		int	2	1		
43	強震波形／第1成分の論理チャンネル番号		int	2	1		
44	強震波形／第2成分		int	2	1		
45	強震波形／サンプリング周波数2		int	2	1		
46	強震波形／第2成分の論理チャンネル番号		int	2	1		
47	強震波形／第3成分		int	2	1		
48	強震波形／サンプリング周波数3		int	2	1		
49	強震波形／第3成分の論理チャンネル番号		int	2	1		
50	ナウキャスト用都道府県No		char	3	1		
51	予備		char	27	1	常に空白コードがセットされる。	
52	改行コード		char	1	1		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	16
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震央地名					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	震央地名番号		char	1	3	
2	震央地名漢字		char	1	24	
3	震央地名カナ		char	1	40	
4	震央地名英字		char	1	40	
5	範囲1 緯度 (度)		char	1	3	
6	範囲1 緯度 (分)		char	1	4	
7	範囲1 経度 (度)		char	1	4	
8	範囲1 経度 (分)		char	1	4	
9	範囲2 緯度 (度)		char	1	3	
10	範囲2 緯度 (分)		char	1	4	
11	範囲2 経度 (度)		char	1	4	
12	範囲2 経度 (分)		char	1	4	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	17
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	走時表					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	走時データ		float	4	12	
2	走時名		char	1	8	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	18
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	LL走時表					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	走時データ		float	4	12	
2	走時名		char	1	8	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数 初版	日付	作成者	19
	地震津波監視業務						

エンティティ名	ナウキャストA処理結果					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	識別符号		unsigned char	1	1	0xee固定
2	識別符号		unsigned char	1	1	0xda固定
3	テストフラグ／データ種別		unsigned char	1	1	
4	フォーマットのバージョン		unsigned char	1	1	
5	送信一連番号		unsigned short int	2	1	
6	機器番号		unsigned char	1	1	
7	情報区分等		unsigned char	1	1	
8	観測点番号		int	4	1	
9	検測時刻 ／ 判定時刻 ／ 送信時刻			8	1	P波初動を検測した時刻 西暦(4桁)年月日時分秒と1/100秒。BCDで格納。 レベル検出型データの場合は、所定のレベルを超えた時刻を格納する。 生存／欠測データの場合はその判別時の時刻を表す。 保守情報のみの場合はその判別時の時刻または送信時刻を表す。
10	震央距離		short int	2	1	観測点から震央までの距離(地表面) ただし、処理区分がレベル検出型の場合は未定義 単位:km
11	震源方位		short int	2	1	観測点から見た震央の方位(水平成分) 北を0度として時計回りに360度。ただし、処理区分がレベル検出型の場合は未定義
12	入射角		unsigned char	1	1	観測点に到達した波形の入射角(垂直成分)。垂直下向きを0度とする。単位:度
13	マグニチュード		unsigned char	1	1	UD成分の最大振幅で計算したマグニチュード。10倍値で格納
14	係数A		short int	2	1	B-Δ法の係数Aの値, 100倍値で格納

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	19
	地震津波監視業務			初版			

エンティティ名	ナウキャストA処理結果					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
15	最大変位		unsigned short int	2	1	9の検測時刻後～送信データ作成時までの最大変位 (3成分合成) 単位:100 μm
16	最大変位時刻		unsigned short int	2	1	15の最大振幅を検出した時刻 (9の検測時刻からの経過時間) 単位:0.01秒
17	最大加速度		short int	2	1	加速度を100mgal単位で格納する。 PレベルまたはSレベルのスレッシュホルドを超えた場合に、最大値を送信する。 波形処理結果として情報を送信する際には、それまでの最大値を設定する。 処理区分がレベル検出型の場合、センサー種別がPレベルでは垂直成分、Sレベルでは水平2成分合成の最大値とする。処理区分が波形処理の場合は3成分合成の最大値とする。 単位:100mgal
18	震度		unsigned char	1	1	計測震度処理で一定時間毎に計算される震度の値を10倍値で格納
19	震度の区間		unsigned char	1	1	18の震度を送信した回数。最初を1とする。
20	最大速度		unsigned short int	2	1	9の検測時刻後～送信データ作成時までの最大速度 (UD成分) 単位:mkine
21	最大速度時刻		unsigned short int	2	1	15の最大振幅を検出した時刻 (9の検測時刻からの経過時間) 単位:0.01秒

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	20
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	最終震源					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	大地震成立時刻通算日	4	int	4	1	
2	大地震成立時刻通算秒	4	int	4	1	
3	最速地震成立グループ	2	short	2	1	
4	地震識別名称	8	char	1	8	
5	地震識別キー	15	char	1	15	
6	訓練フラグ	2	short	2	1	
7	地震レベル	2	short	2	1	地方、全国
8	処理管区	2	short	2	1	
9	近地遠地フラグ	2	short	2	1	
10	採用Mg種別(Mjma,Mp,Mf,手入力)	2	short	2	1	
11	採用種別(会話、自動、手動)	2	short	2	1	
12	マグニチュード	2	short	2	1	
13	予備	2	short	2	1	
14	処理別震源情報	0	int		4	0:最終 1:自動(一次) 2:自動(二次) 3:会話
15	オリジンタイム通算日	4	int	4	1	
16	オリジンタイム通算秒	4	int	4	1	
17	発現時刻通算日	4	int	4	1	
18	発現時刻通算秒	4	int	4	1	
19	単位	2	short	2	1	
20	震央緯度	4	float	4	1	
21	緯度標準誤差	4	float	4	1	
22	震央経度	4	float	4	1	
23	経度標準誤差	4	float	4	1	
24	深さ単位	2	short	2	1	
25	深さ	4	int	4	1	
26	深さ標準誤差	4	int	4	1	
27	Mg種別(Mjma,Mp,Mf,手入力)	2	short	2	1	
28	種別(会話、自動、手動)	2	short	2	1	
29	マグニチュード	2	short	2	1	
30	予備	2	short	2	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	20
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	最終震源						
Nº	属性名		PK/FK	型	データ量	配列	説明
31	使用走時表		2	short	2	1	
32	震央地域番号		4	int	4	1	
33	震央地名番号		4	int	4	1	
34	震央地名(漢字)		48	char	1	48	
35	震央地名(かな)		48	char	1	48	
36	震央地名(英字)		48	char	1	48	
37	観測点数		2	short	2	1	
38	震源評価		2	short	2	1	
39	震源補助情報		2	short	2	1	
40	最大震度		2	short	2	1	
41	被害規模		2	short	2	1	
42	津波有無フラグ		2	short	2	1	
43	津波規模		2	short	2	1	
44	表示レベル		2	short	2	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	21
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震度データ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	地域NO		char	3	1	右詰で格納されリーディング0がある。
2	計測震度計番号		char	7	1	左詰で格納され、7桁に満たない場合 '/' でパディング。
3	電文識別		char	1	1	'T':訂正報'S':再送報'C':取消報'K':通常。
4	手入力フラグ		char	1	1	'1':手入力データ(震度情報処理による)।'0':手入力以外。
5	電文種類		char	1	1	'0':手入力データ(震度情報処理による)।'1':ケイソク報。 '2':ケイソクヘンシュウ。 '3':ジチケイヘンシュウ。 '4':エイセイケイソク。 '5':シンドソクホウ。 '6':カンクサイズモ。 '7':カンクチテンシンド。
6	欠測フラグ		char	1	1	'1':欠測地点'0':実測値。
7	震度階級値		char	2	1	計測震度値を元にした階級値。0.0～0.4:0、0.5～1.4:1、1.5～2.4:2、2.5～3.4:3、3.5～4.4:4、4.5～4.9:5-、5.0～5.4:5+、5.5～5.9:6-、6.0～6.4:6+、6.5～:7 (計測震度:震度階級値)。
8	計測震度		char	2	1	計測震度X.X から、小数点を除きXX で記述。
9	観測時刻		char	15	1	YYYYMMDDhhmmss の形式で記述する。全ての項目にリーディング0有り。
10	発表時刻		char	14	1	YYYYMMDDhhmmss の形式で記述する。全ての項目にリーディング0有り。
11	書込時刻		char	8	1	DDhhmmss の形式で記述する。全ての項目にリーディング0有り。
12	発表管区NO		char	2	1	"01":札幌管区、"02":仙台管区、"03":東京管区、"04":大阪管区、"05":福岡管区、"06":沖縄気象台。
13	発表管区名		char	20	1	左詰で格納され、20 桁に満たない場合は、 '/' でパディング
14	品質管理ステータス		char	1	1	'Y':ネットワーク異常と判断された観測点のデータ。 'Z':一旦ネットワーク異常と判断したものの、以降のケイソク報から正常と判断した観測点のデータ。 'W':エイセイケイソクのみが入電している観測点。

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	21
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震度データ					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
						'U': 最大加速度値、周期などが無く、品質管理処理が行えない地方公共団体の震度データ。 'F': 送信時に異常と判断されたデータで、通常は品質管理処理で潰す。 'N': 正常なケイソク報か、ケイソク報以外の電文。
15	処理モード		char	1	1	'0': 本番 '1': 訓練。
16	震央緯度		char	4	1	震央緯度XXX.X から小数点を取り除きXXXX で記述。先頭1バイトが、'0': 北緯 '1': 南緯を表す。また、小数部は10進表記。
17	震央経度		cahr	5	1	震央経度XXXX.X から、小数点を取り除きXXXXX で記述。先頭1バイトが、'0': 東経 '1': 西経。また、小数部は10進表記。
18	3成分合成最大加速度		char	5	1	
19	3成分合成震度		char	3	1	
20	10秒毎計測震度1		char	3	1	
21	10秒毎計測震度2		char	3	1	
22	10秒毎計測震度3		char	3	1	
23	10秒毎計測震度4		char	3	1	
24	10秒毎計測震度5		char	3	1	
25	NS成分震度		char	3	1	
26	EW成分震度		char	3	1	
27	UD成分震度		char	3	1	
28	3成分合成最大加速度		char	5	1	
29	3成分合成観測分秒		char	5	1	
30	3成分合成継続時間1		char	3	1	
31	3成分合成継続時間2		char	3	1	
32	3成分合成継続時間3		char	3	1	
33	3成分合成継続時間4		char	3	1	
34	3成分合成継続時間5		char	3	1	
35	NS成分最大加速度		char	5	1	
36	NS成分周期		char	3	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	21
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震度データ						
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
37	NS成分観測分秒		char	5	1		
38	NS成分卓越周期		char	3	1		
39	NS成分継続時間1		char	3	1		
40	NS成分継続時間2		char	3	1		
41	NS成分継続時間3		char	3	1		
42	NS成分継続時間4		char	3	1		
43	NS成分継続時間5		char	3	1		
44	EW成分最大加速度		char	5	1		
45	EW成分周期		char	3	1		
46	EW成分観測分秒		char	5	1		
47	EW成分卓越周期		char	3	1		
48	EW成分継続時間1		char	3	1		
49	EW成分継続時間2		char	3	1		
50	EW成分継続時間3		char	3	1		
51	EW成分継続時間4		char	3	1		
52	EW成分継続時間5		char	3	1		
53	UD成分最大加速度		char	5	1		
54	UD成分周期		char	3	1		
55	UD成分観測分秒		char	5	1		
56	UD成分卓越周期		char	3	1		
57	UD成分継続時間1		char	3	1		
58	UD成分継続時間2		char	3	1		
59	UD成分継続時間3		char	3	1		
60	UD成分継続時間4		char	3	1		
61	UD成分継続時間5		char	3	1		
62	震源緯度(単位度1/10)		char	4	1		
63	震源経度(単位度1/10)		char	5	1		
64	観測年月		char	4	1		
65	試験フラグ		char	1	1		
66	発表日付(年月)		char	4	1		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	21
	地震津波監視業務	地震サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震度データ						
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
67	発表日付(日)		char	2	1		
68	発表日付(時)		char	2	1		
69	発表日付(分)		char	2	1		
70	発表日付(秒)		char	3	1		
71	品質管理種別		char	1	1	X … X ケイソクY … Y ケイソク W … W ケイソク U … U ケイソク V … V ケイソク F … F ケイソク Z … Z ケイソク N … 上記以外 (IK ケイソク)	
72	官署コード		char	2	1		
73	ファイルライト日付(日)		char	2	1	ファイルライト日付(日)	
74	ファイルライト日付(時)		char	2	1	ファイルライト日付(時)	
75	ファイルライト日付(分)		char	2	1	ファイルライト日付(分)	
76	ファイルライト日付(秒)		char	3	1	ファイルライト日付(秒)	
77	予備		char	14	1	常に、スペースコード。	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	22
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	検潮所情報テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	検潮所番号		int			
2	検潮所コード		char			
3	ETOS内番号		int			
4	緯度(???度)		float			
5	経度(???度)		float			
6	津波到達予想時刻発表地点フラグ		int			
7	津波観測値発表地点フラグ		int			
8	対応GP番号(3桁)		int			
9	所属予報区番号		int			
10	検潮所名称(漢字)		char			
11	検潮所名称(半角カナ)		char			
12	予備		int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	23
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	外国検潮所テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	外国検潮所番号		int			
2	緯度(???度)		float			
3	経度(???度)		float			
4	外国検潮所名称		float			
5	予備		char			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	24
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	満潮時刻テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
2	検潮所番号		int			
3	検潮所コード		char			
4	満潮時刻(年)		int			
5	満潮時刻(月)		int			
6	満潮時刻(日)		int			
7	データセットフラグ		int			0:無し,1:有り
8	満潮時刻(時)		int			
9	満潮時刻(分)		int			
10	潮位(単位:センチメートル)		int			
11	データセットフラグ		int			0:無し,1:有り
12	満潮時刻(時)		int			
13	満潮時刻(分)		int			
14	潮位(単位:センチメートル)		int			
15	データセットフラグ		int			0:無し,1:有り
16	満潮時刻(時)		int			
17	満潮時刻(分)		int			
18	潮位(単位:センチメートル)		int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	25
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	予報区情報テーブル					
No	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	コード番号		int			
2	予報区種別		int			1:予報区、2:予報区結合、3:予報区領域
3	所属管区No		int			
4	予報区結合コード		int			所属予報区結合無しの場合 0
5	所属予報区領域番号		int			
6	外電(WEPA40)用所属予報区No		int			
7	予報区名称(漢字)		char			
8	予報区名称(カナ)		char			
9	予報区名称(英字)		char			
10	予備		int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	26
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	外電日本海予報区情報テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	予報区種別		int			0:所属GP、1:所属予報区、2:予報区名
2	所属GP番号(3桁)		int			
3	所属予報区番号		int			
4	予報区名番号		int			
5	予報区名称(英字)		char			
6	予備		int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	27
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	外電国内予報区情報テーブル					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	コード番号		int			
2	予報区種別(1/2 小区分予報区/大区分予報区)		int			
3	所属予報区大区分領域番号		int			
4	予報区名称(英字)		char			
5	予備		int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	28
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	津波予測地点(GPV)情報テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	GPVデータ数		int			
2	GP番号		int			
3	所属予報区番号		int			
4	緯度		float			
5	経度		float			
6	GP名称		char			
7	GP名称(電文用)		char			
8	予備		int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	29
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	外電震央地名テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	震央地コード		int			
2	震央地名		char			
3	日本海種別(0/1 日本海震央地以外/日本海震		int			
4	緯度下限(0.0:制限無し)		float			
5	緯度上限(999.0:制限無し)		float			
6	経度下限(0.0:制限無し)		float			
7	経度上限(999.0:制限無し)		float			
8	震央地名(外電用英字)		char			
9	予備		int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	30
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震源情報待避テーブル						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
1	地震時刻(発現時)		int			yyyy/mm/dd/hh/mm/ss/s	
2	OT 時 (発震時)		int			yyyy/mm/dd/hh/mm/ss/s	
3	北緯／南緯		short			0:北緯 1:南緯	
4	東経／西経		short			0:東経 1:西経	
5	緯度		int			1/100度単位	
6	経度		int			1/100度単位	
7	深さ		int			1Km 単位	
8	マグニチュード		int			1/10単位	
9	シグメン種別		int			1:ツクジシグメン、2:シグメン、3:エチシグメン)	
10	MW		int				
11	MS		int				
12	MN		int				
13	MJ		int				
9	予備		int				
10	震央地番号		char				
11	震央地名(半角カナ)		char				

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	31
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	予報要素テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	処理フラグ		int			
2	遠地ロックNo.		int			0:無し、1:7 ロックNo
3	地震時刻(発現時)		int			yyyy/mm/dd/hh/mm/ss/s(1/10秒)
4	OT時(発震時)		int			yyyy/mm/dd/hh/mm/ss/s(1/10秒)
5	発表[アナウンス]時刻		int			dd/hh/mm 日/時/分
6	北緯/南緯(0/1)		char			
7	東経/西経(0/1)		char			
8	予備		char			
9	緯度(1/100度単位)		int			
10	経度(1/100度単位)		int			
11	深さ(1Km単位)		int			
12	マグニチュード(1/10単位)		int			
13	識別符号(MJ/MP/MF/MK:Jma/Mp/Mf/M神定)		char			
14	予備		int			
15	震央地名(半角カナ)		char			
16	運用モードフラグ		char			H:通常、P:訓練、T:試験
17	震源位置フラグ		char			
18	GPデータ数		int			
19	予報区データ数		int			
20	検潮所データ数		int			
21	GP番号		int			
22	津波到達予想時刻(相対秒)		int			} GPデータ数
23	津波到達予想時刻(yyyy/mm/dd/hh/mm/ss)		int			
24	津波の高さ予想値		int			
25	最大波到着時刻(相対秒)		int			
26	最大波到着時刻(yyyy/mm/dd/hh/mm/ss)		int			
27	1時間毎の津波平均高さ		int			
28	震源位置フラグ		char			
29	予備		char			
30	予備		int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	31
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	予報要素テーブル						
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
31	予報区番号		int			予報区データ数分	
32	津波到達予想時刻(yyyy/mm/dd/hh/mm/ss)		int				
33	津波の高さの予測値		int				
34	最大波到着時刻(yyyy/mm/dd/hh/mm/ss)		int				
35	予報グレード		int				
36	減衰フラグ(A1～A4,U1～U3)		char				
37	予備		int			検潮所データ数分	
38	検潮所番号		int				
39	津波到達予想時刻(yyyy/mm/dd/hh/mm/ss)		int				
40	満潮時刻(yyyy/mm/dd/hh/mm/ss)		int				

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	32
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	津波予測値・観測値情報テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	観測時刻(YYYY/MM/DD/hh/mm/ss 年/月/日/時/分/秒)		int			
2	受信状態(通常、ガイダンス)		int			0:通常、1:ガイダンス
3	遠地ブロックNo.		int			0:無し、1:ブロックNo
4	発信官署		int			1:札幌、2:仙台、3:東京、4:大阪、5:福岡、6:沖縄
5	地震時刻(発現時)		int			yyyy/mm/dd/hh/mm/ss/s(1/10秒)
6	OT時(発震時)		int			yyyy/mm/dd/hh/mm/ss/s(1/10秒)
7	発表[アナウンス]時刻		int			dd/hh/mm 日/時/分
8	北緯／南緯(0/1)		char			
9	東経／西経(0/1)		char			
10	予備		char			
11	緯度(1/100度単位)		int			
12	経度(1/100度単位)		int			
13	深さ(1Km単位)		int			
14	マグニチュード(1/10単位)		int			
15	識別符号(MJ/MP/MF/MK:Jma/Mp/Mf/M神定)		char			
16	予備		int			
17	震央地名(半角カナ)		char			
18	運用モードフラグ		char			H:通常、P:訓練、T:試験
19	震源位置フラグ		char			
20	GPの津波に関する情報		R_WAVE_DATA_GPV			
21	地点の津波に関する情報		R_WAVE_DATA_TITEN			
22	予報区の津波に関する情報		R_WAVE_DATA_YOHOK			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	33
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	気象庁震度計管理テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	管区番号		int			
2	地点番号 (5桁)		int			
3	地点コード (4桁)		short			
4	地域コード (3桁)		short			
5	名称 (漢字)		char			
6	名称 (カナ)		char			
7	緯度		float			
8	経度		float			
9	インターフェイス区分		int			1:MLC1、2:MLC2、3:DDX-P 4:L/A 、5:MLC3、6: 受信装置
10	回線種別		char			
11	回線NO		char			
12	電話番号		char			
13	気象官署フラグ		short			
14	発表名称 (カナ)		char			
15	回線種別		int			
16	通信遅延時間 (秒)		int			
17	震度計バージョン		int			1:新震度計、0:以外
18	衛星回線		int			0:無し、1 :有り
19	MLC回線NO(新MLC)		char			
20	GPiBアドレス		char			
21	グループNO		short			
22	設置環境フラグ		short			
23	観測点コード(7桁)		int			
24	発表名称 (漢字)		char			
25	有効震度 (下限)		int			
26	有効震度 (上限)		int			
27	予備		short			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	34
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	自治体震度計管理テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	管区番号		int			
2	地点番号 (5桁)		int			
3	地点コード (5桁)		short			
4	地域コード (3桁)		short			
5	地点名 (漢字)		char			
6	発信局名 (カナ)		char			
7	緯度		float			
8	経度		float			
9	気象官署フラグ		short			
10	発表名称 (カナ)		char			
11	データ種別		int			0:自治体、2:防災科学技術研究所
12	設置環境フラグ		short			
13	観測点コード (7桁)		int			
14	試験フラグ		char			
15	有効震度 (下限)		int			
16	有効震度 (上限)		int			
17	最終変更日時 (相対秒)		unsigned int			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	頁
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			35

エンティティ名	推計震度用観測点パラメータテーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	震度計番号 (5桁)	PK	int	5	1	
2	観測点名称		char	32	1	
3	地域名称		char	32	1	
4	発信局名		char	32	1	
5	グループ番号		int	3	1	
6	予備		char	1	1	
7	観測点コード (7桁)		int	7	1	
8	緯度		int	7	1	
9	経度		int	8	1	
10	メッシュコード		int	8	1	
11	観測開始日時		int	16	1	
12	観測終了日時		int	16	1	
13	活用フラグ		char	1	1	
14	予備		char	10	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	36
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	機関名管理テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	管区番号		int			
2	機関番号		int			
3	機関名称 (漢字)		char			
4	機関名称 (カナ)		char			
5	宛先 (カナ)		char			
6	地域番号		int			
7	気象庁地域番号下限		int			
8	気象庁地域番号上限		int			
9	有効/無効フラグ		int			
10	試験中フラグ		int			
11	未処理機関設定フラグ		int			
12	予備		char			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	37
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	DCP管理テーブル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	地点番号		int			
2	観測点名		char			
3	チャンネル番号		short			
4	タイムスロット		short			
5	無線局名		char			
6	電波形式		char			
7	地方種別		short			1: 東北日本、2: 中部日本、3: 南西日本
8	予備		char			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	38
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名 №	DCP チャンネル番号周波数テーブル 属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	チャンネル番号		short			104 402.3116 105 402.3146 112 402.3356 113 402.3386 116 402.3476 117 402.3506 118 402.3536 119 402.3566 120 402.3596 121 402.3626
2	予備		short			
3	周波数		float			
4	予備		char			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	39
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	地域管理データテーブル					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	地域コード		int			
2	地域名（カナ）		char			
3	地域名（漢字）		char			
4	地方番号		int			
5	緯度		float			
6	経度		float			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	40
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	地方管理データテーブル					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	地方番号		int			
2	地方名（カナ）		char			
3	地方名（漢字）		char			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	方位管理データテーブル					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	方位番号		int			
2	方位名（漢字）		char			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	41
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	地震データテーブル						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
1	データ種別		int			0:通常、1:L/A 緊急、2:L/A 個別、3:クソレ	
2	大地震番号 (ETOS 側)		int				
3	大地震番号 (WS 側)		short				
4	大地震番号 (枝番)		short				
5	大地震時刻		int				
6	震央地名		char				
7	震央地番号		int				
8	経度 東西フラグ		int			0:東、1:西	
9	経度 1/10 度単位		int				
10	緯度 南北フラグ		int			0:南、1:北	
11	緯度 1/10 度単位		int				
12	深さ 1Km 単位		int				
13	マグニチュード0.1 単位		int				
14	地域テーブル数		int				
15	震度連絡報発信フラグ		int				
16	経度 1/100 度単位		int				
17	緯度 1/100 度単位		int				
18	電文種別 & レベル		int			0:エボス/イトスシンゲン3、1:シンゲンソラク、2:シンゲン	
19	予備		int				
20	ファイルバージョン		int				

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	42
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	震度速報データテーブル						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
1	地域データ数		int				
2	削除フラグ		int			0: 有効,1: 削除	
3	地域コード		int				
4	階級震度		short				
5	階級震度フラグ		short			0: -,1: +	
6	震度		int				地域データ数分繰り返し
7	最大加速度		int				
8	最大震度地点テーブル先頭P		int				
9	最大震度地点テーブル数		int				
10	予備		char				
11	最大震度地点データ数		int				
12	削除フラグ		int			0: 有効,1: 削除	
13	受信時刻		short				
14	P時刻		short				
15	発信局名		char				
16	地域・地点番号 (5桁)		int				
17	階級震度		short				
18	階級震度フラグ		short			0: -,1: +	
19	最大震度		int				最大震度地点データ 数分繰り返し
20	最大加速度		int				
21	震度 (1/100単位)		short				
22	地点テーブル数		int				
23	Y報フラグ		char			0: 正常 1:ネットワーク 異常	
24	Y報削除フラグ		char				
25	有感半径域外削除フラグ		char				
26	予備		char				

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	43
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	大地震データテーブル						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
1	データ種別		int			0:通常、1:L/A 緊急、2:L/A 個別、3:クレン	
2	大地震番号 (ETOS 側)		int				
3	大地震番号 (WS 側)		short				
4	大地震番号 (枝番)		short				
5	大地震時刻		int				
6	震央地名		char				
7	震央地番号		int				
8	経度 東西フラグ		int			0:東、1:西	
9	経度 1/10 度単位		int				
10	緯度 南北フラグ		int			0:南、1:北	
11	緯度 1/10 度単位		int				
12	深さ 1Km 単位		int				
13	マグニチュード0.1 単位		int				
14	地域テーブル数		int				
15	震度連絡報発信フラグ		int				
16	経度 1/100 度単位		int				
17	緯度 1/100 度単位		int				
18	電文種別 & レベル		int			0:エボス/イトスシンゲン3、1:シンゲンソラク、2:シンゲン	
19	予備		int				
20	ファイルバージョン		int				
21	備考		char				
22	地域データ数		int				
23	削除フラグ		int			0:有効、1:削除	
24	地域コード		int				
25	階級震度		short				
26	階級震度フラグ		short			0: -, 1: +	
27	震度		int				地域データ数分繰り返し
28	最大加速度		int				
29	最大震度地点テーブル先頭P		int				
30	最大震度地点テーブル数		int				

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	43
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	大地震データテーブル						
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
31	予備		char				
32	最大震度地点データ数		int				
33	削除フラグ		int			0: 有効, 1: 削除	
34	受信時刻		short				
35	P時刻		short				
36	発信局名		char				
37	地域・地点番号 (5桁)		int				
38	階級震度		short				
39	階級震度フラグ		short			0: -, 1: +	
40	最大震度		int				最大震度地点データ 数分繰り返し
41	最大加速度		int				
42	震度 (1/100単位)		short				
43	地点テーブル数		int				
44	Y報フラグ		char			0: 正常	
45	Y報削除フラグ		char				
46	有感半径域外削除フラグ		char				
47	予備		char				
48	地点データ数		int				
49	削除フラグ		int			0: 有効, 1: 削除	
50	地域・地点番号 (5桁)		int				地点データ数分繰 り返し
51	受信時刻		short				
52	P時刻		short				
53	Y報フラグ		char			0: 正常, 1: ネットワーク 異常	
54	予備		char				
55	不適データ数		int				
56	削除フラグ		int			0: 有効, 1: 削除	
57	地域・地点番号 (5桁)		int				不適データ数分繰 り返し
58	受信時刻		short				
59	P時刻		short				
60	Y報フラグ		char			0: 正常, 1: ネットワーク 異常	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	43
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	大地震データテーブル					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
61	予備		char			)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	44
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	ショウサイシンドファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	電文コード		char	2		
2	発信官署			2		
3	運用モード(運用:00、訓練:01、試験:20)		char	2		
4	発表時刻(Yymmddhhmmss)		char	12		
5	通数			3		
6	発現時(Yymmddhhmm)		char	10		
7	震央地コード			3		
8	地点コード			3		
9	方位			2		
10	距離			3		
11	緯度(nddd)		char	4		単位は度、1/10 まで表示、北緯(n=0)、南緯(n=1)
12	経度(ndddd)		char	5		単位は度、1/10 まで表示、東経(n=0)、西経(n=1)
13	深さ(hhh)		char	3		
14	M(mm)		char	2		
15	計測震度(II)		char	2		1/10 まで表示
16	震度観測点番号		int	5		観測点数分 } 計測震度毎

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	45
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	GPVファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	運用モード(運用:00、訓練:01、試験:20)		char	2		
2	発表時刻(YYMMDDhhmmss)		char	12		
3	発現時(YYMMDDhhmm)		char	10		
4	緯度(nddd)		char	4		単位は度、1/10 まで表示、北緯(n=0)、南緯(n=1)
5	経度(ndddd)		char	5		単位は度、1/10 まで表示、東経(n=0)、西経(n=1)
6	深さ(hhh)		char	3		
7	M(mm)		char	2		
8	震央地名		char	64		EUC漢字コード、空いている領域はスペースとする
9	震源直上震度補間 (f)		char	1		震源直上震度補間あり (1)、無し (0)。
10	震源直上計測震度 (II)		char	2		1/10 まで表示
11	緯度 (ndddd)		char	5		単位は度、1/100 まで表示
12	経度 (ndddd)		char	6		単位は度、1/100 まで表示
13	深さ (hhh)		char	3		
14	M (mm)		char	2		
15	メッシュコード(AAAABBCC)		char	8		昇順にソートしている
16	計測震度(II)		int	2		1/10 まで表示
						GP数 分繰り返し

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	46
	地震津波監視業務	震度サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	増幅度ファイル						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
1	メッシュコード(AAAABBCC)		char			} 約38万個	
2	都道府県コード		char				
3	区市町村コード		char				
4	地質種別コード		char				
5	増幅度		float				

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	47
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	機関パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	機関番号		short	2	1	
2	dummy		char	1	2	
3	機関名		uchar	1	21	漢字
4	機関名		uchar	1	9	漢字短縮
5	機関名		uchar	1	41	ローマ字
6	機関名		uchar	1	9	ローマ字短縮
7	機関名		uchar	1	41	カタカナ
8	機関名		uchar	1	9	カタカナ短縮
9	dummy		char	1	2	
10	機関種別		short	2	1	
11	予備		short	2	1	
12	予備		long	4	1	
13	予備		char	1	112	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	48
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	機関種別パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	機関種別番号		short	2	1	
2	dummy		char	1	2	
3	機関種別名		uchar	1	21	漢字
4	機関種別名		uchar	1	9	漢字短縮
5	機関種別名		uchar	1	41	ローマ字
6	機関種別名		uchar	1	9	ローマ字短縮
7	機関種別名		uchar	1	41	カタカナ
8	機関種別名		uchar	1	9	カタカナ短縮
9	RGBのR		short	2	1	赤色の濃度(0-255)
10	RGBのG		short	2	1	緑色の濃度(0-255)
11	RGBのB		short	2	1	青色の濃度(0-263)
12	予備1		short	2	1	
13	予備2		short	2	1	
14	dummy		char	1	2	
15	予備3		long	4	1	
16	予備4		char	1	104	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	49
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	観測点パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	観測点番号		ushort	2	1	オンラインチャンネルパラメータの観測点番号とり
2	観測点名		uchar	1	21	漢字
3	観測点名		uchar	1	9	漢字短縮
4	観測点名		uchar	1	41	ローマ字
5	観測点名		uchar	1	9	ローマ字短縮
6	観測点名		uchar	1	41	カタカナ
7	観測点名		uchar	1	9	カタカナ短縮
8	緯度(度)		short	2	1	
9	緯度(分)		short	2	1	
10	経度(度)		short	2	1	
11	経度(分)		short	2	1	
12	標高(M)		short	2	1	
13	所属機関番号		short	2	1	
14	観測開始日付		char	1	9	YYYYMMDD
15	観測終了日付		char	1	9	YYYYMMDD
16	dummy		char	1	2	
17	予備		short	2	1	
18	予備		short	2	1	
19	予備		long	4	1	
20	予備		char	1	84	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	50
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	サブジェクトパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	サブジェクト番号		short	2	1	オンラインファイルパラメータのサブジェクト番号とリンク
2	入力ライン名		uchar	1	21	
3	ダミー1		char	1	1	
4	秒値作成フラグ		char	1	1	秒値メールファイル作成フラグ 1:作成する 0:作成しない
5	ダミー2		char	1	1	
6	分値作成フラグ		char	1	1	分値メールファイル作成フラグ 1:作成する 0:作成しない
7	ダミー3		char	1	1	
8	時間値作成フラグ		char	1	1	時間値メールファイル作成フラグ 1:作成する 0:作成しない
9	ダミー4		char	1	1	
10	秒値作成時間幅		ushort	2	1	秒
11	欠測判定時間幅		ushort	2	1	テレメータデータよりも $\text{max_dtless} \times 60 + \text{tmdtless} \times 60$ 秒 遅れている場合は前値ホールド処理
12	入力タイミング不良時間幅		ushort	2	1	
13	データ欠測監視最大時間幅		ushort	2	1	テレメータデータよりも $\text{max_dtless} \times 60 + \text{tmdtless} \times 60$ 秒 遅れている場合は前値ホールド処理
14	欠測SVフォーマット		uchar	1	3	
15	ダミー5		char	1	1	サブジェクト文字列
16	他機関コード記号		uchar	1	4	
17	他機関コード番号		ushort	2	1	
18	前値ホールドフラグ		char	1	1	1:前値ホールドあり
19	予備		char	1	3	
20	メール受信過去判定時間幅		ushort	2	1	データ時刻が、現在時刻－mail_errよりも過去の 場合はエラーメールと判定
21	オンラインファイル番号		ushort	2	1	オンラインファイルパラメータのオンライン処理 番号とリンク

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	50
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	サブジェクトパラメータ					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
22	予備		long	4	1	
23	予備		char	1	4	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	51
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	SV情報パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	SV情報番号		short	2	1	
2	所属観測点番号		short	2	1	
3	テレメータSV編集個数		short	2	1	
4	テレメータSVアドレス		short	2	5	
5	SV編集番号		short	2	1	
6	地殻SVバッファアドレス		short	2	1	
7	電源監視チェックフラグ		short	2	1	
8	予備		short	2	1	
9	予備		long	4	1	
10	予備		char	1	36	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	52
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	センサーパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	センサー番号		short	2	1	
2	センサー名		uchar	1	21	漢字
3	センサー名		uchar	1	9	漢字短縮
4	センサー名		uchar	1	41	ローマ字
5	センサー名		uchar	1	9	ローマ字短縮
6	センサー名		uchar	1	41	カタカナ
7	センサー名		uchar	1	9	カタカナ短縮
8	センサー種別		short	2	1	
9	予備		short	2	1	
10	予備		long	4	1	
11	予備		char	1	116	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	53
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	センサー種別パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	センサー番号		short	2	1	
2	センサー名		uchar	1	21	漢字
3	センサー名		uchar	1	9	漢字短縮
4	センサー名		uchar	1	41	ローマ字
5	センサー名		uchar	1	9	ローマ字短縮
6	センサー名		uchar	1	41	カタカナ
7	センサー名		uchar	1	9	カタカナ短縮
8	センサー種別		short	2	1	
9	予備		short	2	1	
10	予備		long	4	1	
11	予備		char	1	116	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	54
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	感度履歴ファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		ushort	2	1	
2	センサー番号		short	2	1	
3	感度設定 (年)		short	2	1	
4	感度設定 (月)		short	2	1	
5	感度設定 (日)		short	2	1	
6	感度設定 (時)		short	2	1	
7	感度設定 (分)		short	2	1	
8	ダミー		char	1	2	
9	スケール変換定数		float	4	1	
10	ビットスケール		float	4	1	
11	物理変換定数		float	4	1	
12	電圧シフト値		float	4	1	
13	物理シフト値		float	4	1	
14	予備		short	2	1	
15	予備		short	2	1	
16	予備		float	4	1	
17	予備		char	1	20	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	55
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	オンラインチャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		ushort	2	1	
2	物理チャンネル番号		short	2	1	使用せず
3	シフトログファイル番号		short	2	1	
4	テレメータアドレス		short	2	1	
5	S Vバッファアドレス		short	2	1	
6	実装チャンネルフラグ		short	2	1	
7	サブジェクト番号		short	2	1	サブジェクトパラメータのサブジェクト番号とリン
8	他機関チャンネル番号		ushort	2	1	
9	チャンネル名称		uchar	1	22	
10	チャンネル識別名		uchar	1	22	
11	データ遅延量		long	4	1	
12	ダミー1		char	1	4	元スケール変換定数
13	ビットスケール		float	4	1	物理量⇄カウント値変換で使用
14	物理変換定数		float	4	1	物理量⇄カウント値変換で使用
15	電圧シフト値		float	4	1	物理量⇄カウント値変換で使用
16	物理シフト値		float	4	1	物理量⇄カウント値変換で使用

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	55
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名 №	オンラインチャネルパラメータ 属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
17	データ作成フラグ		char	1	8	0:スケール変換(使用せず) 1:折り返しフラグ 0:折り返しを行う 2:分値作成 0x01:平均、0x02:リサンプリング 0x03:単位雨量、0x04:差分 3:補正分値作成 4:時間値作成 0x01:平均、0x02:リサンプリング 0x03:積算、0x04:差分 0x05:非テレメータ 5:補正時間値作成 0x01:平均、0x02:リサンプリング 0x03:積算、0x04:差分 6:BCD変換 0x01:T-SYSTEM(下位4bit)、0x02:2byte 0x03:巨大津波 7:パケット抜け対応 0x01:振り切れデータ(0x7FFFまたは0x8000)の とき欠測 0x02:ゼロデータ(0x0000)のとき欠測 0x03:振り切れまたはゼロデータのとき欠測
18	ファイル作成フラグ		char	1	8	0:秒値ファイル 1:分値ファイル 2:補正分値ファイル 3:時間値ファイル 4:補正時間値ファイル 0:作成対象 1:作成対象外
19	無変動設定フラグ		char	1	2	0:無変動の場合、欠測とする

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	55
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	オンラインチャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
20	データ除去フラグ		char	1	4	0:欠測インデックス 0:欠測データを正常データとする 1:テスト中インデックス 0:テストデータを正常データとする
21	方位情報(識別番号)		short	2	1	
22	ダミー 2		char	1	1	
23	折り返しシフトフラグ		char	1	1	折り返し処理
24	折り返し判定幅		short	2	1	折り返し処理
25	折り返しシフト量 (折り返し増)		long	4	1	折り返し処理
26	折り返しシフト量 (折り返し減)		long	4	1	折り返し処理
27	折り返し増 (下限)		short	2	1	折り返し処理
28	折り返し減 (上限)		short	2	1	折り返し処理
29	折り返しスケール増		long	4	1	折り返し処理
30	折り返しスケール減		long	4	1	折り返し処理
31	方位情報(方位角)		short	2	1	
32	雨量元チャンネル番号		ushort	2	1	単位雨量処理
33	単位雨量四捨五入値		float	4	1	単位雨量処理
34	差分元チャンネル番号 1		ushort	2	1	差分処理
35	差分元チャンネル番号 2		ushort	2	1	差分処理
36	補正用フィルタ係数		ushort	2	1	
37	潮汐補正フラグ		char	1	1	0:調整補正なし 1:潮汐補正 2:潮汐補正
38	温度補正フラグ		char	1	1	0:温度補正なし 1:温度補正 シフト処理 2:温度補正 フィルタ処理
39	気圧補正フラグ		char	1	1	0:気圧補正なし 1:気圧補正 シフト処理 2:気圧補正 フィルタ処理

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	55
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	オンラインチャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
40	降水補正フラグ		char	1	1	0: 降水補正なし 1: 降水補正 分値 2: 降水補正 時間値 3: 降水補正 分値 & 時間値
41	理論潮汐番号		short	2	1	理論潮汐チャンネルパラメータの理論潮汐番号と
42	温度自局チャンネル番号		ushort	2	1	温度補正処理
43	温度係数		float	4	1	温度補正計算で使用
44	温度シフト		float	4	1	温度補正計算で使用
45	気圧係数		float	4	1	気圧補正計算で使用
46	気圧シフト値		float	4	1	気圧補正計算で使用
47	気圧自局チャンネル番号		ushort	2	1	気圧補正処理
48	気圧隣接局1チャンネル番号		ushort	2	1	気圧補正処理
49	気圧隣接局2チャンネル番号		ushort	2	1	気圧補正処理
50	無変動判定値		short	2	4	(最大値) - (最小値) < (無変動判定値)の場合は
51	異常幅 (+)		short	2	4	(異常幅 (-)) ~ (異常幅 (+)) 範囲外の場合は除
52	異常幅 (-)		short	2	4	(異常幅 (-)) ~ (異常幅 (+)) 範囲外の場合は除
53	所属観測点番号		ushort	2	1	観測点パラメータの観測点番号とリンク
54	センサー番号		short	2	1	センサーパラメータのセンサー番号とリンク
55	センサー情報		char	1	12	
56	地上高 (M)		short	2	1	
57	観測開始日付		long	4	1	
58	観測終了日付		long	4	1	
59	単位		char	1	1	
60	ダミー 3		char	1	1	
61	降水補正 I D		ushort	2	1	運用で論理番号と同一とする
62	降水補正元論理チャンネル番号		ushort	2	1	同一オンラインファイルに出力する
63	合成歪 I D		ushort	2	1	計算結果は別ファイルに出力する
64	キャリブレーションフラグ		char	1	1	0: キャリブレーション前チャンネル 1: キャリブレーション後チャンネル

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	55
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	オンラインチャネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
65	合成歪データ種別		char	1	2	0x01:主歪1 0x02:主歪2 0x03:主歪1の方向 0x04:面積歪 0x05:ずり歪1 0x06:ずり歪2 0x07:最大せん断歪
66	ダミー4		char	1	2	
67	ダミー5		char	1	2	
68	ダミー6		char	1	8	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	56
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	オフラインチャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		ushort	2	1	
2	時間値回線種別		short	2	1	
3	元チャンネル番号		ushort	2	1	
4	日値処理フラグ		char	1	1	
5	データ接続フラグ		char	1	1	
6	予備		short	2	1	
7	予備		short	2	1	
8	予備		long	4	1	
9	予備		char	1	48	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	57
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	回線監視チャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		ushort	2	1	
2	チャンネル名		uchar	1	23	
3	長時間欠測フラグ		char	1	1	
4	ダミー		char	1	2	
5	長時間欠測アラーム時間		short	2	1	
6	無変動フラグ		char	1	1	
7	ダミー		char	1	1	
8	無変動アラーム時間		short	2	1	
9	ダミー		char	1	2	
10	無変動判定分散値		float	4	1	
11	無変動範囲フラグ		char	1	1	
12	ダミー		char	1	3	
13	変動範囲アラーム時間		short	2	1	
14	変動範囲異常判定値 (上限)		short	2	1	
15	変動範囲異常判定値 (下限)		short	2	1	
16	電話呼出フラグ		char	1	1	
17	ダミー		char	1	1	
18	電話呼出アラーム時間		short	2	1	
19	ダミー		char	1	2	
20	予備		short	2	1	
21	予備		short	2	1	
22	予備		long	4	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	58
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	アメダスチャネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	物理チャネル番号		short	2	1	使用せず
2	論理チャネル番号		ushort	2	1	
3	実装フラグ		short	2	1	
4	雨量処理フラグ		char	1	1	
5	ダミー		char	1	1	
6	観測点番号		long	4	1	
7	観測所種別		short	2	1	1:官署 2:四要素 3:雨 4:雨口ボ 5:雪 6:その他
8	観測所名カナ		char	1	17	
9	観測所名漢字		char	1	33	
10	緯度(度)		short	2	1	
11	経度(度)		short	2	1	
12	緯度(分)		short	2	1	
13	経度(分)		short	2	1	
14	ダミー		int	4	1	
15	観測要素		char	1	1	
16	ダミー		char	1	1	
17	海面上の高さ		short	2	1	
18	風向風速計の高さ		float	4	1	
19	予備		short	2	1	
20	予備		short	2	1	
21	予備		long	4	1	
22	予備		char	1	36	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	59
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	理論潮汐チャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	理論潮汐番号		short	2	1	
2	種別		short	2	1	
3	補正用フィルター値		float	4	1	
4	緯度(度)		double	4	1	
5	経度(度)		double	4	1	
6	標高		double	4	1	
7	振幅比		double	4	30	
8	位相		double	4	30	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	60
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	降水補正チャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	降水補正ID		short	2	1	オンラインチャンネルパラメータの降水補正IDとり
2	タミー		short	2	1	
3	溯り補正分値次数		short	2	1	
4	溯り補正時間値次数		short	2	1	
5	過去補正分値応答係数		float	4	90	最大1.5時間
6	過去分降水量応答係数		float	4	90	
7	過去補正時間値応答係数		float	4	90	最大2.5日間
8	過去時間降水量係数		float	4	90	
9	参照分値降水チャンネル番号		ushort	2	1	
10	参照時間値降水チャンネル番号		ushort	2	1	
11	予備		char	1	20	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	61
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	合成歪パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	合成歪ID		short	2	1	オンラインチャンネルパラメータの合成歪IDとリン
2	名称(観測点)		uchar	1	16	
3	合成計算フラグ		char	1	2	カラム1(分値) カラム2(時間値):1作成 0未作
4	キャリブレーションフラグ		char	1	2	カラム1(分値) カラム2(時間値):1作成 0未作
5	ダミー		short	2	1	
6	計画区間幅		long	4	1	分で指定
7	3成分歪処理元1論理チャンネル番号		ushort	2	1	
8	3成分歪処理元2論理チャンネル番号		ushort	2	1	
9	3成分歪処理元3論理チャンネル番号		ushort	2	1	
10	3成分歪処理方位1		short	2	1	
11	3成分歪処理方位2		short	2	1	
12	3成分歪処理方位3		short	2	1	
13	ダミー		char	1	2	
14	キャリブレーション行列値		short	2	9	3行3列のキャリブレーション行列の各要素値 運用で小数2位までの値を×100で入力→ア ルゴリズム内で戻す
15	予備		char	1	6	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	62
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名 №	オンラインファイルパラメータ 属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	オンラインファイル番号		ushort	2	1	サブジェクトパラメータのオンラインファイル番号とリンク
2	グループ名		char	1	21	
3	ダミー		char	1	1	
4	分値作成実行間隔		short	2	1	
5	補正分値作成実行間隔		short	2	1	
6	時間値作成実行間隔		short	2	1	
7	補正時間値作成実行間隔		short	2	1	
8	種別		char	1	1	0:テレメータ系 1:非テレメータ系
9	ダミー		char	1	1	
10	秒値転送保証時間		short	2	1	分
11	分値転送保証時間		short	2	1	分
12	時間値転送保証時間		short	2	1	分
13	識別符号		char	1	4	
14	ダミー		char	1	20	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	63
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	アメダス雨量					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		ushort	2	1	
2	dummy		char	1	2	
3	ファイル識別子		char	1	3	AMR: アメダス雨量ファイル
4	レコード識別子		char	1	1	: 正常データのみ E: 時刻矛盾データ D: 削除データ
5	観測点名 (カナ)		uchar	1	16	
6	観測点番号		long	4	1	
7	年		short	2	1	
8	月		short	2	1	
9	日		short	2	1	
10	時		short	2	1	
11	分		short	2	1	
12	データ数		short	2	1	
13	データ		float	4	72	
14	SV		uchar	1	72	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	64
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	オンラインファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		ushort	2	1	オンラインファイルのパス名の論理チャンネル番号を リンク
2	物理チャンネル番号		short	2	1	使用せず (通常は-1)
3	ファイル識別		char	1	3	OS:秒値 OM:分値 CM:補正分値 OH:時間値 CH:補正時間値
4	レコード識別		char	1	1	:正常データのみ E:時刻矛盾データ D:削除データ
5	チャンネル名称		uchar	1	20	
6	年		short	2	1	日本時間 YYYY
7	月		short	2	1	日本時間 MM
8	日		short	2	1	日本時間 DD
9	時		short	2	1	日本時間 hh
10	分		short	2	1	日本時間 mm
11	データ数		short	2	1	0~120
12	カウント値		short	2	120	
13	S Vデータ		uchar	1	120	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	65
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	オフラインファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		ushrot	2	1	オンラインチャンネルパラメータの論理チャンネル番号とリンク
2	dummy		char	1	2	
3	ファイル識別		char	1	3	FH_:オフライン時間値 FD_:オフライン日値
4	レコード識別		char	1	1	:正常データのみ E:時刻矛盾データ D:削除データ
5	チャンネル名称		uchar	1	20	
6	年		short	2	1	日本時間 YYYY
7	月		short	2	1	日本時間 MM
8	日		short	2	1	日本時間 DD
9	時		short	2	1	日本時間 hh
10	分		short	2	1	日本時間 mm
11	データ数		short	2	1	0~72
12	物理量		float	4	72	
13	SVデータ		uchar	1	72	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	66
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	シフトログファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		ushrot	2	1	
2	シフト開始時刻 (年)		short	2	1	
3	シフト開始時刻 (月)		short	2	1	
4	シフト開始時刻 (日)		short	2	1	
5	シフト開始時刻 (時)		short	2	1	
6	シフト開始時刻 (分)		short	2	1	
7	シフト終了時刻 (年)		short	2	1	
8	シフト終了時刻 (月)		short	2	1	
9	シフト終了時刻 (日)		short	2	1	
10	シフト終了時刻 (時)		short	2	1	
11	シフト終了時刻 (分)		short	2	1	
12	シフト種別		short	2	1	1:バルブオープン 2:折り返し 3:ゼロ点調整 4:姿勢制御
13	シフト量		long	4	1	
14	総シフト量		long	4	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	67
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	オン・オフライン処理パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	1分平均正常個数1		short	2	1	前時刻
2	1分平均正常個数2		short	2	1	現時刻
3	分散異常判別定数1		float	4	1	前時刻
4	分散異常判別定数2		float	4	1	現時刻
5	分散値(下限)		float	4	1	
6	分散値(上限)		float	4	1	
7	V/O判定個数		short	2	1	
8	補正分値正常判定個数1		short	2	1	
9	補正分値正常判定個数2		short	2	1	
10	補正分値作成区間		short	2	1	
11	時間値正常判定個数		short	2	1	
12	時間値作成区間		short	2	1	
13	補正時間値正常判定個数		short	2	1	
14	補正時間値作成区間		short	2	1	
15	理論潮汐アイテム数		short	2	1	使用しない
16	テレメタ最大飛び時刻		short	2	1	
17	テレメタ遅延時刻		short	2	1	
18	時刻矛盾復帰待ち時間		short	2	1	
19	秒値CD収録時間		short	2	1	
20	秒値CD収録期間		short	2	1	
21	分値CD収録時間		short	2	1	
22	分値CD収録期間		short	2	1	
23	CD収録グループ No.1		short	2	1	
24	CD収録グループ No.2		short	2	1	
25	オフライン日値正常判定個数		short	2	1	
26	オフライン日値正常判定個数(雨量)		short	2	1	
27	定時起動プロセス時間指定		char	6	5	
28	折り返し打切定数		short	2	1	
29	単位雨量制限値		short	2	1	
30	予備		char	1	34	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	68
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	グループ名定義(回線監視用)					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	グループファイル番号		short	2	1	
2	グループタイプ		char	1	1	
3	表示用グループファイル名		uchar	1	39	
4	報知レベル正常		short	2	1	
5	報知レベル重故障		short	2	1	
6	報知用グループタイトル		uchar	1	21	
7	グループ情報データ		uchar	1	61	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	69
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	各パラメータ件数情報					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	機関件数		short	2	1	
2	センサー件数		short	2	1	
3	観測点件数		short	2	1	
4	サブジェクト件数		short	2	1	
5	SV情報件数		short	2	1	
6	オンラインチャンネル数		short	2	1	
7	オフラインチャンネル数		short	2	1	
8	回線監視チャンネル件数		short	2	1	
9	アメダスチャンネル件数		short	2	1	
10	回線監視グループ数		short	2	1	
11	予備1		short	2	1	
12	予備2		short	2	1	
13	予備3		short	2	1	
14	予備4		short	2	1	
15	予備5		short	2	1	
16	予備6		short	2	1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	70
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	降水応答テーブル (分値)					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	通算秒		long	4	1	
2	降水チャネル番号		short	2	1	
3	最新位置		short	2	1	
4	降水応答量		float	4	120	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	71
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	降水応答テーブル (時間値)					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	通算秒		long	4	1	
2	降水チャネル番号		short	2	1	
3	最新位置		short	2	1	
4	降水応答量		float	4	120	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	72
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	トレンド補正值					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャネル番号		int		1	
2	トレンド量(strain/day)		float		1	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	73
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	雨量補正時間					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	雨量ID		int			
2	ファイル種別		int			
3	論理チャンネル番号		int			
4	雨量積算時間		int			
5	チャンネル名称		char			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	74
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	異常レベル値					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		int			
2	区分		int			0-東海SP、1-東海LP、2-南関東SP、3-南関東LP、4-傾斜、 三成分至±100、他機関±1000
3	チャンネル名称		char			
4	雨量ID	6行×最大10組	int			
5	降雨時とする雨量		short			
6	階差時間		int			
7	降雨期間外異常レベル1	階差時間 6種まで	float			
8	降雨期間外異常レベル2		float			
9	降雨期間外異常レベル3		float			
10	降雨期間帯伸びレベル1		float			
11	降雨期間帯伸びレベル2		float			
12	降雨期間帯伸びレベル3		float			
13	降雨期間帯縮みレベル1		float			
14	降雨期間帯縮みレベル2		float			
15	降雨期間帯縮みレベル3		float			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	75
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	同時異常						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
1	グループ番号		int				
2	グループ名		char				
3	レベル1の重み		short				
4	レベル2の重み		short				
5	レベル3の重み		short				
6	論理チャンネル番号		int				
7	降雨期間外60分階差レベル1		float				
8	降雨期間外60分階差レベル2		float				
9	降雨期間外60分階差レベル3		float				
10	降雨期間内60分階差伸びレベル1		float				
11	降雨期間内60分階差伸びレベル2		float				
12	降雨期間内60分階差伸びレベル3		float				
13	降雨期間内60分階差縮みレベル1		float				
14	降雨期間内60分階差縮みレベル2		float				
15	降雨期間内60分階差縮みレベル3		float				
16	降雨期間外180分階差レベル1		float				
17	降雨期間外180分階差レベル2		float				
18	降雨期間外180分階差レベル3		float				
19	降雨期間内180分階差伸びレベル1	ch数分 繰り返 し	float				
20	降雨期間内180分階差伸びレベル2		float				
21	降雨期間内180分階差伸びレベル3		float				
22	降雨期間内180分階差縮みレベル1		float				
23	降雨期間内180分階差縮みレベル2		float				
24	降雨期間内180分階差縮みレベル3		float				
25	降雨期間外24時間階差レベル1		float				
26	降雨期間外24時間階差レベル2		float				
27	降雨期間外24時間階差レベル3		float				
28	降雨期間内24時間階差伸びレベル1		float				
29	降雨期間内24時間階差伸びレベル2		float				
30	降雨期間内24時間階差伸びレベル3		float				

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	75
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	同時異常					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
31	降雨期間内24時間階差縮みレベル1		float			
32	降雨期間内24時間階差縮みレベル2		float			
33	降雨期間内24時間階差縮みレベル3		float			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	76
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	異常監視結果(分)					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		int			
2	監視時間		char			5 m,60 m,180
3	階差		float			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	77
	東海地震予知業務	地殻サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	異常監視結果(時間)					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャネル番号		int			
2	監視時間		char			24 h
3	24時間階差		float			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	78
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	検潮所パラメータ						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
1	論理チャンネル番号		unsigned short	2	1		
2	検潮所番号		char	3	1		
3	地点マーク		char	2	1		
4	基準面(DL)		char	3			
5	緯度		char	6	1		
6	経度		char	7	1		
7	推算潮位算出法		char	1	1	'0': 推算潮位は計算式で求める。'1': 推算潮位ファイルから取得する。	
8	導水管補正フラグ		char	1	1	'0': 導水管補正を行わない。'1': 導水管補正を行う。	
9	導水管定数		char	5	1	導水管補正の計算で用いられる定数。	
10	溯上変換フラグ		char	1	1		
11	導水管水深		char	3	1		
12	表示角度		char	2	1		
13	予報区		char	3	1		
14	発表グループ識別子		char	2	1	検測電文発信時の、検潮所のグループ分けに用いられる識別子。	
15	検潮所名漢字		char	20	1	左詰で格納され、余白はスペースでパディング。	
16	検潮所名漢字略称		char	8	1	左詰で格納され、余白はスペースでパディング。	
17	5桁地点番号		char	5	1		
18	英字地点名		char	28	1	左詰で格納され、余白はスペースでパディング。	
19	遅延時間		char	2	1	検潮データに遅延の発生する検潮の場合は、ここに遅延時間が、秒単位で格納される。右詰でリーディング0が有る。	
20	検潮グループ		char	1	1	'0': 自動検潮しない、'1': 自動検潮する。	
21	自動検測フラグ		char	1	1	津波自動検潮処理と、検潮一覧・検潮波形表示で、処理対象とするか否かを示すフラグ。'0': しない、'1': する。	
22	処理対象フラグ		char	1	1	外電処理で処理対象とする検潮所か否かを示すフラグ。'0': しない、'1'する。	
23	発表抑止フラグ		char	1	1		
24	外電処理対象フラグ		char	1	1		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	78
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	検潮所パラメータ					
No	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
25	津波アラームトリガ判定範囲		char	2	1	分指定。リーディング0有り。
26	津波アラームトリガON設定値		char	4	1	津波アラームトリガをONとする変動量
27	津波アラームトリガOFF設定値		char	4	1	津波アラームトリガをOFFとする変動量
28	津波アラームトリガON継続時間		char	4	1	分指定。リーディング0有り。
29	津波判定用トリガグループNo.		char	3	1	
30	予備		char	25	1	常にスペース。

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	79
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名	津波検測結果					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	検潮所NO		char	3	1	右詰で格納されリーディング0が有る。
2	第一波発現時刻		char	14	1	YYYYMMDDhhmmss の形式で表現され、全ての項目にリーディング0が有る。
3	第一波時刻オフセット		char	8	1	第一波発現時刻の高さ。±XXXX.XX の形式で表現される。+の符号は省略される。単位は、cm。
4	第一波高さ時刻		char	14	1	YYYYMMDDhhmmss の形式で表現され、全ての項目にリーディング0が有る。
5	第一波高さ		char	7	1	±XXXX.XX の形式で表現される。+の符号は省略される。単位は、cm。
6	津波最大高さ時刻		char	14	1	YYYYMMDDhhmmss の形式で表現され、全ての項目にリーディング0が有る。
7	津波最大高さ		char	7	1	±XXXX.XX の形式で表現される。+の符号は省略される。単位は、cm。
8	仮初動時刻		char	14	1	YYYYMMDDhhmmss の形式で表現され、全ての項目にリーディング0が有る。
9	仮初動高さ		char	7	1	±XXXX.XX の形式で表現される。 +の符号は省略される。単位は、cm。
10	自動検測抑止フラグ		char	1	1	'0':必要なら自動検測する'1':自動検測は行わない
11	自動検測フラグ			1	1	'0':自動検測中ではない'1':自動検測中
12	最大高さ検測種別フラグ		char	1	1	'0':自動検測結果'1':手動検測結果
13	ツナミケンソク電文発信抑止フラグ		char	1	1	0:ツナミケンソク電文を発信する(抑止しない) "1":ツナミケンソク電文の発信を抑止する。
14	会話験測・最大高さ時刻		char	14	1	会話験測・最大高さ時刻YYYYMMDDhhmmss

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	79
	地震津波監視業務	津波サブシステム (EPOS)		初版			

エンティティ名 №	津波検測結果 属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
15	会話検測・最大高さ		char	8	1	会話検測・最大高さ(mtunami_hakoには第一波 発現時高さからのオフセットが入るが、ここには 潮位そのものの値が入る)
16	自動検測・最大高さ時刻		char	14	1	自動検測・最大高さ時刻YYYYMMDDhhmmss
17	自動検測・最大高さ		char	8	1	自動検測・最大高さ(mtunami_hakoには第一波 発現時高さからのオフセットが入るが、ここには 潮位そのものの値が入る)
18	最大高さ候補時刻保存		char	14	1	現時点で、最も高い潮位を自動検測したが、ま だ最大高さとして確定していない時の時刻。
19	最大高さ候補保存		char	8	1	現時点で、最も高い潮位を自動検測したが、ま だ最大高さとして確定していない時の潮位
20	クリア報フラグ		char	1	1	クリア報フラグ '1': 第一波検測 (または仮初動) が削除されたことを報ずるクリア報の発信が必 要 '0': クリア報は発信済みか、発信の必要がそ もそも無い
21	予備		char	14	1	常にスペース。
22	改行コード		char	1	1	常に改行コード。

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	80
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	観測点パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量(桁)	配列	説明
1	観測点番号		short	4		システム内観測点番号。ステーション番号とも言う。1～9999。(通番ではない。歯抜けあり)
2	国際地点番号		short	5		数値5桁。先頭2桁が県コード。 47123, 51150など。(JMAでは設定しないので使用しないこと)
4	緯度(度)		short	3		単位:度 マイナスは不可
5	緯度(分)		short	5		単位:0.01分
6	経度(度)		short	4		単位:度 マイナスは不可
7	経度(分)		short	5		単位:0.01分
8	標高		short	5		地表面の標高 単位:m 土あり。
9	第○センサー番号		int	5		
10	第○センサー第1成分チャンネル番号	5センサー 繰り返し	u short	5		第○センサーの第1成分(通常はNS成分)の論理チャネル番号。
11	第○センサー第2成分チャンネル番号		u short	5		第○センサーの第1成分(通常はEW成分)の論理チャネル番号。
12	第○センサー第3成分チャンネル番号		u short	5		第○センサーの第1成分(通常はUD成分)の論理チャネル番号。
13	管区番号		short	2		0:札幌、1:仙台、2:東京、3:大阪、4:福岡、5:沖縄、 10:札幌管内他機関、11:仙台管内他機関、12:東京管内他機関、 13:大阪管内他機関、14:福岡管内他機関、15:沖縄管内他機関
14	所属機関名コード		char	6		英数
15	所属機関名		char	14		
16	観測点名漢字(短縮版)		char	14		漢字
17	観測点名カタカナ		char	40		カナ
18	観測点名ローマ字		char	40		英字
19	気象庁観測点コード		char	6		英数
20	USGS観測点コード		char	6		英数
21	旧観測点番号		short	4		
22	新観測点番号		short	4		
23	観測開設年月日		int	8		YYYYMMDD
24	観測終了年月日		int	8		YYYYMMDD
25	有効フラグ		short	4		0:無効、1:有効
26	予備1		char	8		
27	予備2		char	8		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	80
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	観測点パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量(桁)	配列	説明
28	予備3		int	8		
29	予備4		int	8		
30	検測地点選別定数		short	8		
31	検測値ファイル出力用観測点番号		short	8		
32	予備7		short	8		
33	予備8		short	8		
34	予備9		float	8		YYYYMMDDhhmmss+"00"固定
35	予備10		float	8		
36	予備11		float	8		
37	予備12		double	8		
38	観測点コメント		char	100		観測点の正式名称、住所など
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する。
39	通算日付		int	8		YYYYMMDD
40	通算時刻		int	6		HHMMSS

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	81
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	センサーパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量(桁)	配列	説明
1	センサ番号		short	5		
2	センサタイプ		short	3		
3	センサ名		char	20		
4	設置状況		short	4		
5	地震計記号		char	1		
6	限界周波数 (High) 1		short	4		
7	限界周波数 (High) 指数1		short	3		
8	限界周波数 (Low) 1		short	4		
9	限界周波数 (Low) 指数1		short	3		
10	センサ固有周期1		short	4		
11	センサ固有周期指数1		short	3		
12	ダンピング定数1		short	4		
13	ダンピング定数指数1		short	3		
14	センサ感度 (電圧／物理量) 1		short	4		
15	センサ感度 (物理／物理量) 指数1		short	3		
16	基本倍率 (アンプゲイン) 1		short	4		
17	基本倍率 (アンプゲイン) 指数1		short	3		
18	限界周波数 (High) 2		short	4		
19	限界周波数 (High) 指数2		short	3		
20	限界周波数 (Low) 2		short	4		
21	限界周波数 (Low) 指数2		short	3		
22	センサ固有周期2		short	4		
23	センサ固有周期指数2		short	3		
24	ダンピング定数2		short	4		
25	ダンピング定数指数2		short	3		
26	センサ感度 (電圧／物理量) 2		short	4		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	81
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	センサーパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量(桁)	配列	説明
27	センサ感度 (物理／物理量) 指数2		short	3		
28	基本倍率 (アンプゲイン) 2		short	4		
29	基本倍率 (アンプゲイン) 指数2		short	3		
30	限界周波数 (High) 3		short	4		
31	限界周波数 (High) 指数3		short	3		
32	限界周波数 (Low) 3		short	4		
33	限界周波数 (Low) 指数3		short	3		
34	センサ固有周期3		short	4		
35	センサ固有周期指数3		short	3		
36	ダンピング定数3		short	4		
37	ダンピング定数指数3		short	3		
38	センサ感度 (電圧／物理量) 3		short	4		
39	センサ感度 (物理／物理量) 指数3		short	3		
40	基本倍率 (アンプゲイン) 3		short	4		
41	基本倍率 (アンプゲイン) 指数3		short	3		
42	センサ地上高		short	5		
43	観測点番号		short	4		
44	観測開始時刻		int	8		
45	観測終了時間		int	8		
46	有効フラグ		short	4		
47	予備1		char	8		
48	予備2		char	8		
49	予備3		int	8		
50	予備4		int	8		
51	予備5		short	8		
52	予備6		short	8		
53	予備7		short	8		
54	予備8		short	8		
55	予備9		float	8		
56	予備10		float	8		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	81
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	センサーパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量(桁)	配列	説明
57	予備1 1		float	8		
58	予備1 2		double	8		
59	コメント		char	100		
	パラメータ変更日付					
60	通算日付		int	8		
61	通算時刻		int	6		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	82
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	論理チャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	論理チャンネル番号		unsigned short	5		
2	物理チャンネル番号		short	4		
3	状態フラグ		short	1		
4	観測点番号		float	5		
5	センサー番号		float	5		
6	地震計記号		short	1		
7	収録サーバ番号		char	1		
8	サンプリング周期		short	3		
9	データ長		short	1		
10	センサータイプ		short	3		
11	成分		short	2		
12	観測値単位		short	2		
13	有効フラグ		short	4		
14	物理量観測係数 (感度)		float	11		
15	振り切れ値		int	10		
16	最小変動量		int	10		
17	変化単位		int	8		
18	補正遅延量		short	4		
19	レベルHトリガ定数 βH		float	7		
20	レベルHバイアス値 δH		int	10		
21	レベルLトリガ定数 βL		float	7		
22	レベルLバイアス値 δL		int	10		
23	トリガOFF定数 βOFF		float	7		
24	トリガOFFバイアス値 δOFF		int	10		
25	P波エラー幅上限値 (AR)		int	5		
26	P波エラー幅上限値 (レベル)		int	5		
27	P波時刻計算有効フラグ		short	1		
28	最大振幅・周期検測フラグ		short	1		
29	トリガ処理有効フラグ		short	1		
30	SVアドレス		short	3		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	82
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	論理チャンネルパラメータ					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
31	SV種別		short	2		
32	旧論理チャンネル番号		signed sho	5		
33	新論理チャンネル番号		signed sho	5		
34	管区番号		short	4		
35	設定時刻 (通算日)		init	8		
36	設定時刻 (通算秒)		int	6		
37	クローズ時刻 (通算日)		int	8		
38	クローズ時刻 (通算秒)		int	6		
39	パルスノイズ除去レベル		int	8		
40	パルスノイズ比較初期値		int	8		
41	強制トリガOFF時間		short	5		
42	予備4		char	8		
43	予備5		char	8		
44	オリジナル波形振り切れ値		int	8		
45	予備7		int	8		
46	フィルター種別		short	8		
47	予備9		short	8		
48	予備10		short	8		
49	予備11		short	8		
50	予備12		double	8		
51	予備13		double	8		
52	予備14		double	8		
53	予備15		double	8		
54	コメント		char	100		
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する
55	通算日付		int			YYYYMMDD并
56	通算時刻		int			HHMMSS并

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	83
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	物理チャンネルパラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	物理チャンネル番号		short	4		
2	論理チャンネル番号		short	5		
3	オフセット前回値		float	10		
4	LTA前回値		float	10		
5	STA前回値		float	10		
6	テレメータH・Mアドレス		short	4		
7	SVアドレス		short	4		
8	予備1		char[8]	8		
9	予備2		char[8]	8		
10	予備3		int	8		
11	予備4		int	8		
12	元物理チャンネル番号		short	8		
13	フィルタ番号		short	8		
14	予備7		short	8		
15	予備8		short	8		
16	予備9		float	8		
17	予備10		float	8		
18	予備11		float	8		
19	予備12		double	8		
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する
20	通算日付		int			YYYYMMDD形式
21	通算時刻		int			HHMMSS形式

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	85
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	JMA2001走時表					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	震源の深さ(km)		short			メッシュ間隔 0km～ 50km: 2km 50km～200km: 5km 200km～700km:10km
2	震央距離(km)		short			メッシュ間隔 0km～ 50km: 2km 50km～ 200km: 5km 200km～2000km:10km
3	P波走時(秒)		short			
4	S波走時(秒)		short			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	86
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	LL2001走時表					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	震源の深さ(km)		short			メッシュ間隔 0km～ 50km:2km 50km～ 155km:5km
2	震央距離(km)		short			メッシュ間隔 0km～ 50km:2km 50km～ 200km:5km 200km～1490km:10km
3	P波走時(秒)		short			
4	S波走時(秒)		short			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	87
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	射出角					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	震源の深さ(km)		short			メッシュ間隔 0km～ 50km: 2km 50km～ 200km: 5km 200km～ 700km: 10km
2	震央距離(km)		short			メッシュ間隔 0km～ 50km: 2km 50km～ 200km: 5km 200km～ 2000km: 10km
3	P波の射出角(度)		short			

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	88
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	検測値ファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
1	レコード種別ヘッダ		char	1		J: 気象庁による震源 U: USGSが決定した震源 I: その他の国際機関(ISC, IASPEIなど)による震源 C: コメント
2	西暦		int	4		オリジンタイムの西暦
3	月		int	2		オリジンタイムの月
4	日		int	2		オリジンタイムの日
5	時		int	2		オリジンタイムの時
6	分		int	2		オリジンタイムの分
7	秒		int	4		オリジンタイムの秒(0.01秒)
8	標準誤差(秒)		int	4		オリジンタイムの標準誤差(0.01秒)
9	緯度(度)		int	3		震央の緯度(度)
10	緯度(分)		int	4		震央の緯度(0.01分)
11	標準誤差(分)		int	4		震央の緯度の標準誤差(0.01分)
12	経度(度)		int	4		震央の経度(度)
13	経度(分)		int	4		震央の経度(0.01分)
14	標準誤差(分)		int	4		震央の経度の標準誤差(0.01分)
15	深さ(km)		int	5		深さフリーの条件で計算した時の震源の深さ(0.01km) 深さ固定または下記の刻みの条件で計算した時の震源の深さ(km)
16	標準誤差(km)		int	3		震源の深さの標準誤差(0.01km) 深さフリー以外の条件で計算した場合は空白
17	マグニチュード1		int	2		気象庁第1マグニチュードまたはUSGS等が計算した実体波マグニチュード(0.1) 0未満の場合は以下のように表記する -0.1: -1?? -0.9: -9?? -1.0: A0 -1.9: A9?? -2.0: B0?? -3.0: C0

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	88
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
18	マグニチュード1種別			char	1		<気象庁マグニチュード> J: 旧観測網における坪井変位マグニチュード (検知網展開以降は気象官署の震度計を2回積分して機械式地震計フィルターを適用した変位振幅に坪井変位マグニチュードを適用) D: 坪井変位マグニチュードに準拠した変位マグニチュード d: Dに同じ、ただし観測点数2点で決定 V: Dに準拠した速度マグニチュード v: Vに同じ、ただし観測点数2～3点で決定 v: Vに同じ、ただし観測点数2～3点で決定 <他機関マグニチュード> B: USGS等が計算した実体波マグニチュード S: USGS等が計算した表面波マグニチュード
19	マグニチュード2			int	2		気象庁第2マグニチュードまたはUSGS等が計算した表面波マグニチュード
20	マグニチュード2種別			char	1		マグニチュード1種別と同様
21	使用走時表			char	1		気象庁が震源を決定するために使った走時表の種類 他機関の場合空白 1: 標準走時表(83Aなど) 2: 三陸沖用走時表 3: 北海道東方沖用走時表 4: 千島列島付近用走時表(1を併用) 5: 標準走時表(JMA2001) 6: 千島列島付近走時表(5を併用)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	88
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
22	震源評価			char	1		震源を決定するにあたっての初期条件 不明の場合空白 1: 深さフリー 2: 深さ刻み条件(深さを一定の幅で変化させて計算)で最適解を求めた 3: 深さ固定等、人の判断による 4: Depth Phase を用いた 5: S-Pを用いた 7: 参考 8: 決定不能または不採用
23	震源補助情報			char	1		気象庁の震源に対する情報 他機関の場合空白 1: 通常地震 2: 他機関依存 3: 人工地震 4: ノイズ等 5: 低周波イベン

震源レコー
ド

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	88
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
24	最大震度			char	1		1: 震度1 2: 震度2 3: 震度3 4: 震度4 5: 震度5(1996年9月まで) 6: 震度6(1996年9月まで) 7: 震度7 A: 震度5弱 B: 震度5強 C: 震度6弱 D: 震度6強 L: 局発地震(最大有感距離が100km未満) (1977年まで) S: 小局発地震(最大有感距離が100km以上200km未満) (1977年まで) M: やや顕著地震(最大有感距離が200km以上300km未満) (1977年まで) R: 顕著地震(最大有感距離が300km以上) (1977年まで) F: 有感地震(1984年まで) X: 付近有感(1996年9月まで)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	88
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
25	被害規模			char	1		宇津が定めたところによる被害規模 1: 壁や地面に亀裂が生じる程度の微小被害(火山などの特殊な場所の地割れなどは除く) 2: 家屋の破損、道路の損壊などが生じる程度の小被害 3: 複数の死者または複数の全壊家屋が生じる程度(ただし4には達しない) 4: 死者20人以上または家屋全壊1千戸以上(ただし5には達しない) 5: 死者200人以上または家屋全壊1万戸以上(ただし6には達しない) 6: 死者2千人以上または家屋全壊10万戸以上(ただし7には達しない) 7: 死者2万人以上または家屋全壊100万戸以上 X: 被害あったが程度がわからないもの、または被害があったとみられるもの(1988年まで) Y: 同じ地域に直前または直後に起こった地震の被害と一緒に、この地震の被害のみを取り出してその程度を与えることが難しいもので、直前または直後の地震の被害に含まれている(1988年まで)
26	津波規模			char	1		1926年～1988年 宇津が定めたところによる津波規模 1: 検潮器では津波が観測されたが被害なし T: 津波あり 1989年～ 今村・飯田(1958)による津波規模 1: 波高50cm以下 2: 波高1m前後 3: 波高2m前後 4: 波高4～6m 5: 波高10～20m 6: 波高30m以上
27	大地域区分番号			int	1		震央地名ファイルによるところの大地域区分番号
28	小地域区分番号			int	3		震央地名ファイルによるところの小地域区分番号
29	震央地名			char	24		震央地名
30	観測点数			int	3		震源決定に使用した観測点の数

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	88
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	検測値ファイル							
Nº	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明	
31	震源決定フラグ			char	1		K: 気象庁震源 S: 参考震源 Kは決定精度が良いもので、防災機関へは原則としてこれのみを表示した分布図のみを提供しており、Sは決定精度が悪いもので、必要に応じて参考にするためのもの	
	レコード種別ヘッダ			char	1		検測値のレコードを示す	
	観測点コード			char	6		観測点のコードを6文字で表したもの	
	観測点番号			int	4		観測点番号(部内用)	
	空白			char	1		空白	
	地震計種別			char	1		地震計の種別 空白の時は不明 地震計の種別とシンボルは以下のとおり A: 87型電磁式強震計 (加速度) B: 87型電磁式強震計 (速度) C: 87型電磁式強震計 (変位) D: 59型(含む63型) (変位) E: 61型 (変位)、STS F: JMAその他 (加速度) G: JMAその他 (速度) H: JMAその他 (変位) J: 速度型構内埋設LOGアンプあり K: 速度型構内埋設	
	発震日			int	2			
	相名			char	4		第1相の相名第3相以降の相データの時は空白	
	発現時(時)			int	2		第1相の発現時(時)	
	発現時(分)			int	2		第1相の発現時(分)	
	発現時(秒)			int	4		第1相の発現時(秒)	
	相名			char	4		第2相または第3相以降の相名	
	発現時(分)			int	2		相または第3相以降の発現時(分)	
	発現時(秒)			int	4		相または第3相以降の発現時(秒)	
	最大振幅			int	5		N-S成分の最大振幅振り切れは-1, 欠測は-	
	最大振幅の周期			int	3		N-S成分の最大振幅の周期(秒)	
	最大振幅の出現時刻			int	3		N-S成分の最大振幅の出現時刻	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	88
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
	最大振幅			int	5		E-W成分の最大振幅
	最大振幅の周期			int	3		E-W成分の最大振幅の周期(秒)
	最大振幅の出現時刻			int	3		E-W成分の最大振幅の出現時刻
	最大振幅			int	5		U-D成分の最大振幅
	最大振幅の周期			int	3		U-D成分の最大振幅の周期(秒)
	最大振幅の出現時刻			int	3		U-D成分の最大振幅の出現時刻
	最大振幅の単位			char	1		J or K: 10-9 m/s; 0.1 μkine 1 or A: 10-8 m/s; μkine 2 or B: 10-6 m; μm 3 or C: 10-5 m/s2; mgal 4 or D: 10-7 m/s; 10 μkine 5 or E: 10-5 m; 10 μm 6 or F: 10-4 m/s2; 10 mgal 7 or G: 10-6 m/s; 100 μkine 8 or H: 10-4 m; 100 μm 9 or I: 10-3 m/s2; 100 mgal
	初動方向			char	1		N-S成分の初動方向
	初動振幅			int	3		N-S成分の初動振幅
	初動方向			char	1		E-W成分の初動方向
	初動振幅			int	3		E-W成分の初動振幅
	初動方向			char	1		U-D成分の初動方向
	初動振幅			int	3		U-D成分の初動振幅
	初動振幅の単位			int	1		最大振幅の単位と同様
	継続時間			int	3		F-Pまたはトリガー継続時間
	年			int	2		観測年(西暦の下2桁)
	月			int	2		観測月

検測レコード、検測データ数分繰り返し

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	88
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	検測値ファイル						説明
Nº	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	
	検測フラグ			char	1		第1相の情報を検測した時のフラグ (フィルター種別) A: 自動検測 (オリジナル波形) B: " (HPF 0.5s) C: " (HPF 1.0s) D: " (HPF その他) E: " (BPF 0.1-0.5s) F: " (BPF 0.1-1.0s) G: " (BPF その他) H: " (LPF 0.1s) I: " (LPF 0.2s) J: " (LPF その他) L: " (その他のフィルター) M: 会話検測 (オリジナル波形) N: " (HPF 0.5s) O: " (HPF 1.0s) P: " (HPF その他) Q: " (BPF 0.1-0.5s) R: " (BPF 0.1-1.0s) S: " (BPF その他) T: " (LPF 0.1s) U: " (LPF 0.2s) V: " (LPF その他) Z: " (その他のフィルター)
	検測フラグ			char	1		第2相の情報を検測した時のフラグ (フィルター種別)
	検測フラグ			char	1		最大振幅を検測した時のフラグ (水平成分M計算強制使用の指定) P: M計算強制使用 空白: M計算強制使用の指定なし
	検測フラグ			char	1		その他を検測した時のフラグ (検測値の手入力による追加等) F: 暫定データ作成後の追加・修正 G: 確定データ作成後の追加・修正 R: 追加参考検測値
	震源計算ウェイト			char	1		0の時は計算に未使用

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	89
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	初動メカニズム検測値ファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
1	レコード種別ヘッダ		char	1		J: 気象庁による震源 U: USGSが決定した震源 I: その他の国際機関(ISC, IASPEIなど)による震源 C: コメント
2	西暦		int	4		オリジンタイムの西暦
3	月		int	2		オリジンタイムの月
4	日		int	2		オリジンタイムの日
5	時		int	2		オリジンタイムの時
6	分		int	2		オリジンタイムの分
7	秒		int	4		オリジンタイムの秒(0.01秒)
8	標準誤差(秒)		int	4		オリジンタイムの標準誤差(0.01秒)
9	緯度(度)		int	3		震央の緯度(度)
10	緯度(分)		int	4		震央の緯度(0.01分)
11	標準誤差(分)		int	4		震央の緯度の標準誤差(0.01分)
12	経度(度)		int	4		震央の経度(度)
13	経度(分)		int	4		震央の経度(0.01分)
14	標準誤差(分)		int	4		震央の経度の標準誤差(0.01分)
15	深さ(km)		int	5		深さフリーの条件で計算した時の震源の深さ(0.01km) 深さ固定または下記の刻みの条件で計算した時の震源の深さ(km)
16	標準誤差(km)		int	3		震源の深さの標準誤差(0.01km) 深さフリー以外の条件で計算した場合は空白
17	マグニチュード1		int	2		気象庁第1マグニチュードまたはUSGS等が計算した実体波マグニチュード(0.1) 0未満の場合は以下のように表記する -0.1: -1?? -0.9: -9??? -1.0: A0 -1.9: A9??? -2.0: B0??? -3.0: C0

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	89
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	初動メカニズム検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
18	マグニチュード1種別			char	1		<気象庁マグニチュード> J: 旧観測網における坪井変位マグニチュード (検知網展開以降は気象官署の震度計を2回積分して機械式地震計フィルターを適用した変位振幅に坪井変位マグニチュードを適用) D: 坪井変位マグニチュードに準拠した変位マグニチュード d: Dに同じ、ただし観測点数2点で決定 V: Dに準拠した速度マグニチュード v: Vに同じ、ただし観測点数2～3点で決定 v: Vに同じ、ただし観測点数2～3点で決定 <他機関マグニチュード> B: USGS等が計算した実体波マグニチュード S: USG
19	マグニチュード2			int	2		気象庁第2マグニチュードまたはUSGS等が計算した表面波マグニチュード
20	マグニチュード2種別			char	1		マグニチュード1種別と同様
21	使用走時表			char	1		気象庁が震源を決定するために使った走時表の種類 他機関の場合空白 1: 標準走時表(83Aなど) 2: 三陸沖用走時表 3: 北海道東方沖用走時表 4: 千島列島付近用走時表(1を併用) 5: 標準走時表(JMA2001) 6: 千島列島付近走時表(5を併用)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	89
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	初動メカニズム検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
22	震源評価	震源レコード		char	1		震源を決定するにあたっての初期条件 不明の場合空白 1: 深さフリー 2: 深さ刻み条件(深さを一定の幅で変化させて計算)で最適解を求めた 3: 深さ固定等、人の判断による 4: Depth Phase を用いた 5: S-Pを用いた 7: 参考 8: 決定不能または不採用
23	震源補助情報			char	1		気象庁の震源に対する情報 他機関の場合空白 1: 通常地震 2: 他機関依存 3: 人工地震 4: ノイズ等 5: 低周波イベン

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	89
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	初動メカニズム検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
24	最大震度			char	1		1: 震度1 2: 震度2 3: 震度3 4: 震度4 5: 震度5(1996年9月まで) 6: 震度6(1996年9月まで) 7: 震度7 A: 震度5弱 B: 震度5強 C: 震度6弱 D: 震度6強 L: 局発地震(最大有感距離が100km未満) (1977年まで) S: 小局発地震(最大有感距離が100km以上200km未満) (1977年まで) M: やや顕著地震(最大有感距離が200km以上300km未満) (1977年まで) R: 顕著地震(最大有感距離が300km以上) (1977年まで)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	89
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	初動メカニズム検測値ファイル 属性名	PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
25	被害規模		char	1		宇津が定めたところによる被害規模 1: 壁や地面に亀裂が生じる程度の微小被害(火山などの特殊な場所の地割れなどは除く) 2: 家屋の破損、道路の損壊などが生じる程度の小被害 3: 複数の死者または複数の全壊家屋が生じる程度(ただし4には達しない) 4: 死者20人以上または家屋全壊1千戸以上(ただし5には達しない) 5: 死者200人以上または家屋全壊1万戸以上(ただし6には達しない) 6: 死者2千人以上または家屋全壊10万戸以上(ただし7には達しない) 7: 死者2万人以上または家屋全壊100万戸以上
26	津波規模		char	1		1926年～1988年 宇津が定めたところによる津波規模 1: 検潮器では津波が観測されたが被害なし T: 津波あり 1989年～ 今村・飯田(1958)による津波規模 1: 波高50cm以下 2: 波高1m前後 3: 波高2m前後 4: 波高4～6m 5: 波高10～20m 6: 波高30m以上
27	大地域区分番号		int	1		震央地名ファイルによるところの大地域区分番号
28	小地域区分番号		int	3		震央地名ファイルによるところの小地域区分番号
29	震央地名		char	24		震央地名
30	観測点数		int	3		震源決定に使用した観測点の数

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	89
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	初動メカニズム検測値ファイル 属性名	PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
31	震源決定フラグ		char	1		K: 気象庁震源 S: 参考震源 Kは決定精度が良いもので、防災機関へは原則としてこれのみを表示した分布図のみを提供しており、Sは決定精度が悪いもので、必要に応じて参考にするためのもの
	レコード種別ヘッダ		char	1		メカニズム解コードを表すM
	メカニズム決定法		char	1		メカニズムを決定した方法により以下のとおり区分 I: 初動による C: CMT
	空白		char	1		空白
	メカニズム決定機関		char	4		メカニズムを決定した機関により以下のとおり区分 JMAM: 気象庁月報
	予備		char	5		空白
	断層面区別		char	1		断層面の区別区分は以下のとおり1: A面2: B面空白: 不明
	発震日		int	2		発震日
	断層のタイプA		char	1		断層のタイプ区分は以下のとおりR: 逆断層N: 正断層
	空白		char	1		空白
	断層のタイプB		char	2		断層のタイプ 区分は以下のとおり SS: ストライクスリップ DS: ディップスリップ AM: どちらともいえない
	方位角		int	4		P軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)
	傾斜角		int	3		P軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)
	方位角		int	4		T軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)
	傾斜角		int	3		T軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)
	方位角		int	4		N軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)
	傾斜角		int	3		N軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)
	走向		int	4		A面走向(0～360度; 北から時計まわり)
	傾斜角		int	3		A面傾斜角(0～90度; 水平面が0)
	すべり角		int	5		A面すべり角(-180～180度; 正断層の時は負)

初動メカニ
ズム解レ
コード

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	89
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	初動メカニズム検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
	走向			int	4		B面走向(0～360度; 北から時計まわり)
	傾斜角			int	3		B面傾斜角(0～90度; 水平面が0)
	すべり角			int	5		B面すべり角(-180～180度; 正断層の時は負)
	スコア			int	3		メカニズム解スコア
	地点数			int	4		P波初動が観測された観測地点数
	予備			char	8		空白
	使用射出角表			char	1		使用した射出角表 区分は以下の通り 空白: 83A走時表に対応するもの、あるいはそれ以前のもの 1: JMA2001走時表に対応するもの
	予備			char	7		空白
	年			int	2		年
	月			int	2		月
	投影法			char	3		投影法 区分は以下のとおり UP: 上半球等積投影法 LOW: 下半球等積投影法
	予備			char	2		空白

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
1	レコード種別ヘッダ		char	1		J: 気象庁による震源 U: USGSが決定した震源 I: その他の国際機関(ISC, IASPEIなど)による震源 C: コメント
2	西暦		int	4		オリジンタイムの西暦
3	月		int	2		オリジンタイムの月
4	日		int	2		オリジンタイムの日
5	時		int	2		オリジンタイムの時
6	分		int	2		オリジンタイムの分
7	秒		int	4		オリジンタイムの秒(0.01秒)
8	標準誤差(秒)		int	4		オリジンタイムの標準誤差(0.01秒)
9	緯度(度)		int	3		震央の緯度(度)
10	緯度(分)		int	4		震央の緯度(0.01分)
11	標準誤差(分)		int	4		震央の緯度の標準誤差(0.01分)
12	経度(度)		int	4		震央の経度(度)
13	経度(分)		int	4		震央の経度(0.01分)
14	標準誤差(分)		int	4		震央の経度の標準誤差(0.01分)
15	深さ(km)		int	5		深さフリーの条件で計算した時の震源の深さ(0.01km) 深さ固定または下記の刻みの条件で計算した時の震源の深さ(km)
16	標準誤差(km)		int	3		震源の深さの標準誤差(0.01km) 深さフリー以外の条件で計算した場合は空白
17	マグニチュード1		int	2		気象庁第1マグニチュードまたはUSGS等が計算した実体波マグニチュード(0.1) 0未満の場合は以下のように表記する -0.1: -1?? -0.9: -9?? -1.0: A0 -1.9: A9?? -2.0: B0?? -3.0: C0

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル						
№	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
18	マグニチュード1種別			char	1		<気象庁マグニチュード> J: 旧観測網における坪井変位マグニチュード (検知網展開以降は気象官署の震度計を2回積分して機械式地震計フィルターを適用した変位振幅に坪井変位マグニチュードを適用) D: 坪井変位マグニチュードに準拠した変位マグニチュード d: Dに同じ、ただし観測点数2点で決定 V: Dに準拠した速度マグニチュード v: Vに同じ、ただし観測点数2～3点で決定 v: Vに同じ、ただし観測点数2～3点で決定 <他機関マグニチュード> B: USGS等が計算した実体波マグニチュード S: USG
19	マグニチュード2			int	2		気象庁第2マグニチュードまたはUSGS等が計算した表面波マグニチュード
20	マグニチュード2種別			char	1		マグニチュード1種別と同様
21	使用走時表			char	1		気象庁が震源を決定するために使った走時表の種類 他機関の場合空白 1: 標準走時表(83Aなど) 2: 三陸沖用走時表 3: 北海道東方沖用走時表 4: 千島列島付近用走時表(1を併用) 5: 標準走時表(JMA2001) 6: 千島列島付近走時表(5を併用)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	CMTメカニズム検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
22	震源評価	震源レコード		char	1		震源を決定するにあたっての初期条件 不明の場合空白 1: 深さフリー 2: 深さ刻み条件(深さを一定の幅で変化させて計算)で最適解を求めた 3: 深さ固定等、人の判断による 4: Depth Phase を用いた 5: S-Pを用いた 7: 参考 8: 決定不能または不採用
23	震源補助情報			char	1		気象庁の震源に対する情報 他機関の場合空白 1: 通常地震 2: 他機関依存 3: 人工地震 4: ノイズ等 5: 低周波イベン

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名 №	CMTメカニズム検測値ファイル 属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
24	最大震度			char	1		1: 震度1 2: 震度2 3: 震度3 4: 震度4 5: 震度5(1996年9月まで) 6: 震度6(1996年9月まで) 7: 震度7 A: 震度5弱 B: 震度5強 C: 震度6弱 D: 震度6強 L: 局発地震(最大有感距離が100km未満) (1977年まで) S: 小局発地震(最大有感距離が100km以上200km未満) (1977年まで) M: やや顕著地震(最大有感距離が200km以上300km未満) (1977年まで) R: 顕著地震(最大有感距離が300km以上) (1977年まで)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル						
Nº	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
25	被害規模			char	1		宇津が定めたところによる被害規模 1: 壁や地面に亀裂が生じる程度の微小被害(火山などの特殊な場所の地割れなどは除く) 2: 家屋の破損、道路の損壊などが生じる程度の小被害 3: 複数の死者または複数の全壊家屋が生じる程度(ただし4には達しない) 4: 死者20人以上または家屋全壊1千戸以上(ただし5には達しない) 5: 死者200人以上または家屋全壊1万戸以上(ただし6には達しない) 6: 死者2千人以上または家屋全壊10万戸以上(ただし7には達しない) 7: 死者2万人以上または家屋全壊100万戸以上
26	津波規模			char	1		1926年～1988年 宇津が定めたところによる津波規模 1: 検潮器では津波が観測されたが被害なし T: 津波あり 1989年～ 今村・飯田(1958)による津波規模 1: 波高50cm以下 2: 波高1m前後 3: 波高2m前後 4: 波高4～6m 5: 波高10～20m 6: 波高30m以上
27	大地域区分番号			int	1		震央地名ファイルによるところの大地域区分番号
28	小地域区分番号			int	3		震央地名ファイルによるところの小地域区分番号
29	震央地名			char	24		震央地名
30	観測点数			int	3		震源決定に使用した観測点の数

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル						説明
№	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	
31	震源決定フラグ			char	1		K: 気象庁震源 S: 参考震源 Kは決定精度が良いもので、防災機関へは原則としてこれのみを表示した分布図のみを提供しており、Sは決定精度が悪いもので、必要に応じて参考にするためのもの
32	レコード種別ヘッダ			char	1		メカニズム解コードを表すM
33	メカニズム決定法			char	1		メカニズムを決定した方法により以下のとおり区分 I: 初動による C: CMT
34	空白			char	1		空白
35	メカニズム決定機関			char	4		メカニズムを決定した機関により以下のとおり区分 JMAM: 気象庁月報
36	予備			char	5		空白
37	断層面区別			char	1		断層面の区別区分は以下のとおり1: A面2: B面空白: 不明
38	発震日			int	2		発震日
39	断層のタイプA			char	1		断層のタイプ区分は以下のとおりR: 逆断層N: 正断層
40	空白			char	1		空白
41	断層のタイプB			char	2		断層のタイプ 区分は以下のとおり SS: ストライクスリップ DS: ディップスリップ AM: どちらともいえない
42	方位角			int	4		P軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)
43	傾斜角			int	3		P軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)
44	方位角			int	4		T軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)
45	傾斜角			int	3		T軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)
46	方位角	初動メカニズムレコード		int	4		N軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)
47	傾斜角			int	3		N軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)
48	走向			int	4		A面走向(0～360度; 北から時計まわり)
49	傾斜角			int	3		A面傾斜角(0～90度; 水平面が0)
50	すべり角			int	5		A面すべり角(-180～180度; 正断層の時は負)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル							
Nº	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明	
51	走向			int	4		B面走向(0～360度; 北から時計まわり)	
52	傾斜角			int	3		B面傾斜角(0～90度; 水平面が0)	
53	すべり角			int	5		B面すべり角(-180～180度; 正断層の時は負)	
54	スコア			int	3		メカニズム解スコア	
55	地点数			int	4		P波初動が観測された観測地点数	
56	予備			char	8		空白	
57	使用射出角表			char	1		使用した射出角表 区分は以下の通り 空白: 83A走時表に対応するもの、あるいはそれ以前のもの 1: JMA2001走時表に対応するもの	
58	予備			char	7		空白	
59	年			int	2		年	
60	月			int	2		月	
61	投影法			char	3		投影法 区分は以下のとおり UP: 上半球等積投影法 LOW: 下半球等積投影法	
62	予備			char	2		空白	
63	レコード種別ヘッダ			char	1		T: セントロイドレコードを示す	
64	西暦			int	4		セントロイド時刻の西暦	
65	月			int	2		セントロイド時刻の月	
66	日			int	2		セントロイド時刻の日	
67	時			int	2		セントロイド時刻の時	
68	分			int	2		セントロイド時刻の分	
69	秒			int	4		セントロイド時刻の秒	
70	標準誤差(秒)			int	4		セントロイド時刻の標準誤差(秒)	
71	緯度(度)			int	3		セントロイドの緯度(度)	
72	緯度(分)			int	4		セントロイドの緯度(分)	
73	標準誤差(分)			int	4		セントロイドの緯度の標準誤差(分)	
74	経度(度)			int	4		セントロイドの経度(度)	
75	経度(分)			int	4		セントロイドの経度(分)	

セントロイド
レコード

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル						説明
Nº	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	
76	標準誤差(分)	レコード		int	4		セントロイドの緯度の標準誤差(分)
77	深さ(km)			int	4		深さフリーの条件で計算した時のセントロイドの深さ 深さ固定または1km刻みの条件で計算した時のセントロイドの深さ
78	標準誤差(km)			int	4		セントロイドの深さの標準誤差(km) 深さフリー以外の条件で計算した場合は空白
79	マグニチュード			int	2		モーメントマグニチュード
80	マグニチュード種別			char	1		W: 気象庁CMTによるMw
81	空白			char	9		空白
82	大地域区分番号			int	1		震央地名ファイルによるところの大地域区分番号
83	小地域区分番号			int	3		震央地名ファイルによるところの小地域区分番号
84	震央地名			char	24		震央地名
85	空白			int	4		空白
86	レコード種別ヘッダ			char	1		メカニズム解コードを表すM
87	メカニズム決定法			char	1		メカニズムを決定した方法により以下のとおり区分C: CMT
88	空白			char	1		空白
89	メカニズム決定機関			char	4		メカニズムを決定した機関により以下のとおり区分 JMAM: 気象庁月報
90	空白			char	5		空白
91	断層面区別			char	1		断層面の区別区分は以下のとおり1: A面2: B面空白: 不明
92	発震日			int	2		発震日
93	断層のタイプA			char	1		断層のタイプ区分は以下のとおりR: 逆断層N: 正断層
94	空白			char	1		
95	断層のタイプB			char	2		断層のタイプ 区分は以下のとおり SS: ストライクスリップ DS: ディップスリップ AM: どちらともいえない
96	方位角			int	4		P軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)
97	傾斜角			int	3		P軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)
98	方位角			int	4		T軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)

CMTメカニ

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名		CMTメカニズム検測値ファイル		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
Nº	属性名							
99	傾斜角	CMTメカニズム解レコード		int	3		T軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)	
100	方位角			int	4		N軸方位角(0～360度; 北から時計まわり)	
101	傾斜角			int	3		N軸傾斜角(0～90度; 水平方向が0)	
102	走向			int	4		A面走向(0～360度; 北から時計まわり)	
103	傾斜角			int	3		A面傾斜角(0～90度; 水平面が0)	
104	すべり角			int	5		A面すべり角(-180～180度; 正断層の時は負)	
105	走向			int	4		B面走向(0～360度; 北から時計まわり)	
106	傾斜角			int	3		B面傾斜角(0～90度; 水平面が0)	
107	すべり角			int	5		B面すべり角(-180～180度; 正断層の時は負)	
108	バリエーションリダクション			int	3		バリエーションリダクション(%)	
109	地点数			int	4		CMT決定に使用した観測点数	
110	非ダブルカップル成分			int	3		非ダブルカップル成分(%)	
111	セントロイド時間			int	4		セントロイド時間(0.1sec)	
112	空白			char	9		空白	
113	年			int	2		年	
114	月			int	2		月	
115	投影法			char	3		投影法 区分は以下のとおり UP: 上半球等積投影法 LOW: 下半球等積投影法	
116	空白			char	2		空白	
117	レコード種別ヘッダ			char	1		Q: CMT計算条件レコードを表す	
118	西暦			int	4		計算初期値の西暦	
119	月			int	2		計算初期値の月	
120	日			int	2		計算初期値の日	
121	時			int	2		計算初期値の時(日本標準時)	
122	分			int	2		計算初期値の分	
123	秒			int	4		計算初期値の秒	
124	空白			char	1		空白	
125	緯度(度)			int	3		計算初期値の緯度(度)	
126	緯度(分)			int	4		計算初期値の緯度(分)	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル						
Nº	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
127	空白			int	1		空白
128	経度(度)			int	4		計算初期値の経度(度)
129	経度(分)			int	4		計算初期値の緯度(分)
130	空白			char	1		空白
131	深さ(km)			int	5		計算初期値の深さ(km)
132	空白			char	1		空白
133	固定成分フラグ			int	1		固定成分フラグ0: フリー 1: 深さ固定 3: 緯度、経度、深さ固定
134	計算回数	CMT計算条件レコード		int	1		計算の繰り返し回数
135	等方成分フラグ			int	1		等方成分フラグ0: 等方成分を0と仮定 1: 仮定しない
136	空白			char	1		空白
137	使用周波数帯			int	4		使用周波数帯(mHz) (*) (*)両端を正弦関数型減衰した形のバンドパスフィルター
138	使用周波数帯			int	4		使用周波数帯(mHz) (*) (*)両端を正弦関数型減衰した形のバンドパスフィルター
139	使用周波数帯			int	4		使用周波数帯(mHz) (*) (*)両端を正弦関数型減衰した形のバンドパスフィルター
140	使用周波数帯			int	4		使用周波数帯(mHz) (*) (*)両端を正弦関数型減衰した形のバンドパスフィルター
141	空白			char	1		空白
142	使用観測点数			int	2		使用観測点数
143	使用成分数			int	3		使用成分数
144	空白			char	1		空白
145	方位角ギャップ			int	3		観測点の最大方位角ギャップ(度)
146	空白			char	1		空白
147	使用波形長			int	4		計算に使用した波形の長さ(分)
148	空白			char	20		空白
149	レコード種別ヘッダ			char	1		S: モーメントテンソルレコードを表す
150	単位の指数			int	2		モーメント成分の単位(Nm)の指数
151	空白			char	1		空白
152	モーメント成分(MRR)			int	4		モーメント成分(MRR)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル						
Nº	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
153	標準誤差			int	4		モーメント成分(MRR)の標準誤差
154	空白			char	1		空白
155	モーメント成分(MTT)			int	4		モーメント成分(MTT)
156	標準誤差			int	4		モーメント成分(MTT)の標準誤差
157	空白			char	1		空白
158	モーメント成分(MFF)			int	4		モーメント成分(MFF)
159	標準誤差			int	4		モーメント成分(MFF)の標準誤差
160	空白			char	1		空白
161	モーメント成分(MRT)			int	4		モーメント成分(MRT)
162	標準誤差			int	4		モーメント成分(MRT)の標準誤差
163	空白	モーメントテンソルレコード		char	1		空白
164	モーメント成分(MRF)			int	4		モーメント成分(MRF)
165	標準誤差			int	4		モーメント成分(MRF)の標準誤差
166	空白			char	1		空白
167	モーメント成分(MTF)			int	4		モーメント成分(MTF)
168	標準誤差			int	4		モーメント成分(MTF)の標準誤差
169	空白			char	1		空白
170	主軸のモーメント成分(T)			int	4		各主軸のモーメント成分(T)
171	空白			char	1		空白
172	主軸のモーメント成分(N)			int	4		各主軸のモーメント成分(N)
173	空白			char	1		空白
174	主軸のモーメント成分(P)			int	4		各主軸のモーメント成分(P)
175	空白			char	1		空白
176	等方成分			int	4		等方成分(%)
177	空白			char	1		空白
178	スカラーモーメント			int	4		スカラーモーメント
179	空白			char	14		空白
180	レコード種別ヘッダ			char	1		0: 観測点情報レコードを表す
181	観測点コード			int	6		観測点のコードを6文字で表したもの
182	観測点番号			int	4		観測点番号(部内用)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル						
№	属性名		PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
183	空白			char	1		空白
184	緯度(度)			int	3		観測点の緯度(度)
185	緯度(分)			int	4		観測点の緯度(分)
186	空白			char	1		空白
187	経度(度)			int	4		観測点の経度(度)
188	経度(分)			int	4		観測点の経度(分)
189	空白			char	1		空白
190	使用地震計タイプ			int	1		使用した地震計のタイプ 1: STS1 2: STS2 3: CMG-1T 4: その他
191	空白			char	1		空白
192	距離			int	3		観測点とセントロイドの距離(度)
193	空白			char	1		空白
194	方位			int	3		観測点の方位(度)
195	空白			char	1		空白
196	成分	観測点レコード、観測点数分繰り返し		int	1		使用した成分(*) Z: 上下成分 N: 南北成分 E: 東西成分 T: トランスバース成分 R: ラディアル成
197	空白			char	1		空白
198	バリエーション			int	5		その成分のバリエーション(%)
199	空白			char	1		空白
200	相関係数			int	5		その成分の観測波形と合成波形の相関係数
201	空白			char	1		空白
202	成分			int	1		使用した成分 区分は(*)のとおり
203	空白			char	1		空白
204	バリエーション			int	5		その成分のバリエーション(%)

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	90
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	CMTメカニズム検測値ファイル					
№	属性名	PK/FK	型	データ量(bit)	配列	説明
205	空白		char	1		空白
206	相関係数		int	5		その成分の観測波形と合成波形の相関係数
207	空白		char	1		空白
208	成分		int	1		使用した成分 区分は(*)のとおり
209	空白		char	1		空白
210	バリエーションリダクション		int	5		その成分のバリエーションリダクション(%)
211	空白		char	1		空白
212	相関係数		int	5		その成分の観測波形と合成波形の相関係数
213	空白		char	16		空白

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	91
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	自動処理情報					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	時刻矛盾監視時間		short	3		
2	オフセット計算平滑係数 (α_{off})		float	5		
3	STA計算平滑係数 (α_s)		float	5		
4	LTA計算平滑係数 (α_l)		float	5		
5	強制トリガOFF定数 (α_{OFF})		float	7		
6	時刻矛盾遅延最大時間		short	3		
7	レベルクロス監視時間		short	3		
8	無変動監視秒		short	2		
9	常時振り切れ監視秒		short	2		
10	安定時間		short	4		
11	SV異常判定秒		short	2		
12	波形収録遡り時間		int	4		
13	オンラインマスタ保存監視設定値1		int	7		
14	オンラインマスタ保存監視設定値2		int	7		
15	光ディスク媒体フラグ		short	4		
16	震源計算パラメータ1 (N_a)		short	3		
17	震源計算パラメータ2 (N_b)		short	3		
18	震源計算パラメータ3 (N_{max})		short	3		
19	震源計算起動間隔		short	3		
20	予備1		char[8]	8		
21	予備2		char[8]	8		
22	予備3		int	8		
23	予備4		int	8		
24	予備5		short	8		
25	予備6		short	8		
26	予備7		short	8		
27	予備8		short	8		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	91
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	自動処理情報					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
28	予備9		float	8		
29	予備10		float	8		
30	予備11		float	8		
31	予備12		double	8		

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	92
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	自動検測パラメータ(100Hz,20Hz)					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	最小分散比		double	10		分散比のしきい値。本設定値を下回る場合は検測失敗。現在の設定値は7.5。
2	初期サーチ区間区間長(秒)		short	3		トリガ時刻を中央にした、前部と後部の分散比をチェックする時間幅指定する。単位は秒。現在の設定値は
3	分散を計算する区間前駆		short	3		後部として分散を計算する時間幅を指定する。単位はサンプル数。現在の設定値は100/20 (= 1秒)。
4	分散を計算する区間後続		short	3		後部として分散を計算する時間幅を指定する。単位はサンプル数。現在の設定値は100/20 (= 1秒)。
5	ノイズモデル区間長(秒)		short	3		AR法のノイズ区間長を設定する。単位は秒。現在の設定値は3秒。 ※分散比から求めた時刻の前n秒。
6	信号モデル区間長(秒)		short	3		AR法の信号区間長を設定する。単位は秒。現在の設定値は3秒。 ※分散比から求めた時刻の前n秒。
7	サーチ区間区間長(秒)		short	3		AR法でのサーチ区間長を指定する。単位は秒 (100Hzは1～3、20Hzは1～5)。現在の設定値は100Hzは2秒、20Hzは5秒。※分散比から求めた時刻を中央にしたn秒。
8	ノイズ側オフセット(Sample)		short	3		モデル作成時の初期値からのノイズ側オフセット値。単位はサンプル数。現在の設定値は50。
9	信号側オフセット(Sample)		short	3		モデル作成時の初期値からの信号側オフセット値。単位はサンプル数。現在の設定値は50。
10	モデルの最大次数		short	3		ARモデルの最大次数。現在の設定値は7。
11	予備1		short	4		
12	予備2		short	4		
13	予備3		short	4		
14	予備4		int	8		
15	予備5		char[8]	8		
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する
16	通算日付		int	8		YYYYMMDD形式
17	通算時刻		int	6		HHMMSS形式

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	93
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	地震識別パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	レコード番号		short	3		
2	グループ番号		short	4		
3	有効フラグ		short	1		
4	グループ名称		char	14		
5	近地／遠地識別フラグ		short	1		
6	地震成立トリガ定数		short	4		
7	地震終了トリガ定数		short	4		
8	チャンネルON間隔		short	3		
	識別チャンネル情報（1280件）					
9	①識別チャンネル番号		ushort	5		
10	②識別チャンネルON係数		short	3		
	収録チャンネル情報（4096件）					
11	①収録チャンネル番号		ushort	5		
12	強制打ち切り時間		int	5		
12,13	予備1～予備2		char	8		
14,15	予備3～予備4		int	8		
16	管区番号		short	2		
17,18,19	予備6～予備8		short	6		
20,21,22	予備9～予備11		float	8		
23	予備12		double	8		
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する
24	通算日付		int	8		YYYYMMDD形式
25	通算時刻		int	6		HHMMSS形式

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	94
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	地震収録パラメータ						
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明	
1	収録対象前駆時間		short	3			
2	収録対象後続時間		short	4			
3	遠地地震収録対象前駆時間		short	3			
4	遠地地震収録対象後続時間		short	4			
5	同一地震識別時間 (Tg)		short	3			
6	同一地震間隔時間 (Tg2)		short	3			
7	予備1		char	8			
8	予備2		char	8			
9	予備3		short	8			
10	予備4		int	8			
11	予備5		short	8			
12	予備6		short	8			
13	予備7		short	8			
14	予備8		short	8			
15	予備9		float	8			
16	予備10		float	8			
17	予備11		float	8			
18	予備12		double	8			
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する	
19	通算日付		int	8		YYYYMMDD形式	
20	通算時刻		int	6		HHMMSS形式	

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	95
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	トリガ回数カウントパラメータ					
№	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	レコード番号		short	4		doubleの範囲で設定可能
2	監視対象論理チャンネル番号		unsigned	5		doubleの範囲で設定可能
3	監視対象時間幅		short	4		doubleの範囲で設定可能
4	アラームレベル (しきい値)		short	3		doubleの範囲で設定可能
5	アラーム表示フラグ		char [1]	1		
6	有効フラグ		short	1		
7	予備 1		char [8]	8		
8	予備 2		char [8]	8		
9	予備 3		int	8		
10	予備 4		int	8		
11	予備 5		short	8		
12	予備 6		short	8		
13	予備 7		short	8		
14	予備 8		short	8		
15	予備 9		short	8		
16	予備 1 0		float	8		
17	予備 1 1		float	8		
18	予備 1 2		double	8		
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する
19	通算日付		int	8		YYYYMMDD形式
20	通算時刻		int	6		HHMMSS形式

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	96
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

エンティティ名	トリガ状態監視パラメータ					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	レコード番号		short	3		
2	監視対象地震グループ番号		short	3		
3	監視対象時間幅(分)		short	4		
4	アラームレベル(しきい値)		short	3		
5	監視対象名		char	24		
6	アラーム表示フラグ		short	1		
7	有効フラグ		short	1		
8	予備1		char	8		
9	予備2		char	8		
10	予備3		int	8		
11	予備4		int	8		
12	予備5		short	8		
13	予備6		short	8		
14	予備7		short	8		
15	予備8		short	8		
16	予備9		float	8		
17	予備10		float	8		
18	予備11		float	8		
19	予備12		double	8		
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する
20	通算日付		int	8		YYYYMMDD形式
21	通算時刻		int	6		HHMMSS形式

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	97
	地域地震情報センター業務	地震サブシステム (REDC)		初版			

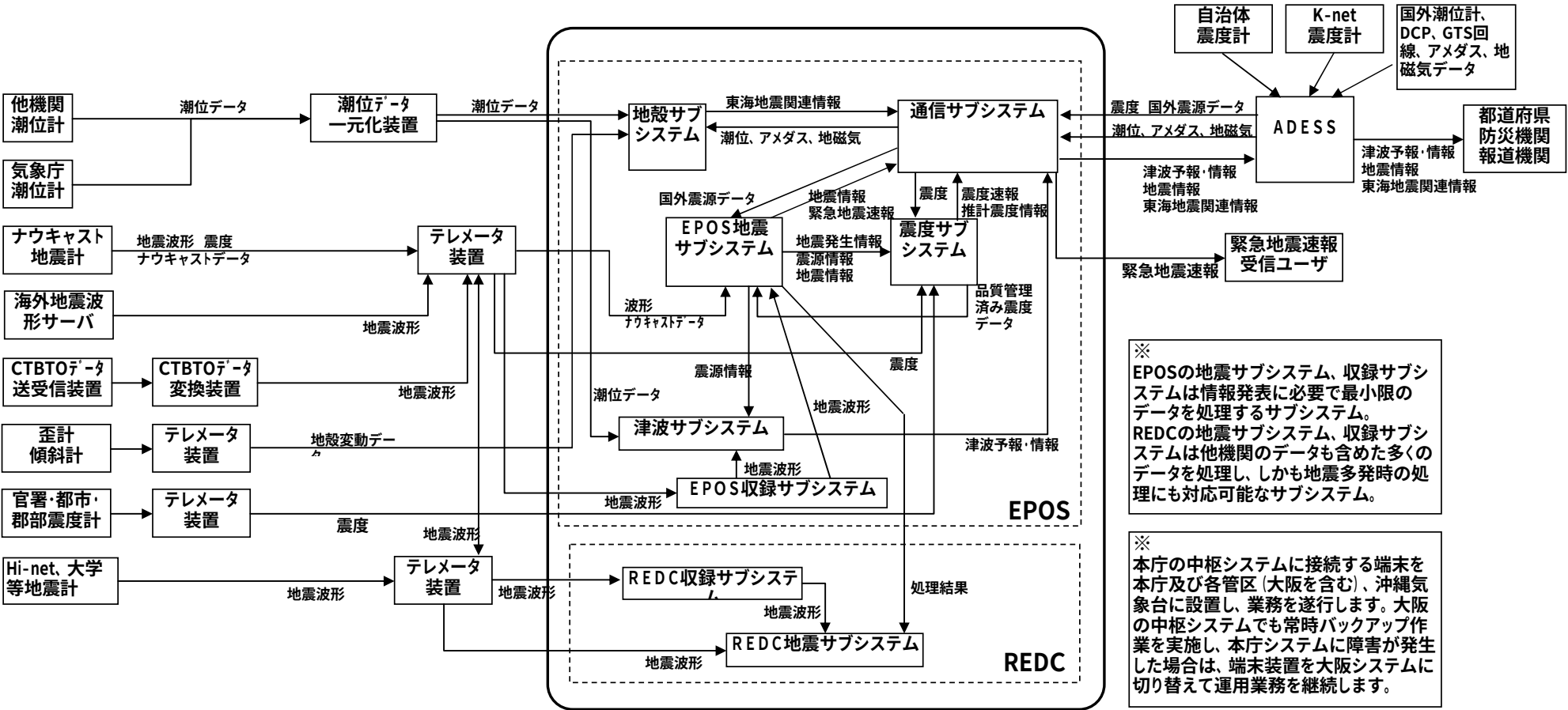
エンティティ名	震央地名ファイル					
Nº	属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	レコード番号		short	3		
2	監視対象地震グループ番号		short	3		
3	監視対象時間幅(分)		short	4		
4	アラームレベル(しきい値)		short	3		
5	監視対象名		char	24		
6	アラーム表示フラグ		short	1		
7	有効フラグ		short	1		
8	予備1		char	8		
9	予備2		char	8		
10	予備3		int	8		
11	予備4		int	8		
12	予備5		short	8		
13	予備6		short	8		
14	予備7		short	8		
15	予備8		short	8		
16	予備9		float	8		
17	予備10		float	8		
18	予備11		float	8		
19	予備12		double	8		
	パラメータ変更日付					全情報項目に付加する。パラメータ設定の都度更新する
20	通算日付		int	8		YYYYMMDD形式
21	通算時刻		int	6		HHMMSS形式

データ定義表 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	97
	地震津波監視等業務	テレメータ部		初版	2006/7/14		

エンティティ名 №	WINフォーマットデータ 属性名	PK/FK	型	データ量	配列	説明
1	1チャンネル秒ブロック		unsigned in	414		1秒間1チャンネルwinformatデータ
1-1	ブロックサイズ		unsigned in	4	1	秒ブロックサイズ
1-2	秒ヘッダ		unsigned ch	6	1	winformat秒ヘッダBCD YYMMDDhhmmss
1-3	チャンネルヘッダ			4	1	winformatチャンネルヘッダ
1-3-1	{ チャンネル番号		unsigned shc	2	1	winformatチャンネル番号
1-3-2	{ サンプルサイズ		(bit)	4bit	1	winformatサンプルサイズ
1-3-3	{ サンプリングレート		(bit)	12bit	1	winformatサンプリングレート
1-4	1秒データ		int	4	1以上	winformat地震波形データ(可変長)

情報システム関連図 (将来体系)

情報システム関連図 (将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	頁
	地震津波監視等業務	地震津波監視等業務・システム		初版	2006/07/13		1



情報システム機能構成図 (将来体系)

情報システム機能 構成図（将来）	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	1
	地震津波監視等業務	EPOS、REDC		初版	2006/07/14		

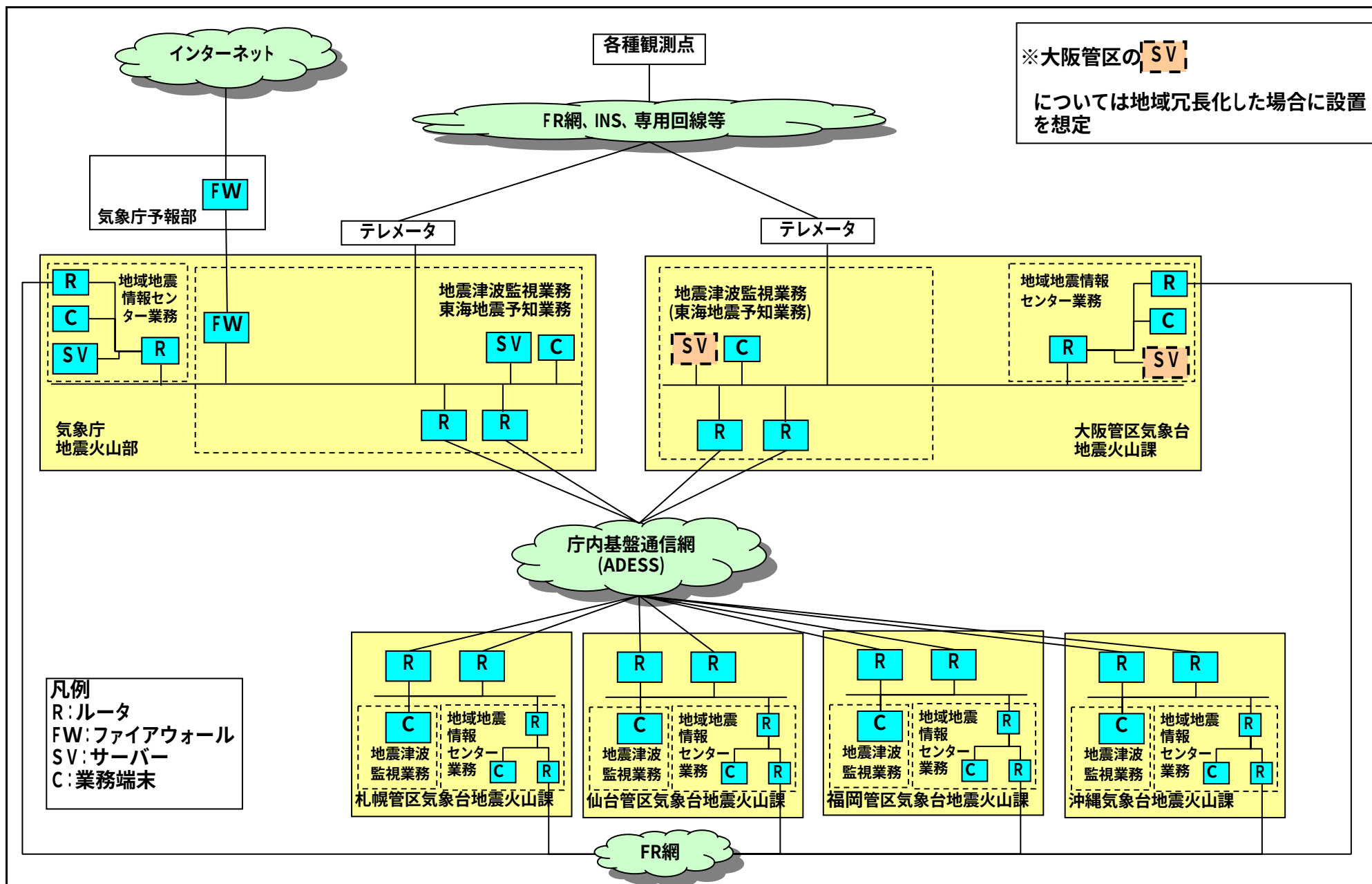
システム名	サブシステム名	システム機能		参照/更新
E P O S	地震サブシステム	緊急業務処理	気象庁及び他機関の震度データ、地震波形データ、顕著データ及び電文データ等処理し、日本及びその周辺での地震発生の有無及び地震に伴う津波発生の有無を迅速かつ的確に判断できる基礎データ(震源要素、各種地震規模等)を作成・表示するとともに、関連処理装置へ転送し、地震関連情報の作成・発表を迅速かつ効率的に行う。 ・地震発生有無の判別と結果表示 ・基礎データの作成表示 ・基礎データ等の関連処理装置への転送 ・地震関連情報の作成・表示・発表 ・地震活動状況の監視及び精度の高い情報作成・発表	参照 更新
	津波サブシステム	津波予報・情報関連処理	地震サブシステムや地殻サブシステムから得た基礎データから地震に伴う津波発生の有無を迅速かつ的確に判断し、津波予報、津波関連情報の作成・発表を迅速かつ効率的に行う。	参照 更新
		津波検測処理	津波検測を行い、結果を関連処理装置へ転送。	参照 更新
	震度サブシステム	震度処理	計測震度計からの震度電文を受け取り、品質管理を行う。また、震度速報の作成を行う。計測震度計に対し定期的に自動チェックを行う。推計震度分布の作成を行う。	参照 更新
	監視サブシステム	システム管理処理	システムを管理するとともに、異常の場合の報知を行う処理。	参照 更新
	通信サブシステム	通信業務処理	EPOSの各処理機能で作成されたデータ(電文等)の情報をADESS回線で接続された気象官署または部外機関等へ送信するとともに、全国の気象官署または部外機関等から送信されたデータ(電文等)を受信し、EPOSの各処理系へ電文を送信する処理。	参照 更新
	地殻サブシステム	地殻業務処理	東海・南関東地域での地殻変動データを基にデータファイル作成・保存、データ管理、データの出力(表示等)及びデータの解析等を行う。地殻変動データから地球潮汐や気圧変動等の成分を除去した補正データの作成を行い、この補正データを用いて地殻変動の異常を検出・報知する。東海地震関連情報を作成	参照 更新
	収録サブシステム	収録処理	緊急業務処理に必要な波形データの収録を行う。	更新

情報システム機能 構成図（将来）	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	1
	地震津波監視等業務	EPOS、REDC		初版	2006/07/14		

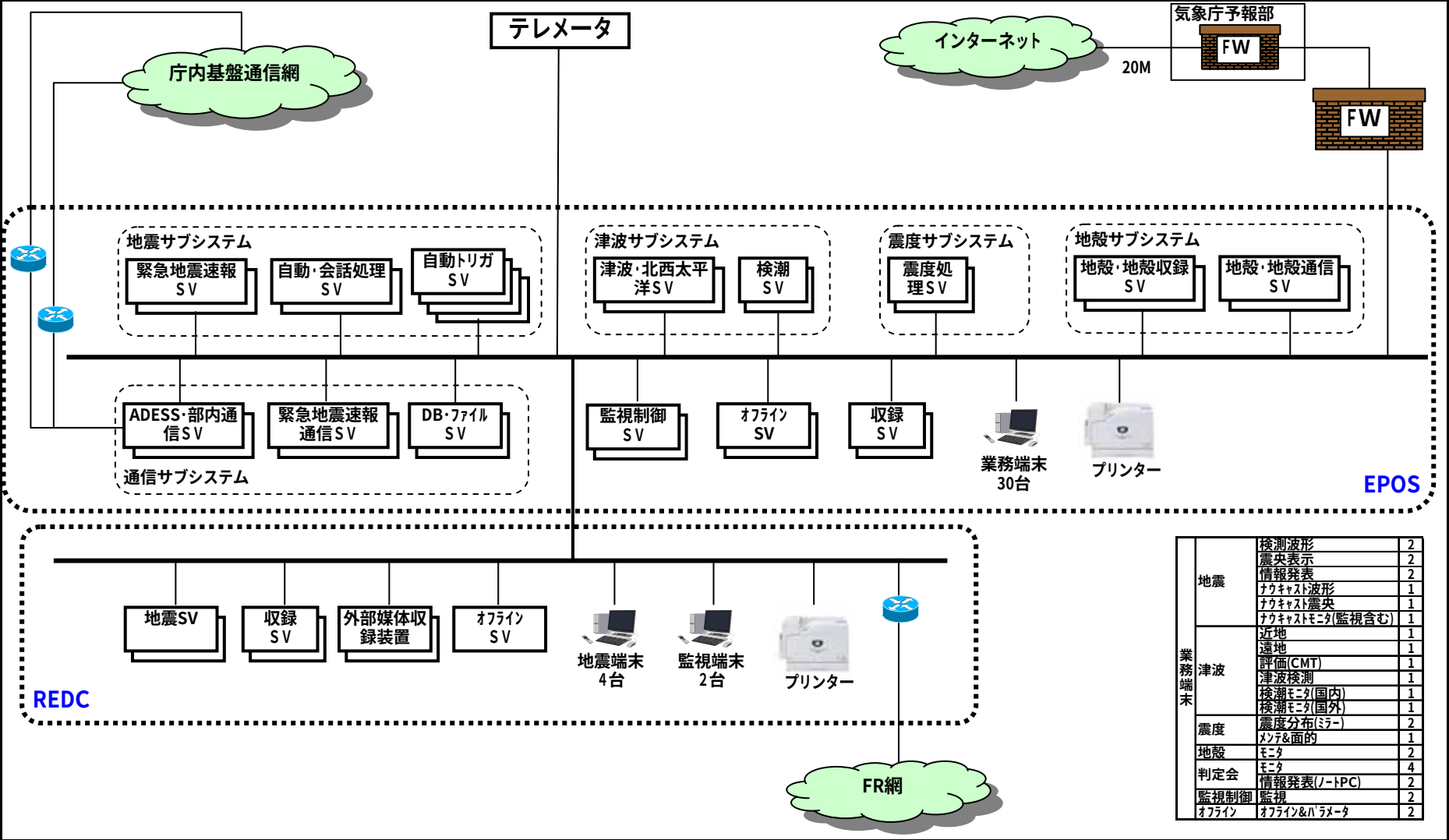
システム名	サブシステム名	システム機能		参照/更新
R E D C	地震サブシステム	地域地震情報センター業務処理	気象庁及び他機関の地震波形データを処理し、日本及びその周辺で発生する地震の基礎データ(震源要素、各種地震規模、観測点毎の検測値、初動メカニズムの解等)を作成する。	更新
	監視サブシステム	システム管理処理	システムを管理するとともに、異常の場合の報知を行う処理。	参照 更新
	収録サブシステム	収録処理	地域地震情報センター業務に必要な波形データの収録を行う。	更新

ネットワーク構成図 (将来体系)

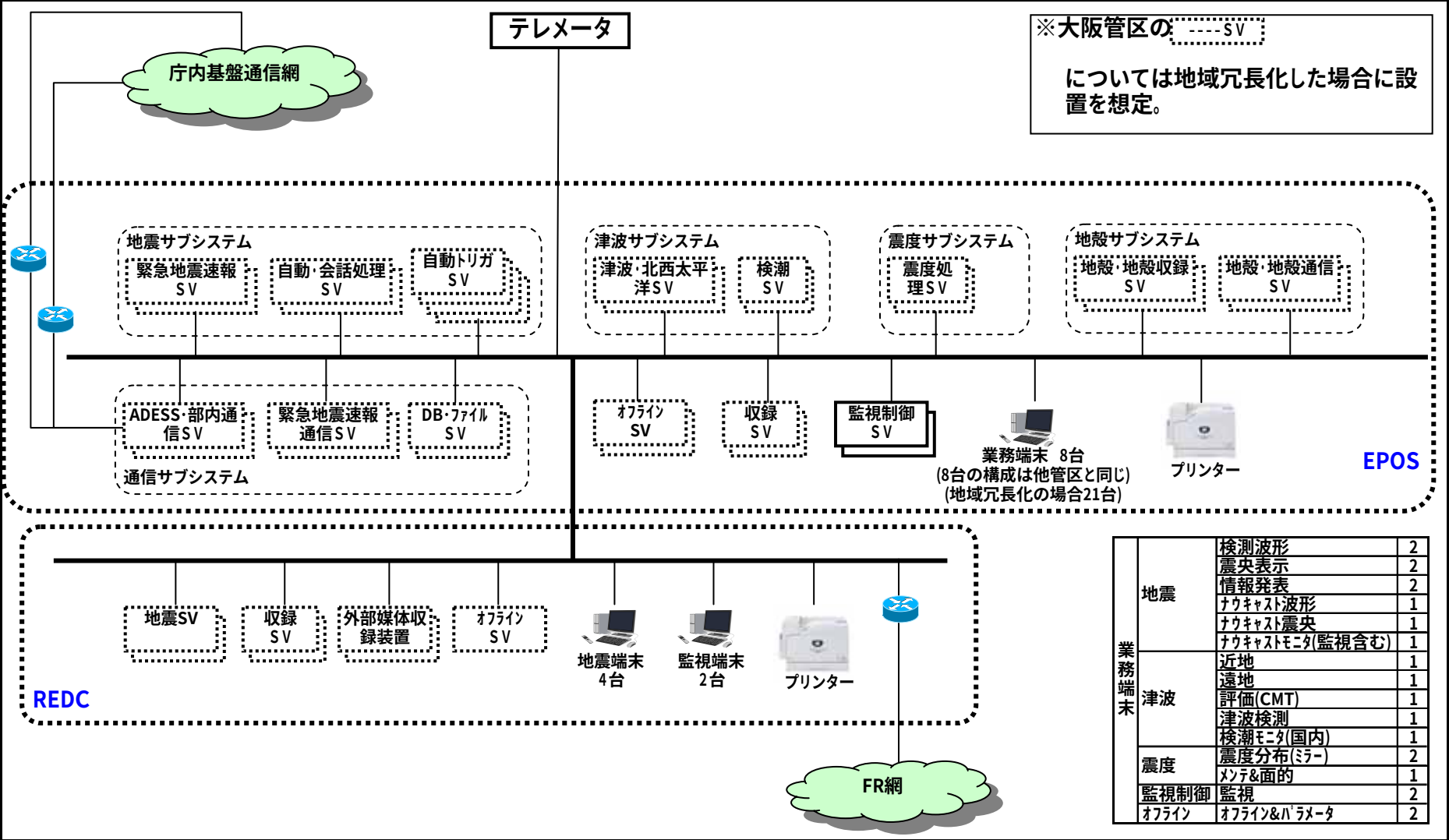
ネットワーク構成 図(将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	頁
	地震津波監視等業務	全体ネットワーク		初版	2006/07/13		



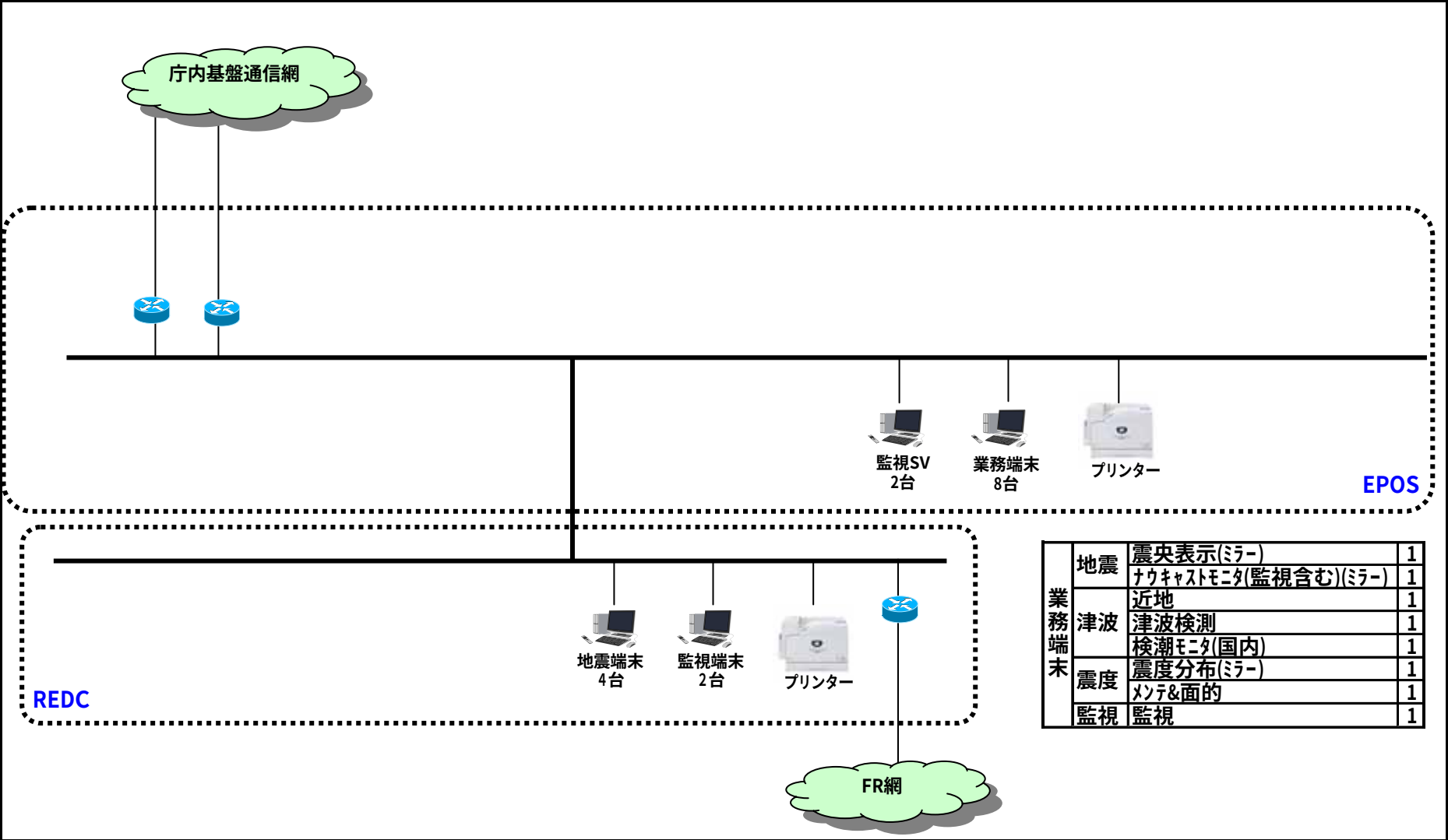
ネットワーク構成 図(将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	頁
	地震津波監視等業務	本庁ネットワーク		初版	2006/04/21		



ネットワーク構成図(将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	頁
	地震津波監視等業務	大阪ネットワーク		初版	2006/07/13		



ネットワーク構成図(将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	頁
	地震津波監視等業務	札幌・仙台・福岡ネットワーク		初版	2006/07/13		



ネットワーク構成 図(将来)	業務名	システム名	資料番号	版数	日付	作成者	頁
	地震津波監視等業務	沖縄 ネットワーク		初版	2006/07/13		

